

『海外社会保障研究』総索引

○収録範囲

第101号～第193号総索引…………… 81

注：100号までの総索引は、海外社会保障情報第100号（1992年9月刊 108～155頁）にまとめられています。

○目次

- ・『海外社会保障情報・海外社会保障研究』（第101号～第193号）総索引…………… 82
- ・『海外社会保障情報・海外社会保障研究』（第101号～第193号）国別総索引…………… 111

『海外社会保障情報』（第101号～第193号）総索引

1. 総目次

第101号（Winter 1992）

<時代の眼>

医療保障システムの三本柱（地主重美）

<論文>

ニュージーランドにおける福祉国家の形成——1938年社会保障法の基本構造と意義について——（佐々木弘）

ドイツにおける1992年公的年金改革の背景（下和田功）

長期ケアにおける質の評価——アメリカにおける評価制度の現状とその問題点——（池上直己）

医療の優先順位決定と医療システムの効率化——オレゴンの医療改革——（久繁哲徳）

<カレント・トピックス>

スウェーデン、保健医療・社会省の1992/93年度予算案について（小野寺百合子）

タンザニアの社会保障制度——国際交流研究会より——（F. S. ツンガラザ、勝又幸子訳）

<研究機関紹介>

マックス・プランク国際社会保障法研究所（本沢巳代子）

<Book Review>

久塚純一著『フランス社会保障医療形成史』（九州大学出版会、1991年）（平川亮一）

姉崎正平・池上直己編著『世界の医療改革—政権交代は医療を変えるか』（勁草書房、1991年）（漆博雄）

<海外社会保障関係文献目録>

1992年4月～6月社会保障研究所図書館受入分（社会保障研究所図書室）

第102号（Spring 1993）

<時代の眼>

留学生たちの社会保障研究（副田義也）

<特集：ホームレスと都市の福祉>

アメリカにおけるホームレスと児童——その現状と対策——（松原康雄）

アメリカのホームレスと住宅政策（岡本祥浩）

ポスト・インダストリアル・シティとアメリカの都市労働者の生活（坂野達郎）

<海外の動き>

アジア途上国の児童福祉——フィリピンの児童福祉を例として——（田上喜美）

エイズ患者の医療費負担問題（マーサ・N・オザワ、ウェンディ・F・アウスランダー、ベレド・スロニム＝ネボ、小島晴洋訳）

<カレント・トピックス>

インドネシアの地域福祉活動——ソーシャル・ワーカーの制度と活動を中心に——（川元岩夫）

<研究機関紹介>

欧州社会保障研究所（岡伸一）

<Book Review>

若林敬子編、杉山太郎監訳『ドキュメント中国の人口管理』（亜紀書房、1992年）（松戸庸子）

エリーザベト・ベック＝ゲルンスハイム著、香川檀訳『出生率はなぜ下がったか ドイツの場合』（勁草書房、1992年）（大石亜希子）

<海外社会保障関係文献目録>

1992年7月～9月社会保障研究所図書館受入分（社会保障研究所図書室）

第103号（Summer 1993）

<時代の眼>

社会福祉と国際化（仲村優一）

<論文>

アメリカにおける高齢者とコミュニティサービス——アメリカ高齢者法を中心に——（野村知子）

英国の老人介護におけるコミュニティケアの経済分析（錫田忠彦）

EC社会保障収斂化説——欧州最低所得保障制度の提案——（H・デレーク、岡伸一訳）

<カレント・トピックス>

アメリカの障害者差別禁止法——ADAにおける雇用の規定について——(辻阪高子)

〈国際学会トピックス〉

第48回IIPF(国際財政学会)に参加して(勝又幸子)

〈Book Review〉

フランシス・G・キャッスルズ著、埋橋孝文他訳『オーストラリア・ニュージーランド福祉国家論』(啓文社、1991年)(藤井浩司)

〈国際交流セミナー〉

アメリカから見た日本の年金制度の諸問題(ロバート・J・マイヤーズ、村上清・勝又幸子通訳)

〈海外社会保障関係文献目録〉

1992年10月～12月社会保障研究所図書館受入分(社会保障研究所図書室)

第104号 (Autumn 1993)

〈時代の眼〉

イギリスの医療と福祉の再編(郡司篤晃)

〈論文〉

フランスにおける単親家族と社会保障(神尾真知子)

フランスの高齢者介護制度と改正論議(藤森宮子)

アメリカにおける保育サービスの現状と保育政策の課題(下夷美幸)

〈海外の動き〉

英国国民保健サービス改革とその内部市場メカニズムについて(中泉真樹)

ドイツの長期ケアと介護保険(土田武史)

HMO産業の構造的変化——80年代における米国の医療費抑制政策——(知野哲朗)

〈カレント・トピックス〉

岐路に立つ福祉国家スウェーデン(飯野靖四)

〈Book Review〉

Richard B. Saltman and Castern von Otter, Planned Markets and Public Competition, Appleby J. Financing Health Care in the 1990s(山田武)

〈海外社会保障関係文献目録〉

1993年1月～3月社会保障研究所図書館受入分(社会保障研究所図書室)

第105号 (Winter 1993)

〈時代の眼〉

高齢社会への対応(小山路男)

〈特集:社会保障理論とその周辺—海外の研究者たち—〉

はじめに——特集の趣旨とその目的(高木安雄)

トーマス・マーシャル(Tomas Humphrey Marshall, 1893～1981)——市民権の理論とハイフン連結社会論——(伊藤周平)

フランシス・ネットテル(Francis Netter, 1907～1986)(藤井良治)

N. E. バンクーミッケルセン(N. E. Bank-Mikkelsen, 1919～1991)——その思想——(中園康夫)

ブライアン・エイベルスミス(Brian Abel-Smith, 1926～)(前田信雄)

ピーター・タウンゼンド(Peter Brereton Townsend, 1928～)——人類学と福祉学——(杉野昭博)

アマルティアセン(Amartya Kumar Sen, 1933～)(鈴木興太郎)

マーティン・フェルドシュタイン(Martin Feldstein, 1939～)——年金の経済分析——(田近栄治)

アンソニー・アトキンソン(Antony Barnes Atkinson, 1944～)——理性的急進主義者の社会保障論——(地主重美)

ペーター・フローラ(Peter Flora, 1944～)——その福祉国家論——(毛利健三)

〈海外社会保障関係文献目録〉

1993年4月～6月社会保障研究所図書館受入分(社会保障研究所図書室)

第106号 (Spring 1994)

〈時代の眼〉

日本経済の転機(貝塚啓明)

〈論文〉

「移民」の定住化と社会保障政策——オランダにおける最近の動向——(廣瀬真理子)

イタリアの年金と高齢者の生活(小島晴洋)

〈海外の動き〉

ECにおける社会保障制度間調整(岩淵豊)

フィンランドの高齢者福祉(山田真知子・アルホ)

〈カレント・トピックス〉

アメリカにおける老人ケアと日本の課題——在宅ケアと施設ケアの質の向上について——(高木安雄)

〈国際学会トピックス〉

アメリカ社会学会第87回年次大会に参加して（小田輝哉）

〈研究機関紹介〉

ウイスコンシン大学マディソン校 貧困問題研究所（カレン・C・ホールデン、エリザベス・エヴァンソン、野呂芳明訳）

〈Book Review〉

ドイツ連邦労働社会省編『ドイツ社会保障総覧』（翻訳：ドイツ研究会）（ぎょうせい、1993年）（藤田伍一）

Conseil Economique et Social, “La politique familiale française (Seances de 24 et 25 septembre 1991)” (Paris, Direction des Journaux officiels, 1992)、Michel Messu, “Les politiques familiales: du natalisme à la solidarité” (Paris, Ouvrieres, 1992)、Jacques Bichot, “La politique familiale: jeunesse, investissement et avenir”, (Paris, Cujas, 1992)（小島宏）

〈海外社会保障関係文献目録〉

1993年7月～9月社会保障研究所図書館受入分（社会保障研究所図書室）

第107号（Summer 1994）

〈時代の眼〉

社会サービスとしてのケア・システム（三浦文夫）

〈論文〉

アメリカにおける外国人に対する社会保障制度の適用（堀勝洋）

〈海外の動き〉

「スウェーデンモデルの終焉」をめぐって——労使関係の変容と福祉国家——（宮本太郎）

スウェーデン社会福祉の変遷——私の経験から——（小野寺百合子）

スウェーデンの福祉状況（友子 ハンソン）

〈国際学会トピックス〉

高齢社会の住宅政策——国際比較と展望——「国際住宅学会」から——（早川和男）

〈国際交流セミナー〉

老人医療の評価と質の向上のための対策 入所者アセスメントとケースミックス支払方式によるナーシングホームの質の向上——アメリカにおける老人医療の政策課題——（ブランド・E・フリース、小林しのぶ通訳）

〈Book Review〉

岡沢憲美著『スウェーデンを検証する』（早稲田大学出版部、1993年）、山井和則著『スウェーデン発住んでみた高齢社会』（ミネルヴァ書房、1993年）（竹崎孜）

Steven Rathgeb Smith and Michael Lipsky, “Nonprofits for Hire: The Welfare State in the Age of Contracting”, (Harvard University Press, 1993)（武智秀之）

〈海外社会保障関係文献目録〉

1993年10月～12月社会保障研究所図書館受入分（社会保障研究所図書室）

第108号（Autumn 1994）

〈時代の眼〉

戦争と保障と（庭田範秋）

〈特集：アメリカの医療保障〉

保障の拡大・コストの削減：米国の医療制度改革（西村由美子）

米国の医療供給システム——病院経営の変遷を切り口に公正と効率を考える——（田中滋）

クリントン改革とマネジド・コンペティションについて（矢野聡）

医療改革をめぐる米国議会の動き（平岩勝）

アメリカの医療政策と医学研究振興政策——日本は何を学ぶのか——（広井良典）

メディケアにおける診療報酬制度の改正（川渕孝一）

〈海外の動き〉

デンマークの高齢者保健福祉政策に学ぶもの（関龍太郎）

〈カレント・トピックス〉

スウェーデンにおける高齢者ケアの現状（伊藤周平）

〈Book Review〉

伊部英男、早川和男編著『世界の社会政策』（ミネルヴァ書房、1992年）（城戸喜子）

〈海外社会保障関係文献目録〉

1994年1月～3月社会保障研究所図書館受入分（社会保障研究所図書室）

第109号（Winter 1994）

〈時代の眼〉

中国の老親扶養（湯沢雍彦）

〈論 文〉

EC社会保障法における年金（山田晋）

家族政策の基本原則（上）（小島宏）

医療制度改革とパターンリズム（福田敬）

フランス社会保障制度における一般化社会拠出金の導入（加藤智章）

〈海外の動き〉

ドイツの医療保障制度改革——『構造改革』による21世紀への対応——（高智英太郎）

イタリアの医療保障制度——1992年からの医療改革を中心に——（小島晴洋）

〈カレント・トピックス〉

国際社会保障協会（ISSA）の概要と活動（松田将）

スウェーデンにおける過疎地域の動向（高野和良）

〈Book Review〉

杉本貴代著『社会福祉とフェミニズム』（勁草書房、1993年）（渋谷敦司）

〈海外社会保障関係文献目録〉

1994年4月～6月社会保障研究所図書館受入分（社会保障研究所図書室）

第110号（Spring 1995）

〈時代の眼〉

晩婚化・非婚化を考える（河野稠果）

〈特 集：アジア諸国の社会保障（所得保障、医療保障）〉

アジア諸国の社会保障制度（平石長久）

中国の所得保障と医療保障——二元的制度と改革——（松戸庸子）

韓国の社会保障（金早雪）

タイの所得保障・医療保障（久保清）

フィリピンの社会保障制度（福島康志）

シンガポールの社会保障制度（海外社会保障情報編集幹事）

〈論 文〉

家族政策の基本原則（下）（小島宏）

中国における高齢者に対する社会保障制度の改革と発展について（林義）

〈カレント・トピックス〉

国際社会保障協会（ISSA）第10回アジア環太平洋地域会議に参加して（勝又幸子）

〈国際交流セミナー〉

アメリカの医療改革と公的保険の役割（マリアンヌ・C・ファーズ、小林しのぶ通訳）

〈Book Review〉

ノーマン・ジョンソン著『福祉国家のゆくえ』（法律文化社、1993年）（木戸利秋）

〈海外社会保障関係文献目録〉

1994年7月～9月社会保障研究所図書館受入分（社会保障研究所図書室）

第111号（Summer 1995）

〈時代の眼〉

経済の此岸と彼岸（塩野谷裕一）

〈特別寄稿：創立30周年によせて〉

世界展望の中の社会保障（宮澤健一）

〈30周年記念特集：海外社会保障研究の今日〉

アメリカの社会保障研究の今日——医療——医療の質と効率性に関する研究を中心に（池田俊也、池上直己）

アメリカの年金制度（村上清）

アメリカの社会保障研究の今日——社会福祉（松原康雄）

イギリスの社会保障研究の今日——医療（一圓光彌）

イギリスの社会保障研究の今日——年金（櫻原朗）

イギリスの社会保障研究の今日——社会福祉（平岡公一）

ドイツの社会保障研究の今日——医療（保坂哲哉）

ドイツの社会保障研究の今日——年金（下和田功）

ドイツの社会保障研究の今日——社会福祉その他（岡田英己子）

フランスの社会保障研究の今日——医療（藤井良治）

フランスにおける年金研究の今日（岡伸一）

フランスの社会保障研究の今日——社会福祉その他（岩村正彦）

最近のスウェーデンの医療保障とその研究（丸尾直美、益村真知子）

スウェーデンの新しい年金改革案（飯野靖四）

スウェーデンの社会福祉研究の今日（三上芙美子）

〈30周年記念寄稿集：海外社会保障研究と私——この人、この一冊〉

- 健保連と海外社会保障研究（石本忠義）
新救貧法について——この一冊（伊部英男）
ピエール・ラロック——その文献「フランスの社会保障計画」をめぐる——（上村政彦）
V. R. フュックスのWho Shall Live?に学ぶ（江見康一）
北欧の赤いバラ：福祉国家建設と社民党リーダーたち（岡沢憲美）
スウェーデンの老人福祉と私（小野寺百合子）
ニュージーランド研究に導いてくれた古典——生江孝之著『新しい国 新西蘭と濠洲』——（小松隆二）
海外社会保障研究と私——樋口富男兄とILO “APPROACHES TO SOCIAL SECURITY — Antenational Survey”（1942）との出会い——（佐藤進）
ベヴァリジ報告の衝撃（地主重美）
社会保障との出会い（高橋武）
影響を受けたこの一冊（都村敦子）
私のフランス社会保障研究——この一冊（久塚純一）

- 私の国際社会保障（平石長久）
『ベヴァリジ・レポート』と私（平田富太郎）
キャサリン・ジョーンズ先生（古瀬徹）
ドニソン教授との交流（星野信也）
イギリス留学と社会保障研究（堀勝洋）
社会保障研究の広い視野——Sullerot氏との出会いの中で得たこと——（松村祥子）
〈カレント・トピックス〉
日米医療費をめぐる真剣な討議（武藤博道）
〈海外社会保障関係文献目録〉
1994年10月～12月社会保障研究所図書館受入分（社会保障研究所図書室）

第112号（Autumn 1995）

〈時代の眼〉

- ドイツにおける男女平等政策の進展（利谷信義）
〈論文〉
アメリカにおける職場暴力と使用者責任（林弘子）
社会保障の発展における国際機関の役割——新時代の社会保障を目指して——（J・V・ランゲンドン

- ク、岡伸一訳）
ニュージーランドにおける保健医療改革と競争原理の導入について——市場および政府の失敗に対するQuasi-Marketsの形成——（西村万里子）

- 〈海外の動き〉
欧州連合の社会保障政策——ドロール体制下での取り組み——（岩淵豊）
ハンガリーの社会福祉制度（深谷ベルタ）
〈カレント・トピックス〉
英国における社会サービスへの市場メカニズム導入政策の研究体系——Quasi-Markets研究の紹介——（駒村康平）

- 〈研究機関紹介〉
社会政策研究センター The Social Policy Research Centre（SPRC）（勝又幸子）
〈Book Review〉
Privatization in Four European Countries：Comparative Studies in Government - Third Sector Relationships（武智秀之）
〈海外社会保障関係文献目録〉
1995年1月～3月社会保障研究所図書館受入分（社会保障研究所図書室）

第113号（Winter 1995）

- 〈時代の眼〉
年金相談を考える（島田とみ子）
〈特集：諸外国の介護をめぐる取り組み〉
イギリスのコミュニティ・ケア——オックスフォードを中心にして——（真屋尚生）
フランスにおける高齢者介護の取り組み——1960年代から今日までの歩み——（原田康美）
スウェーデンの介護保障（古橋エツ子）
ケベック州の住民主体のホームケアサービス（高橋流里子）
アメリカにおける老人医療・介護の課題（高木安雄）
〈研究機関紹介〉
ニューヨーク市立大学マウントサイナイ医学校医療経済研究部（福田敬）
〈Book Review〉
稲上毅、H. ウィッターカー、逢見直人、篠田徹、下平好博、辻中豊著『ネオ・コーポラティズムの国際比較——新しい政治経済モデルの探求』（日本労働研究機構、1994年）（久米郁男）

〈海外社会保障関係文献目録〉

1995年4月～6月社会保障研究所図書館受入分（社会保障研究所図書室）

第114号（Spring 1996）

〈時代の眼〉

出生力回復の構図（安川正彬）

〈論文〉

台湾の高齢化とコミュニティ・ケア（金子勇）

スウェーデン、デンマークにおける高齢者居住環境の変遷・実態——我が国は何か欠けているか、何を学び取れるか——（林玉子）

今後の社会保障の費用負担のあり方——社会保障費と公共事業費についての国際比較——（磯部文雄）

ドイツ介護保険の現状と課題（栃本一三郎）

イタリアの高齢者福祉（小島晴洋）

日独医療費比較（勝又幸子）

〈海外の動き〉

CBRの概要とアジアでの実践（中西由起子）

〈国際学会トピックス〉

第5回アフィア国際会議（鶴直行）

〈Book Review〉

デボラ・ミッチェル著、埋橋孝文・三宅洋一・伊藤忠通・北明美・伊田広行訳『福祉国家の国際比較研究：LIS10カ国の社会保障移転システム』（大森正博）

〈海外社会保障関係文献目録〉

1995年7月～9月社会保障研究所図書館受入分（社会保障研究所図書室）

第115号（Summer 1996）

〈時代の眼〉

先進諸国の社会保障と経済成長（市川洋）

〈論文〉

ドイツにおける世話法の展開（ベルント・シュルテ、上山泰訳）

イギリスにおける在宅介護者——介護技術の担い手の把握のために——（三富道子）

台湾における高齢者福祉政策の発展と課題（荘秀美）

韓国の医療保険における財政調整の分析と評価（趙

源卓）

アメリカ合衆国における準低所得世帯に対する健康保険適用（マーサN・オザワ、ヨンT. ウァン、丹司紅・長屋祥子訳）

〈海外の動き〉

英国の精神保健の動向——コミュニティ・ケア政策の問題点——（尾島万里）

〈Book Review〉

ジョン・クラーク、デイビッド・ボスウェル編、大山博・武川正吾・平岡公一他訳『イギリス社会政策論の新潮流——福祉国家の危機を超えて』（法律分化社、1995年4月）（埋橋孝文）

〈海外社会保障関係文献目録〉

1995年10月～12月社会保障研究所図書館受入分（社会保障研究所図書室）

第116号（Autumn 1996）

〈時代の眼〉

信（信頼）なくば立たず（青井和夫）

〈特集：各国の住宅政策〉

ドイツの住宅政策における高齢者の位置とその生活環境（水原渉）

スウェーデンの住宅政策（外山義）

デンマークのコ・ハウジングの評価（上野勝代）

シンガポールの高齢化と住宅政策（桂良太郎）

中国における高齢者福祉と居住問題（佐々井司）

〈Book Review〉

社会保険福祉協会編『ヨーロッパの高齢者住宅——イギリス・ドイツ・スウェーデン・ベルギー』（財団法人社会保険福祉協会、1995年）（園田真理子）

〈海外社会保障関係文献目録〉

1996年1月～3月社会保障研究所図書館受入分（社会保障研究所図書室）

第117号（Winter 1996）

〈時代の眼〉

社会保障の抱える三重苦（三浦文夫）

〈論文〉

ドイツ公的介護保険の評価——第2段階実施後の課題——（小棚治宣）

オランダの社会保障制度と制度改革の考え方（大森正博）

アイルランドにおける女性労働と家族の在り方をめぐる法政策の展開 (増田幸弘)

<海外の動き>

イタリアの新たな年金改革 (小島晴洋)

中国社会保障体制の現状・問題点及び改革モデルについての考え (単天倫、張英莉訳)

<研究機関紹介>

英国パーソナル・ソーシャルサービス研究所 (PSSRU) (田端光美)

<研究資料>

社会保障費 国際比較基礎データ (社会保障研究所)

<Book Review>

下和田功著『ドイツ年金保険論』(千倉書房、1995年3月)(大谷津晴夫)

加藤智章著『医療保険と年金保険——フランス社会保障制度における自律と平等』(北海道大学図書刊行会、1995年)(大曾根寛)

<海外社会保障関係文献目録>

1996年4月～6月社会保障研究所図書館受入分(社会保障研究所図書室)

第118号 (Spring 1997)

<時代の眼>

社会保障の論理と倫理 (宮澤健一)

<特集> 海外における社会福祉をめぐる新しい動き

イギリスにおける貧困問題の動向——「貧困概念の拡大」と貧困の「基準」をめぐる——(柴田謙治)

アメリカにおけるソーシャルワークとケースマネジメントの動向 (伊藤淑子)

アメリカにおける「患者の死ぬ権利」の現状——Advance Directiveに焦点を当てて (益田雄一郎、井口昭久)

<海外の動き>

エイベルスミス教授を偲んで (一圓光彌)

<研究機関紹介>

RANDコーポレーション (アメリカ) (尾藤誠司)

<Book Reviews>

野口悠紀雄、デービッド・ワイズ編『高齢化の日米比較』(日本経済新聞社、1995年)(吉田浩)

萩原康生編『アジアの社会福祉』(中央法規出版、

1995年3月)(谷勝英)

第119号 (Summer 1997)

<時代の眼>

福祉と社会連帯感 (石弘光)

<特集> 各国における所得保障の動向

スウェーデンの年金改革 (飯野靖四)

イギリス年金制度の歴史的展開と近年の改革の流れ (齊藤美彦)

アメリカ所得移転システムの特徴 (埋橋孝文)

フランスにおける参入最低所得 (revenu minimum d'insertion) 制度 (川口美貴)

世界銀行の年金改革案とその影響 (村上清)

<カレント・トピックス>

アジア社会福祉学会の発足について (萩原康生)

<Book Reviews>

足立正樹著『現代ドイツの社会保障』(法律文化社、1995年)(小柳治宣)

白沢久一著『公的扶助の諸(基本)問題——英国貧民救済の公共性から社会扶助へ——』(梓出版社、1996年)(美馬孝)

第120号 (Autumn 1997)

<時代の眼>

日本型ソーシャル・ポリシーを求めて (藤田伍一)

<特集> 医療費改正化政策の効果と限界

アメリカにおける医療費適正化政策：効果と限界 (小林均)

フランスにおける医療費適正化政策 (藤井良治)

ドイツにおけるリスク構造調整の仕組みとその問題点 (菌部順一)

イギリスにおけるNHS改革の意識と成果 (一圓光彌)

カナダのロングタームケア政策 (高橋淑郎)

<論文>

カナダにおける公的年金制度改革の動向 (丸山桂)

<海外の動き>

中国国有企業の社会保険制度改革について：養老保険、医療保険、失業保険改革を中心に (許海珠)

<Book Reviews>

西村由美子編著『アメリカ医療の悩み：どこに問題があるか』(川渕孝一)

Nicholas Barr, The Economics of the Welfare State (駒村康平)

〈海外社会保障関係文献目録〉

1997年4月～6月国立社会保障・人口問題研究所図書室受入分(国立社会保障・人口問題研究所図書室)

第121号 (Winter 1997)

〈時代の眼〉

介護保険への疑問(暉峻淑子)

〈論文〉

EU諸国の社会保障改革の動向——老齢年金(山田晋)

ペンション・ガバナンス論(序説)(渡部記安)

医療資源問題における生産力格差及び地域間の不均衡分布と医療費支出との関係(鮮于恵、郡司篤晃)

〈海外の動き〉

世界における介護制度の現状(佐藤進)

イギリスにおけるコミュニティケアに関する研究の動向(平岡公一)

タイにおける障害者保健福祉システム及び今後の課題(安梅勅江)

〈カレント・トピックス〉

スウェーデンの高齢者ケアに変化(イエット・スンドストレーム、大島高男(要約))

〈Book Reviews〉

OECD, Taxation and Household Saving(油井雄二)
柴田嘉彦著『世界の社会保障』(新日本出版社、1996年4月)(栗沢尚志)

第122号 (Spring 1998)

〈時代の眼〉

比較社会保障・社会福祉の方法について(一番ヶ瀬康子)

〈特集：福祉サービスにおける公私の役割分担〉

ドイツにおける民間介護保険の役割(土田武史)

フランスの福祉サービスの現状と課題(松村祥子)

米国の住宅政策：福祉の視点から(古瀬敏)

オランダの高齢者福祉サービスにおける「民間」の役割(廣瀬真理子)

〈論文〉

米国の拠出建て年金(粥川正敏)

〈海外の動き〉

英国労働党政権と高齢者福祉政策(北村彰)

中国の年金保険事業計画の研究(侯文若、栗林寛幸 訳)

〈カレント・トピックス〉

第53回国際財政学会世界大会(柴田弘文)

「社会保障」・・・障害者からみると(成瀬正次)

〈Book Reviews〉

ヴィクトール A. ペストフ著、藤田暁男・田中秀樹・的場信樹・松尾匡訳『市場と政治の間で——スウェーデン協同組合論——』(晃洋書房、1996年)(川口清史)

John Roemer, Theories of Distributive Justice(後藤玲子)

第123号 (Summer 1998)

〈時代の眼〉

少子・高齢社会と社会保障(岡崎陽一)

〈特集：東南アジアの社会保障の進展〉

アジアの社会保障・社会福祉は充実したのか?——アジア社会保障・社会福祉比較研究小論(萩原康生)

シンガポールにおける社会保障の現状と課題(赤塚俊治)

中国における社会保障システムと社会保険制度の大改革——養老保険、失業保険制度の改革を中心に——(張紀濤)

フィリピンの社会保障制度の現状と課題(原島博)

〈論文〉

ハイブリッド型企業年金制度に関する調査研究——キャッシュバランスプランを中心に——(新開保彦)

中国の高齢者就業状況の調査と分析——国際比較の視角——(馮援)

〈研究資料〉

社会保障費 国際比較基礎データ(勝又幸子、山田篤裕)

〈Book Reviews〉

福祉国家の新たな地平——埋橋孝文著『現代福祉国家の国際比較』(日本評論社、1997年)(新川敏光)
岡沢憲英、宮本太郎編『比較福祉国家論——揺らぎとオルタナティブ——』(埋橋孝文)

第124号 (Autumn 1998)

<時代の眼>

規制と自由化をめぐる政策動向をみて (佐藤進)

<論文>

ニュージーランドにおける年金改革と国民投票——
老齢年金法100周年・社会保障法60周年を迎えて
—— (小松隆二)

最近のイギリス年金基金の動向 (代田純)

オランダの医療・介護制度改革 (大森正博)

高齢者終末医療——欧米と日本の場合 (松下哲)

Spending and Sources of Finance in the American
Welfare State : Options for Reform (I) (Gary
Burtless)

オランダにおけるパートタイム労働の動向と家庭生
活の変化 (前田信彦)

<海外の動き>

第4回社会選択・厚生学会世界大会 (西條辰義)

<動向>

米国の多数事業主制度 (I) (粥川正敏)

<Book Reviews>

土田武史著『ドイツ医療保険制度の成立』(高智英太
郎)

藤井良治著『現代フランスの社会保障』(白波瀬佐和
子)

<海外社会保障関係文献目録>

1998年4月～6月国立社会保障・人口問題研究所図書
室受入分 (国立社会保障・人口問題研究所図書室)

第125号 (Winter 1998)

<特集：就労インセンティブと社会保障>

ドイツの雇用促進政策と社会保障 (松丸和夫)

スウェーデンにおける就労促進政策と社会保障 (伍
賀一道、横山寿一)

オランダにおける就労インセンティブ政策と社会保
障 (小越洋之助)

スイスにおける雇用保障と就労インセンティブ (中
野育男)

フランスにおける就労インセンティブと社会保障
——早期引退制度をめぐる—— (三谷直紀)

イギリスにおける就労促進政策と社会保障 (檜原
朗)

<論文>

Spending and Sources of Finance in the American
Welfare State: Options for Reform (II) (Gary
Burtless)

フィンランド民間非営利部門の高齢者福祉分野にお
ける活動と制度 (新名正弥)

<研究ノート>

台湾「全民健康保険」の制度紹介 (高橋隆)

<動向>

米国の多数事業主制度 (下) (粥川正敏)

ルクセンブルグ所得研究 (LIS) 夏季ワークショップ
参加報告 (山田篤裕)

<書評>

菊池馨実著『年金保険の基本構造——アメリカ社会
保障制度の展開と自由の理念』(藤田伍一)

G・ティモシー・ハイト、ステファン・モレル著『ア
メリカの年金・資産運用』(渡辺幹文)

第126号 (Spring 1999)

<特集：各国の年金改革>

OECD諸国における年金改革の動向 (阿萬哲也)

The Reform of Pensions in the UK (A. Walker)

Public Pension Reforms in Germany——Major Post-
War Reforms and Recent Decisions—— (W.
Schmah)

オーストラリアの年金改革 (下野恵子)

ニュージーランドの年金改革と高齢者生活 (武田真
理子)

チリの年金改革と移行財源問題 (北野浩一)

スイスの年金制度——第10次改正を中心に—— (田
口晃)

シンガポールの年金改革の動向——少子・高齢化の
進展におけるCPF政策—— (阿部裕二)

<論文>

EUにおける保育・家族政策と男性の保育参加 (木
下比呂美)

<動向>

欧州社会保障修士コースの設立 (岡伸一)

英国労働党政権の福祉政策について (北村彰)

高福祉の国のジレンマ——フィンランドの社会保
障の現状と課題—— (牧田満知子)

中国の失業問題とその展望——都市部貧困層の拡大
と高失業率の長期化—— (沙銀華)

<書 評>

アラン・ウォーカー著、渡辺雅男・渡辺景子訳
『ヨーロッパの高齢化と福祉改革』（河野真）
中田照子、杉本清代栄、森田明美共著『日米のシン
グルマザーたち』（木村清美）
足立正樹編著『各国の介護保障』（増田雅暢）

第127号（Summer 1999）

<特 集1：福祉施策の国際比較>

特集の趣旨（埋橋孝文）
EUにおける社会保障政策の人口動向の背景（J.ブ
ラッドショー、宮下裕一・埋橋孝訳）
日本型福祉国家におけるキャッシュとケアと女性の
市民権——家族政策のジェンダー議論を手がかり
に——（イト・ベング）
児童手当の国際比較（大塩まゆみ）
家族政策の国際比較——現状・課題・方法に関する
一考察——（所道彦）
公的年金制度における普遍性と最低保障の規定要因
（鎮目真人）
公的扶助制度の国際比較——OECD 24カ国のなかの
日本の位置——（埋橋孝文）

<特 集2：OECD社会保障大臣会議>

OECD社会保障大臣会議の概要（藤原 禎一、小野太
一）
OECD加盟各国の社会保障政策の動向（尾形裕也）
OECD加盟各国の社会保障政策の分析（増淵勝彦）

<書 評>

松本勝明著『社会保障構造改革——ドイツにおけ
る取組みと政策の方向——』（小柳治宣）
Gary Bryner, Politics and Public Morality: The Great
American Welfare Reform Debate（後藤玲子）

第128号（Autumn 1999）

<特 集：EUの社会保障政策の展開>

特集の趣旨（岡伸一）
社会保障と欧州統合（ジェフ・ヴァン ランゲンドン
ク、岡伸一訳）
EU社会保障法における男女平等判例の展開——79
／7理事会指令の実効性とその構造的限界性——
（竹中康之）
ヨーロッパ連合における母性保護と保育政策（山田

晋）

EUにおけるパブリック・ヘルス政策の展開（川又竹
男）
EUの医療保障政策（岡伸一）
EUにおける雇用政策と社会保障（濱口桂一郎）
『海外社会保障情報』および『海外社会保障研究』に
掲載されたEU（EC）の社会保障についての論文
一覧

<論 文>

The Welfare State in the UK: Evolution, Funding and
Reform（John Hills）

<動 向>

中国農村の社会老齢年金保険制度の導入（鍾仁耀）
社会保障費 国際比較基礎データ——財源の国際比
較分析と解説——（勝又幸子、森田陽子）
社会保障・労働市場・労使関係分野における改革を
国際的にモニタリングするためのネットワーク構
築について——ベルテルスマン財団による試み
の紹介——（阿部彩）

<書 評>

濱口桂一郎著『EU労働法の形成——欧州社会モデ
ルに未来はあるか？——』（小宮文人）
武川正吾、塩野谷祐一編『先進諸国の社会保障1 イ
ギリス』（齊藤慎）

第129号（Winter 1999）

<特 集：医療サービスの質の確保をめぐる諸問題>

特集の趣旨（菊池馨実）
日本における医療サービスの質——広告規制の議
論を中心に——（新田秀樹）
医療サービスの「質」確保と「健康権」議論の展開
——医療における権利指向の意義——（国京則
幸）
イギリスにおける医療情報とサービスの質——患
者憲章の実行——（西田和弘）
医療の質の評価とアメリカの医療システム（石田道
彦）
マネジドケアと医療の質——法的側面からの検討
——（菊池馨実）
フランスにおける医療情報共有化の動向（加藤智
章）
ドイツにおける医療・福祉労働としてのサービス給
付と質確保（上田真理）

カナダにおける医療サービスの質の確保をめぐる諸問題——改善ネットワークを中心として——
(高橋淑郎、ロス・ベーカー)

<動向>

社会保障セミナー「先進諸国の年金改革」(大石亜希子)

ベルテルスマン財団「国際リフォーム・モニター：社会政策・労働市場・労使関係分野」プロジェクト進捗報告(阿部彩)

<書評>

岡伸一著『欧州統合と社会保障——労働者の国際移動と社会保障の調整——』(白波瀬佐和子)

小松隆二、塩野谷祐一編『先進諸国の社会保障2 ニュージーランド・オーストラリア』(藤井浩司)

第130号 (Spring 2000)

<特集：社会保障給付費の国際比較研究>

特集の目的と位置づけ——平成10年度プロジェクト報告「社会保障給付費の国際比較分析」(勝又幸子)

社会保障における国際比較研究の意義と課題(足立正樹)

社会保障給付費の国際比較データの見方と分析(勝又幸子)

社会保障費からみたアメリカ社会保障の特徴と社会保障国際比較研究の意義と課題(大西秀典)

イギリス社会保障の公民パートナーシップ(中井英雄)

ドイツ社会保障給付の概観と構造分析(小林甲一)

フランス社会保障制度における財源と給付の構造(加藤智章)

スウェーデン社会保障給付費の分析(岡光昇)

<論文>

米国マネジメントの発展とERISA専占条項(藤川恵子)

<研究ノート>

中国における医療保障制度の改革(劉曉梅)

<動向>

Review of the Laws and Regulations regarding the Employees' Social Security in Indonesia (Hironobu Sugaya)

<書評>

城戸喜子、塩野谷祐一編『先進諸国の社会保障3 カ

ナダ』(村上雅子)

古瀬徹、塩野谷祐一編『先進諸国の社会保障4 ドイツ』(小塚治宣)

第131号 (Summer 2000)

<特集：介護保険の国際的動向>

特集の趣旨(土田武史)

地方自治と介護保険——ドイツの事例を中心に(坪郷實)

ドイツにおける介護保険と介護扶助(木下秀雄)

介護手当(金銭給付)の意義、実施状況およびその評価(田中耕太郎)

介護サービスの質の確保——ドイツ介護保険法(松本勝明)

オランダの長期医療・介護保障制度(廣瀬真理子)

OECD諸国における高齢者介護(府川哲夫)

<論文>

Dilemmas in Health Care An Overview of the Health Care System in the Netherlands (Hettie A. Pott-Buter)

Primary Health Care in the UK: Policy, Practice and Performance (Ray Robinson)

<書評>

John E. Roemer, Equality of Opportunity (栗林寛幸)

丸尾直美、塩野谷祐一編『先進諸国の社会保障5 スウェーデン』(竹崎友)

藤井良治、塩野谷祐一編『先進諸国の社会保障6 フランス』(小川有美)

第132号 (Autumn 2000)

<特集：中国の社会保障改革と企業行動>

中国社会保障制度研究の課題と焦点(中兼和津次)

中国社会保障制度の現状と問題(沙銀華)

中国の社会保障制度と企業負担の変化(朱炎)

中国の社会保障導入の企業経営への影響(木崎翠)

中国の企業における雇用と分配——改革の効果(丸川知雄)

中国国有企業における退職行動と年金制度改革(金子能宏、何立新)

中国住宅制度改革の現状と課題(今井健一)

中国社会保障体系の確立と国有企業の改革(王紅領)

厚生科学研究費補助金研究事業(中兼班)報告書の

概要（増淵勝彦）

<書評>

Gosta Esping-Andersen, Social Foundation of Postindustrial Economies（三重野卓）

Amartya Sen, Reason before Identity: The Romans Lecture for 1998（後藤玲子）

第133号（Winter 2000）

<特集：社会保障と情報化>

特集の趣旨（山本克也）

社会保障（特に医療）にかかわる個人情報保護・開示・活用——英国1998年データ保護法を参考に——（西田和弘）

情報福祉政策の課題——情報バリアフリー政策を中心に（高橋紘士）

健康関連データベースの構造化と結合：戦略的な医療保健福祉システム構築へ向けて（今中雄一）

欧米におけるEBMの展開（池田俊也）

公的年金制度における情報公開のあり方について——アメリカ社会保障庁の方法に学ぶ——（山本克也、増淵勝彦）

退職給付政策における掛金建て制度の役割（小野正昭）

バリアフリーデザインから生活デザインへの流れ（狩野徹）

<動向>

ドイツ介護保険財政の分析（藤本健太郎）

<書評>

藤田伍一、塩野谷祐一編『先進諸国の社会保障7 アメリカ』（菊池馨実）

第134号（Spring 2001）

<特集：グローバル化と社会保障>

特集の趣旨（白波瀬佐和子）

グローバリゼーションと国家福祉の変貌（萩原康生）

医療におけるグローバル化とその課題（濃沼信夫）

グローバル化と年金制度（小塩隆士）

グローバル化に伴う社会保障問題とWTO（浦田秀次郎）

国際的な人の移動の動向と展望——地域統合、少子・高齢化と日本の選択——（井口泰）

グローバル化と地方分権化（神野直彦）

<論文>

1945年以降のフランス社会保障改革（ブリュノ・パリエ、伊奈川秀和訳）

<動向>

五保制度——中国農村における公的扶助制度——（松久保博章）

社会保障費の国際比較——基礎統計の解説と分析——（浅野仁子）

<書評>

藤村正之著『福祉国家の再編成』（高野和良）

武川正吾、佐藤博樹編『企業保障と社会保障』（白波瀬佐和子）

宮本太郎著『福祉国家という戦略——スウェーデンモデルの政治経済学——』（益村真知子）

第135号（Summer 2001）

<特集：第5回厚生政策セミナー「アジアと社会保障」>

アジア諸国における年金制度改革の動向（高山憲之）

「中国の社会保険制度」の内容（沙銀華）

韓国における生産的福祉と積極的福祉（下在寛）

台湾の社会保障制度——民主化と福祉の発展を巡る政治力学——（イト・ベング）

タイの社会保障（ウティサン・タンチャイ）

日本の社会保障（広井良典）

「アジアと社会保障」ディスカッション（編集：金子能宏）

ヨーロッパにおける強制企業年金の動き（マーティン・ライン、ジョン・ターナー、上枝朱美・阿部彩訳）

<論文>

社会保障・社会福祉における日韓比較——高齢化社会初期段階の諸状況と政策動向を中心に——（張炳元）

<研究ノート>

オンロック/PACEモデル（米国高齢者医療介護プログラム）の概要と課題——わが国介護保険への示唆——（河口洋行）

<動向>

フランスの高齢者介護給付制度——PSDの実施と改革の動き——（原田康美）

<書評>

Jeanne Fagnani, Un travail et des enfants. Petits arbitrages et grands dilemmes (小島宏)
伊奈川秀和著『フランスに学ぶ社会保障改革』(久塚純一)

第136号 (Autumn 2001)

<特集: 保険者から見た欧米諸国の医療制度改革と国際比較>

特集の趣旨 (山崎泰彦)
米国マネジドケアの試みから医療保険における保険者機能を考える (西田在賢)
米国メディケアにおける保険者機能 (住吉英樹、清野仁子)
イギリスの医療制度から学ぶ保険者機能 (府川哲夫、泉田信行)
フランスにおける保険者機能の動向——薬剤費抑制策を中心に—— (奥田七峰子、池田俊也)
ドイツ医療保険の保険者機能 (船橋光俊)
オランダの医療制度改革と「保険者機能」(大森正博)
「保険者機能」論の位置付け: わが国の医療制度改革に対する示唆 (尾形裕也)

<書評>

都留民子著『フランスの貧困と社会保護』(岡伸一)

第137号 (Winter 2001)

<特集: 国際機関における年金政策論>

特集の趣旨 (山本克也、山田篤裕)
The Changing Parameters of The International Pension Debate (Dalmer D. Hoskins)
ILO (国際労働機関) の年金政策 (山端浩)
世界銀行の年金政策——超グローバルイズムへの課題—— (山本克也)
経済協力開発機構 (OECD) における年金改革論 (山田篤裕)
<動向>
WHOによる保健システムの目的と機能、評価の枠組み設定について——2000年版世界保健報告「保健システムの機能向上に向けて」—— (千村浩)
所得保障・医療保障・労働政策関連の国際機関 (山本克也)

<論文>

フィンランドにおける公的扶助——生計援助の原理と制度—— (遠藤美奈)
韓国における公的年金制度の動向 (金領佑)

<書評>

Colin Gillion, John Turner, Clive Bailey, Denis Latulippe (eds.) Social Security Pensions: Development and Reform (清水英彦)
J.ミッジリイ著、京極高宣・萩原康生監訳『国際社会福祉論』(藤村正之)

第138号 (Spring 2002)

<特集: 現代の規範理論と社会保障>

特集の趣旨 (後藤玲子)
社会保障への公共哲学的アプローチ——その歴史的・現代的サーヴェイ—— (山脇直司)
ジョン・ロールズ——正義の理論 (塩野谷祐一)
センの潜在能力理論と社会保障 (鈴木興太郎)
ロナルド・ドゥオーキンの倫理的責任論 (長谷川晃)
ジョン・ローマー: 機会の平等アプローチと社会保障 (後藤玲子)
ロバート・グッディン——功利主義的社会設計 (長谷部恭男)
リスク社会と再帰的近代——ウルリッヒ・ベックの問題提起—— (今田高俊)

<研究ノート>

中国の公的年金保険制度の財政方式に対する検証——都市部の賦課方式から部分的積立方式への移行を中心に (鍾仁耀)

<動向>

社会保障費用の国際比較——Outline of International Data on Cost of Social Security by ILO—— (勝又幸子)

第139号 (Summer 2002)

<特集: 日本とカナダの社会保障——加日社会保障政策研究円卓会議の成果>

特集の趣旨 (バーナデット・サンジャン、高橋和久、金子能宏)
カナダと日本の社会・政治構造と社会保障制度の特徴 (イト・ペング、バーナデット・サンジャン)
日本とカナダの医療保険制度改革: 共通の課題と多

様性（尾形裕也）

カナダの保健医療：組織・財源・アクセス（ロバート・エバンス、モーリス・バーラー、谷合由理子・泉田信行訳）

カナダの年金制度（高山憲之）

子育て支援策の日加比較（永瀬伸子）

カナダにおける仕事と生活の両立支援：変化に対応した取組み（リンダ・デュックスベリー、クリス・ビキンス、小林信彦・金子能宏訳）

地域格差と所得格差を考慮した社会保障研究の展開——日本とカナダの比較——（金子能宏、小島克久）

カナダの社会政策と高齢化（ニーナ・チャペル、山田聖子訳）

<書評>

A. B. Atkinson, The Economic Consequences of Rolling Back the Welfare State（上枝朱美）

第140号（Autumn 2002）

<特集：先進諸国の所得保障政策における障害給付の変化とその背景>

総論 先進諸国における所得保障制度の変化とその意味——障害をめぐる改革から——（勝又幸子）

費用国際比較からみた「障害」給付の現状（勝又幸子）

イギリスにおける障害者に対する所得保障体系とその特徴（一圓光彌）

ドイツにおける障害年金給付と社会保障の課題（小林甲一）

スウェーデンにおける障害年金改革（木村陽子）

わが国における障害者の所得保障制度の現状と課題——障害基礎年金制度の抜本的改革＝社会扶助化の徹底の必要性——（森隆男）

<動向>

イタリアの高齢者介護の動向——介護手当の現状と問題点（宮崎理枝）

EITC（Earned Income Tax Credit）の就労と貧困削減に対する効果：文献サーベイから（阿部彩）

<書評>

David M. Blau, The Child Care Problem: An Economic Analysis（周燕飛）

第141号（Winter 2002）

<特集：社会的排除——概念と各国の動き——>

趣旨 社会保障の新たな視点：「社会的排除」と「社会的統合」（岡伸一）

フランスの「排除Exclusion」概念——わが国の社会問題に使用することは可能か——（都留民子）

イギリス「社会的排除」対策と社会政策（市民主義化）の現地点（小笠原浩一）

英国社会政策と「社会的排除」——近年のホームレス政策の混乱をめぐって——（岩田正美）

ドイツにおける社会的排除への対策（庄谷怜子、布川日佐史）

EUにおける「社会的排除」への取り組み（中村健吾）

貧困から社会的排除へ：指標の開発と現状（阿部彩）

<論文>

アメリカにおける1996年福祉改革法とチャリタブル・チョイス——宗教団体への福祉サービスの民間委託——（木下武徳）

<書評>

布川日佐史編著『雇用政策と公的扶助の交錯』日独比較：公的扶助における稼働能力の活用を中心に（田中耕太郎）

韓国社会科学研究所社会福祉研究室著『韓国の社会福祉』（上村泰裕）

第142号（Spring 2003）

<特集：転換期における福祉国家の国際比較研究>

特集の趣旨（富永健一）

福祉国家の分解と日本の国際的位置（富永健一）

社会保障給付費の趨勢分析（平岡公一）

社会保障給付費の構成に関する時系列的分析——先進諸国のクラスター化の試み——（三重野卓）

OECD19カ国における社会保障財源の国際比較（武川正吾）

福祉国家発展の時系列データ分析——pooled time-series dataの利用——（織田輝哉）

福祉国家レジームと世帯内性別役割分業：ジェンダーからみた比較福祉国家試論（白波瀬佐和子）

<論文>

貯蓄支援税制としてのアメリカ401（k）に関する考

察 (吉田健三)

<動 向>

国際機関における社会保障費用の国際統計整備の現状——ILO,OECD,EUROSTATの動向から—— (勝又幸子)

第143号 (Summer 2003)

<特集:第7回厚生政策セミナー「こども、家族、社会——少子社会の政策選択——」>

趣旨 少子化と家族政策——「少子化対策」をめぐる10の設問—— (阿藤誠)

欧州の一部の先進国における少子化とその対策 (アントニオ・ゴリーニ)

西欧諸国における家族政策と低出生率 (ゲルダ・ネイヤー)

<パネルディスカッション> (編集:勝又幸子)

家族、社会保障および社会保険——ケーススタディとしてのドイツにおける概評と現在の論議—— (ヴァインフリート・シュメール)

<論 文>

医療保険の未加入者と家計の医療支出——中国広東省の家計データを用いて—— (周燕飛)

日米の働く母親と子育て支援——福祉国家と家族の関係を探る—— (白波瀬佐和子)

<書 評>

渋谷博史、内山昭、立岩寿一編『福祉国家システムの構造変化——日米における再編と国際的枠組み——』 (斎藤忠雄)

第144号 (Autumn 2003)

<特集:ロシア・東欧における社会保障の動向>

特集の趣旨 (小森田秋夫)

ハンガリーの社会動向と福祉レジーム (堀林巧)

ポーランドの社会保障——大量失業時代における社会保障システムの再構築—— (小森田秋夫)

チェコの老齢年金制度 (池本修一)

ロシアにおける社会保障 (篠田優)

<論 文>

オランダにおけるワークフェア改革——「給付所得より就労を」—— (水島治郎)

<書 評>

Braithwaite,J., Grootaert,C. and B.Milanovic, Poverty

and Social Assistance in Transition Countries (埋橋孝文)

第145号 (Winter 2003)

<特集:社会保険医療制度の国際比較:日、独、仏、蘭、加5カ国の医療保険制度改革の動向>

特集の趣旨 (尾形裕也)

社会保険医療制度の国際比較 (収斂と発散):ISSA Initiativeにおける研究動向を踏まえて (尾形裕也)

ドイツの医療保険制度改革 (田中耕太郎)

フランスの医療保険制度改革 (稲森公嘉)

オランダの医療・介護保険制度改革 (大森正博)

カナダの国民医療制度の改革——連邦財政主義のもとでの皆保険の課題と展望—— (金子能宏)

日本の医療保険制度改革——国民改革の重要性—— (泉田信行)

<動 向>

中国のWTO加盟と雇用構造の変化および雇用創出の対策 (紀韶)

自殺の社会経済的要因と自殺予防対策の国際比較 (山下志穂、金子能宏、反町吉秀)

<書 評>

舟場正富、齋藤香里著『介護財政の国際的展開 イギリス・ドイツ・日本の現状と課題』 (松田亮三)

第146号 (Spring 2004)

<特集:IMF体制後の韓国社会政策>

特集の趣旨 (金早雪)

IMF体制以降の韓国の社会経済の変化と公的・私的
社会支出の動向 (金明中)

IMF経済危機と韓国の女性労働 (明泰淑)

IMF体制と韓国の社会政策 (郭洋春)

IMF体制と「韓国型福祉国家」 (金早雪)

<論 文>

年金改革前の中国都市部における公的年金制度の適用対象と給付水準——1995年都市部家計調査データに基づく考察—— (何立新)

<動 向>

イタリアの『福祉白書2003年』 (宮崎理枝)

社会保障費用の国際統計の動向——ILO, OECD, EUROSTATを中心として—— (国立社会保障・人口問題研究所)

<書評>

Izuhara, Misa (ed.) ,Comparing Social Policies:
Exploring New Perspectives in Britain and Japan (阿
部彩)

第147号 (Summer 2004)

<特集：ワークフェアの概念と実践>

趣旨 ワークフェアの射程と限界 (武川正吾)
座談会 ワークフェアとベーシック・インカム：福
祉国家における新しい対立軸 (武川正吾、宮本太
郎、小沢修司)
対談 所得保障と就労支援：日本におけるワーク
フェアのあり方 (岩田正美、八田達夫、後藤玲子)
ワークフェア改革とその対案 新しい連携へ? (宮
本太郎)
ドイツにおけるワークフェアの展開——稼働能力活
用要件の検討を中心に—— (布川日佐史)
韓国のSocial Enterprise——ワークフェアの観点から
—— (尹文九)

<動向>

アメリカの福祉改革の効果と批判 (阿部彩)

<書評>

平岡公一著『イギリスの社会福祉と政策研究——イ
ギリスモデルの持続と変化』(木下康仁)
張紀濤著『現代中国社会保障論』(中村良二)

第148号 (Autumn 2004)

<特集：海外社会保障研究の展望>

特集の趣旨 (島崎謙治)
海外社会保障研究の展望 第1部座談会 (武川正吾、
岡伸一、埋橋孝文、尾形裕也、沙銀華、島崎謙治)
海外社会保障研究の展望 第2部論文
福祉国家論の展開 (武川正吾)
所得保障における国際比較研究 (岡伸一)
海外における「福祉」の動向と国際比較 (埋橋孝文)
医療保障における国際比較研究 (尾形裕也)
アジアの社会保障研究 (沙銀華)
海外社会保障研究の展望 資料『海外社会保障研
究』国別総索引 (論文・動向・研究ノート) (菊地
英明)
<動向>
メキシコにおける分断された保健医療システム (山

口英彦、松岡広子)

<書評>

埋橋孝文編著『比較のなかの福祉国家』(上村泰裕)

第149号 (Winter 2004)

<特集：OECD諸国における医療改革の流れと今
後の方向性>

特集の趣旨 (郡司篤晃)
ケアの質向上への取り組みとその課題 (郡司篤晃)
医療サービスへの公平なアクセス——OECD加盟国
間の国際比較と残された分析課題—— (山田篤
裕)
患者ニーズへの対応に向けた取り組み——OECD諸
国の現状とわが国の可能性—— (鈴木玲子)
医療の費用抑制と効率性の向上——OECD諸国によ
る取り組みとその課題—— (小塩隆士)
経済協力開発機構 (OECD) における医療 (介護) 政
策分析：これまでの成果と展望 (阿萬哲也)

<動向>

OECD社会支出データベース2004年版 (国立社会保
障・人口問題研究所)

<書評>

渋谷博史、渡瀬義男、樋口均編『アメリカの福祉国
家システム』(加藤久和)

第150号 (Spring 2005)

<特集：成長するアジアの社会保障>

趣旨 (漆原克文)
シンガポールの少子高齢化対策とCPF改革 (駒村康
平)
マレーシアの所得保障と医療保障 (菅谷広宣)
発展途上国における国民会医療保障制度の構築——
タイ国のケース—— (川口典男)
中国農民社会保障の現状と課題 (沙銀華)
モンゴルの市場経済への移行と社会保障 (駿河輝
和)
ベトナムの社会保障 (和泉徹彦)
ラオス、カンボジアの社会保障制度 (漆原克文)
<動向>
アジアから見た日本の社会保障制度——アジア諸国
社会保険行政官研修アンケート—— (漆原克文、
山本克也)

中国都市部における最低生活保障制度の現状および
問題点 (鍾仁耀)

第151号 (Summer 2005)

〈特集：企業年金の国際的潮流〉

趣旨 企業年金の新時代 (岡伸一、島崎謙治)

第1部 企業年金を取り巻く変化と企業年金のあり
方

企業年金をめぐる国際的潮流と企業年金の役割・課
題 (島崎謙治、宮里尚三)

(補論)「税による補助額」の粗い試算と前提条件
(島崎謙治、佐藤格)

国際会計基準と企業年金 (今福愛志)

年金試算運用における最近の動向 (浅岡泰史)

EUにおける企業年金の新たな展開——2003年企業
年金「指令」を中心に—— (岡伸一)

第2部 各国の企業年金をめぐる動向

アメリカ企業年金の最新動向——最低積立基準の抜
け道—— (三石博之)

イギリスの職域年金制度 (小野正昭)

近年のドイツにおける企業年金制度の展開 (ハラル
ト・コンラット、宮崎理枝)

日本の企業年金の現状と未来 (久保知行)

参考資料

各国の企業年金制度の動向 (宮里尚三訳)

〈研究ノート〉

W. H. ベヴァリッジ『失業論』の思想的背景と失
業調査 (永島信二郎)

〈書評〉

大沢真理編著『アジア諸国の福祉戦略』(講座・福祉
国家のゆくえ 4) (ミネルヴァ書房、2004年) (河
野真)

第152号 (Autumn 2005)

〈特集：住宅政策と社会保障〉

趣旨 社会保障と住宅 (武川正吾)

社会保障における住宅政策の位置づけ——福祉国家
論からのアプローチ—— (菊地英明、金子能宏)

高齢者の居住水準：日米比較と経済的背景 (中川
雅之)

フランスにおける住宅政策と社会保障 (都留民子)

イギリス住宅政策の変容と社会的排除 (小玉徹)

アメリカにおける住環境の保障と住宅政策 (岡田徹
太郎)

ドイツにおける社会住宅制度と家賃規制——ア
フォーダブル住宅の行方—— (大場茂明)

〈書評〉

新川敏光、ジュリアーノ・ボノーリ編著『年金改革
の比較政治学：経路依存性と避難回避』(ミネル
ヴァ書房、京都、2004年) (加藤淳子)

第153号 (Winter 2005)

〈特集：中南米の社会保障〉

趣旨 (本田達郎)

転換期にあるアルゼンチンの社会保障制度 (宇佐見
耕一)

ブラジル連邦共和国憲法および普通立法における社
会保障制度の変遷 (二宮正人)

コスタリカの社会保障改革——医療と年金の課題、
市場主義、労働運動—— (丸岡泰)

メキシコの社会保障制度——その特徴と90年代の改
革—— (畑恵子)

ニカラグアの社会保障——最貧困国のゆらぐ政治と
社会保障改革—— (高木史江、小松隆一)

転機をかえるペルーの社会保障制度——多層・分層
型からユニバーサル化への要請—— (遅野井茂
雄)

〈動向〉

日本のOECD基準による社会支出2002 (平成14) 年
度更新について——平成15年度社会保障給付費公
表、独自推計の背景と方法—— (国立社会保障・
人口問題研究所企画部)

〈書評〉

小玉徹、中村健吾、都留民子、平川茂編著『欧米の
ホームレス問題 (上)：実態と政策』、中村健吾、
中山徹、岡本祥浩、都留民子、平川茂編著『欧米
のホームレス問題 (下)：支援の実例』(法律文化
社、2003年 (上)、2004年 (下)) (阿部彩)

第154号 (Spring 2006)

〈特集：介護と障害者施設の関係をめぐる国際的動
向〉

趣旨 (京極高宣)

高齢者介護と障害者福祉の関係に関する視点 (峯村

芳樹)
ドイツにおける介護給付と社会参加給付との関係
(松本勝明)

オランダにおける高齢者および障害者に対するケア
に関する施策について (井原辰雄)

イギリスの介護施策と障害者施策 (植村英晴、柳田
正明)

スウェーデンにおける障害者政策の動向——高齢者
ケア政策との異同を中心に—— (奥村芳孝、伊澤
知法)

デンマークにおける障害者・高齢者福祉と地方自治
体の行政改革 (下垣光)

アメリカの長期ケア (Long Term Care) における障
害者支援と高齢者支援 (北野誠一)

<論文>

イギリスの若者の教育と職業への非参加に対する
貧困の効果——貧困政策と実証分析の課題——
(卯月由佳)

<書評>

高木邦明著『オーストラリアの障害者福祉』(相川
書房、2005年)(本田達郎)

第155号 (Summer 2006)

<特集：ドイツ社会保障の進路——政権交代は何を
もたらすか——>

趣旨 (松本勝明)

シュレーダー政権下での医療保険改革の評価と今後
の展望 (松本勝明)

ドイツの新連立政権の年金政策——少子高齢化をい
かに乗り切るか—— (藤本健太郎)

介護保険の展開と新政権の課題 (土田武史)

ドイツの家族政策の動向——第二次シュレーダー政
権と大連立政権の家族政策—— (須田俊孝)

ドイツ「大連立政権」の成立と雇用政策のゆくえ
(井口泰)

<動向>

メキシコにおける高齢者政策の限界と可能性 (山口
英彦、松岡広子)

<書評>

Stephen P. Heyneman (ed.) "Islam and Social Policy"
(小島宏)

アジット・S・バラ、フレデリック・ラベール著、福
原宏幸・中村健吾監訳『グローバル化と社会的排

除——貧困と社会問題への新しいアプローチ』
(昭和堂、2005年)(菊地英明)

第156号 (Autumn 2006)

<特集：諸外国における医療と介護の機能分担と連
携>

趣旨 (島崎謙治)

我が国における医療と介護の機能分担と連携 (川越
雅弘)

イギリスにおける医療と介護の機能分担と連携 (郡
司篤晃)

スウェーデンにおける医療と介護の機能分担と連携
——エーデル改革による変遷と現在—— (伊澤知
法)

フランスにおける医療と介護の機能分担と連携 (松
田晋哉)

カナダにおける医療と介護の機能分担と連携 (新川
敏光)

オランダにおける医療と介護の機能分担と連携 (大
森正博)

<論文>

糖尿病入院治療を指標とする中国医療保険制度改革
の医療費抑制効果に関する基礎的研究——遼寧省
の3級総合病院における一考察—— (孟開)

<書評>

金淵明編、韓国社会保障研究会訳『韓国福祉国家性
格論争』(流通経済大学出版社、2006年)(相馬直
子)

第157号 (Winter 2006)

<特集：ベーシック・インカム構想の展開と可能性>
趣旨 (小沢修司)

ヨーロッパにおけるベーシック・インカム構想の展
開 (菊地英明)

イギリスにおける市民年金構想 (藤森克彦)

修正された「ベーシック・インカム」? ——ス
ウェーデンにおける「フリーイヤー」の試み——
(両角道代)

南アフリカにおけるベーシック・インカム論 (牧野
久美子)

「所得再分配調査」を用いたBasic Incomeの検討 (山
本克也)

〈論文〉

フランスにおける医療保険制度の動向——近年の改革による一般化の実現——（柴田洋二郎）

〈研究ノート〉

人口と家族変容から見えてくる台湾の高齢者問題（金戸幸子）

台湾における高齢者福祉の民営化の実態と課題——企業の参入をめぐる——（莊秀美）

〈動向〉

国際比較からみた日本の社会支出——OECD SOCX 2006 Editionの更新——（国立社会保障・人口問題研究所企画部）

〈書評〉

渋谷博史著『20世紀アメリカ財政史Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ』（石光真）

第158号（Spring 2007）

〈特集：先進各国の年金改革の視点〉

趣旨（山本克也）

賦課方式による公的年金制度の運営における積立金水準のあり方（小野正昭）

女性と年金に関する国際比較（丸山桂）

非正規雇用労働者の年金加入をめぐる問題——国際比較の視点から——（西村淳）

先進各国の公的年金制度と高齢低所得者対策（有森美木）

年金の空洞化問題とその対策——ILO, ISSAの議論から——（清水時彦）

〈研究ノート〉

公的年金制度は家計貯蓄を阻害するか——中国の省別パネルデータによる分析——（王梅欣）

介護保険制度としての韓国の老人スバル保険制度の内容と構造に関する一考察（鄭戴旭、白澤政和）

第159号（Summer 2007）

〈特集：所得格差と社会保障〉

趣旨（府川哲夫）

繁栄の時代におけるオーストラリア平等主義の変容（ピーター・サンダース）

アメリカの所得格差と国民意識（阿部彩）

スウェーデンの社会保障と所得再分配（飯野靖四）

フランスの所得格差とRMI（出雲祐二）

ドイツにおける分配問題（丸谷冷史、永合位行）

〈研究ノート〉

韓国における高齢者向け地域福祉施策——「敬老堂」からの示唆——（斎藤嘉孝、近藤克則、平井寛、市田行信）

〈書評〉

武川正吾、イ・ヘギョン編『福祉レジーム日韓比較——社会保障・ジェンダー・労働市場——』（尹文九）

小池隆生著『現代アメリカにおけるホームレス対策の成立と展開』（稲田七海）

第160号（Autumn 2007）

〈特集：子育て支援策をめぐる諸外国の現状〉

趣旨（阿藤誠）

先進諸国の出生率をめぐる国際的動向（守泉理恵）

ドイツの新しい家族政策（魚住明代）

フランスの子育て支援——家族政策と選択の自由——（神尾真知子）

スウェーデンの子育て支援——ワークライフ・バランスと子どもの権利の実現——（高橋美恵子）

ブレア政権の子育て支援策の展開と到達点（所道彦）

アメリカの子育て支援——高い出生率と限定的な家族政策——（白波瀬佐和子）

韓国における少子化の現状とその対策（金明中、張芝延）

〈動向〉

アメリカの補足的保障所得（SSI）の展開——就労自活が困難な人々に対する扶助の在り方をめぐって——（野田博也）

〈書評〉

西村可明編著『移行経済国の年金改革』（小森田秋夫）

第161号（Winter 2007）

〈特集：フランス社会保障制度の現状と課題〉

趣旨（江口隆裕）

フランス社会保障制度を考える視点（加藤智章）

医療制度——近年の動向・現状・課題——（笠木映里）

フランスの高齢者介護制度の展開と課題（原田啓一）

郎)
フランス年金制度の現状と展望 (嵩さやか)
フランスにおける家族政策 (清水泰幸)
フランスの失業保険と雇用政策 (松村文人)

<動向>

OECD SOCXの更新について——SOCX2007edition
のデータについて——(国立社会保障・人口問題
研究所企画部)

<書評>

ジャン=クロード・バルビエ、ブルーノ・テレ著、中
原隆幸・宇仁宏幸・神田修悦・須田文明訳『フラ
ンスの社会保障システム』(米山正敏)

第162号 (Spring 2008)

<特集：地域包括ケアシステムをめぐる国際的動向>
趣旨 (高橋紘士)

我が国における地域包括ケアシステムの現状と課題
(川越雅弘)

イギリスにおける地域包括ケア体制の地平 (多田羅
浩三)

フランスにおける医療・介護ケアシステムの動向
——在宅入院制度による集中的ケアマネジメント
を中心に——(篠田道子)

オランダにおける最近の地域福祉改革の動向と課題
(廣瀬真理子)

デンマークの高齢者福祉政策をささえるもの (関龍
太郎)

カナダ東部の地域包括ケアシステムの現状と課題
(和田耕治、鹿熊律子、川越雅弘)

高齢ケア評価チームを中心としたオーストラリアの
高齢者ケアの概観と医療との連携の現状 (瀬間あ
ずさ)

第163号 (Summer 2008)

<特集：カナダ・韓国・日本3カ国社会保障比較研究>
趣旨 (新川敏光、イト・ペング、スンマン・クォン)
相反する立場としてのカナダ：多文化主義と認識と
再分配 (キース・G・バンティング)

カナダにおける保健医療の財政基盤：その歴史と課
題 (ジェームス・H・ティエッセン)

韓国における高齢者の保健医療と所得に関する諸問
題 (スンマン・クォン)

カナダ・日本・韓国の高齢化等の状況と医療政策の
在り方 (小島克久、尾形裕也)

カナダにおける人口動態・家族・労働の変化に関す
る行動力としての知識の形成について (スーザ
ン・A・マックダニエル)

韓国の新たな社会的リスク：仕事と家庭の両立、所
得格差 (ウンヨン・チョイ)

カナダの連邦児童給付制度の展開と日本への示唆
(尾澤恵)

<研究ノート>

帰国華僑の社会保障に関する一考察——中国広東省
台山海宴華僑農場における人類学的調査を通して
——(奈倉京子)

<動向>

メキシコにおける高齢者金銭給付プログラムの展開
(山口英彦、松岡広子)

第164号 (Autumn 2008)

<特集：世界の高齢者住宅とケア政策>

趣旨 (川越雅弘)

我が国の高齢者住宅とケア政策 (川越雅弘、三浦研
イギリスのコミュニティケア政策と高齢者住宅 (所
道彦)

スウェーデンの高齢者住宅とケア政策 (奥村芳孝)
フィンランドにおける高齢者ケア政策と高齢者住宅
(石井敏)

デンマークの高齢者住宅とケア政策 (松岡洋子)

アメリカの高齢者住宅とケアの実情 (クルーム洋
子)

フランスの高齢者をめぐる住宅環境とケア政策 (奥
田七峰子)

<書評>

イアン・ホリディ、ポール・ワイルディング編、埋
橋孝文・小田川華子・木村清美・三宅洋一・矢野
裕俊・鷺巣典代訳『東アジアの福祉資本主義——
教育、保健医療、住宅、社会保障の動き——』(竹
沢純子)

第165号 (Winter 2008)

<特集：拡大EUの社会保障政策と各国への影響>
趣旨 (岡伸一)

EU拡大下のEU社会政策の意義と課題 (佐藤進)

EU雇用戦略と社会保障－公開調整手法による政策
協調（濱口桂一郎）

拡大EUの社会保障支出の将来推計——EUにおける
高齢化の社会保障支出に及ぼす影響に関する研究
の展開 ——（金子能宏）

ハンガリーのEU加盟と年金制度改革（R.I. ガール、
佐藤嘉寿子）

チェコの老齢年金制度の予備的考察（池本修一）

<論文>

ドイツにおける2007年医療制度改革 —— 競争強化
の視点から ——（松本勝明）

<研究ノート>

韓国における女性の所得保障をめぐる研究動向と今
後の課題—— 学術論文誌と政府シンクタンク報
告書を中心に ——（金鎮）

<動向>

社会保障費の国際比較統計——SOCX2008ed.の解説
と国際基準の動向 ——（国立社会保障・人口問題
研究所企画部）

第166号（Spring 2009）

<特集：障害者福祉の国際的展開>

趣旨（勝又幸子）

2008年ADA改正法の意義と日本への示唆——障害
の社会モデルを手がかりに——（川島聡）

ドイツにおける障害者福祉の現状と課題——介護給
付と社会参加給付を中心に——（森周子）

デンマークにおける障害者の「自立」の考え方——
政治と倫理（片岡豊）

カンボジアにおける障害者福祉の新たな展開につ
いて（漆原克文）

<書評>

田中拓道著『貧困と共和国 社会的連帯の誕生』（廣
澤孝之）

<資料>

『海外社会保障研究』国別総索引（論文・動向・研究
ノート）

第167号（Summer 2009）

<特集：韓国の社会保障——日韓比較の視点から
——>

趣旨（李恵炅）

韓国の社会と社会保障制度（金成垣、山本克也）

金大中・盧武鉉政権の社会保障政策（株本千鶴）

変容する韓国のワークフェア政策（鄭在哲）

韓国年金制度の動向——2007年改革の政治過程とそ
の意味——（朴正培）

保健医療政策——過去は乗り越えられたのか？——
（李蓮花）

韓国の介護保険制度（金貞任）

韓国における少子化対策（松江暁子）

資料 本特集の補足と若干のデータ（金成垣、山本克
也）

<動向>

アメリカにおける公的扶助支出の推移——連邦議会
調査局報告書の支出データを用いて——（野田博
也）

<書評>

篠塚英子、永瀬伸子編著『少子化とエコノミー——
パネル調査で描く東アジア』（太田清）

第168号（Autumn 2009）

<特集：諸外国における高齢者への終末期ケアの現
状と課題>

趣旨（池上直己）

イギリスにおける終末期ケアの歴史と現状——日本
への教訓——（加藤恒夫）

フランスにおける終末期ケアの現状と課題（松田晋
哉）

ドイツにおける終末期ケア——ネットワークによる
在宅高齢者のサポート——（藤本健太郎）

オランダにおける終末期ケアの現状と課題（廣瀬真
理子）

オーストラリアの高齢者緩和ケアの現状と課題（福
田裕子）

<書評>

倉田賀世著『子育て支援の理念と方法』（高島淳子）

笠木映里著『公的医療保険の給付範囲——比較法を
手がかりとした基礎的考察』（柴田洋二郎）

第169号（Winter 2009）

<特集：イギリスの社会保障——ニューレイバーの
10年>

趣旨（武川正吾）

ニューレイバーの社会保障の10年（所道彦）
イギリスの公的・私的年金制度改革（丸谷浩介）
イギリスにおける低所得者対策——所得保障と就労支援——（菊地英明）
ブレア政権下のNHS改革——構造と規制の変化——（松田亮三）
ブレア労働党政権以降のコミュニティケア改革——高齢者ケアに係わる連携・協働と疑似市場における消費者選択——（長澤紀美子）
ニューレイバーの児童（・家族）施策——平等なライフチャンス保障実験——（津崎哲雄）
障害者福祉——ダイレクト・ペイメントの行方——（小川喜道）

〈研究ノート〉

政府機関が公的扶助の捕捉率を把握・公表する際の論点——アメリカの政府説明責任局（GAO）による見解に着目して——（野田博也）

〈動向〉

社会保障費用の国際比較統計——各国際機関における整備の状況——（国立社会保障・人口問題研究所企画部）

〈書評〉

長瀬修、東俊裕、川島聡著『障害者の権利条約と日本——概要と展望』（星加良司）

第170号（Spring 2010）

〈特集：ケア労働の国際比較——新しい福祉国家論からのアプローチ——〉

趣旨（落合恵美子）

日本におけるケア・ダイヤモンドの再編成：介護保険は「家族主義」を変えたか（落合恵美子、阿部彩、埋橋孝文、田宮遊子、四方理人）

発展途上国におけるケア・ダイヤモンド——UNRISDの6カ国調査から——（齋藤暁子）

政治、社会、経済からみたケアの国際比較——開発の視点から——（シャーラ・ラザビ）

日本における介護ケアワーク——特徴と問題点——（埋橋孝文）

時間調査を用いたケアの国際比較——UNRISDの報告書から——（阿部彩）

〈動向〉

インドネシアにおける医療保障制度とその課題（福岡藤乃）

〈書評〉

何立新著『中国の公的年金制度改革——体制移行期の制度的・実証的分析』（沙銀華）

Stephen P. Jenkins and John Micklewright ed. Inequality and Poverty Re-examined（浦川邦夫）

第171号（Summer 2010）

〈特集：アメリカの社会保障〉

趣旨（藤田伍一）

21世紀のアメリカ社会保障（渋谷博史、中浜隆、櫻井潤）

アメリカの医療保障システム——雇用主提供医療保険の空洞化とオバマ医療保険改革——（長谷川千春）

アメリカの年金システム（吉田健三）

試練の中のアメリカ低所得者支援——労働市場との関係を巡る近年の定量的研究結果を踏まえて——（酒井正）

アメリカの障害者雇用政策——障害者差別禁止法（ADA）の成果と課題——（所浩代）

〈書評〉

丸尾直美、レグランド塚口淑子、カール・レグランド著『福祉政策と労働市場——変容する日本モデル・スウェーデンモデル』（山本克也）

小島晴洋、小谷眞男、鈴木桂樹、田中夏子、中益陽子、宮崎理枝著『現代イタリアの社会保障——ユニバーサリズムを越えて』（工藤裕子）

第172号（Autumn 2010）

〈特集：社会保障制度における財源徴収と情報管理の国際比較〉

趣旨（駒村康平）

諸外国における社会保障番号制度と税・社会保険料の徴収管理（高山憲之）

デンマーク電子政府の試み——社会保障制度における財源徴収と情報管理——（安岡美佳、鈴木優美）

EHRが変える保健医療——諸外国の取り組みと我が国への示唆——（山本隆一）

我が国におけるEHRに向けた一考察——社会保障カード構想を通じて——（中安一幸）

〈研究ノート〉

ドイツ連邦共和国・デンマーク王国における介護職

員養成（筒井澄栄、石川彪）

<書評>

井伊雅子編『アジアの医療保障制度』（米山正敏）
小林甲一著『ドイツ社会政策の構造転換労働生活と
その人間化をめぐる』（森周子）

第173号（Winter 2010）

<特集：諸外国の就学前教育・保育サービス——子
どもの「育ち」を保障する社会のしくみ——>

趣旨（高橋重郷）

日本の就学前教育・保育の状況と政策の方向——諸
外国と比較しつつ日本の今後を考える——（小宮
山潔子）

（公募）論文：日本およびニュージーランドにおける
プレイセンターのソーシャルキャピタル効果に関
する事例研究——参加する親たちの精神性や行動
特性を手がかりにして——（佐藤純子）

（公募）論文：スウェーデンの児童ケアサービス拡充
期における財源調達に関する一考察——1975年政
府案の背景と思想——（秋朝礼恵）

（公募）研究ノート：スウェーデンの“EDUCARE”
モデルの形成過程と政策視座（訓覇法子）

（公募）研究ノート：韓国における保育費用と母親の
就業（曹成虎）

（公募）研究ノート：就学前児童の健康状態が教育に
与える影響について——諸外国のデータを用いた
実証研究のサーベイ——（中室牧子、星野絵里）

<動向>

社会保障費の国際比較統計——SOCX2010ed.の解説
と国際基準動向——（国立社会保障・人口問題研
究所企画部）

<書評>

新川敏光、篠田徹編著『労働と福祉国家の可能性
——労働運動再生の国際比較——』（後藤玲子）

メリー・デイリー、キャサリン・レイク著、杉本貴
代栄監訳『ジェンダーと福祉国家——欧米におけ
るケア・労働・福祉』（滋野由紀子）

第174号（Spring 2011）

<特集：医師・看護師の養成と役割分担に関する国
際比較>

趣旨（尾形裕也）

アメリカの病院における医療専門職種の役割分担に
関する組織的要因——医師・看護師・Non-
Physician Clinicianを中心に——（早川佐知子）
カナダの現状：看護師の教育・登録・業務範囲を中
心に（泉田信行）

フランスにおける医師と看護師の役割分担——看
護師の「固有の役割」を中心に——（篠田道子）
デンマークにおける医師と看護師の役割分担（山田
ゆかり）

イギリスにおける医師・看護師の養成と役割分担
（白瀬由美香）

<研究ノート>

中国上海市と北京市におけるホームヘルプサービス
の現状（鄭小華、黒田研二、関川芳孝）

<書評>

長谷川千春著『アメリカの医療保障：グローバル化
と企業保障のゆくえ』（天野拓）

池本美香編著『子どもの放課後を考える 諸外国と
の比較でみる学童保育問題』（西村智）

第175号（Summer 2011）

<特集：高齢女性の所得保障：年金を中心に>

趣旨（落合恵美子）

スウェーデンにおける女性高齢者の所得保障：年金
を中心に（齊藤弥生）

イギリスにおける高齢女性の所得保障——年金にお
ける「女性の貧困リスク」への対応——（平部康
子）

アメリカにおける高齢女性と所得保障——年金を中
心として——（杉本貴代栄）

ドイツにおける高齢女性の所得保障：年金を中心に
（森周子）

フランスの高齢女性と年金——なぜフランスの高齢
女性は貧困なのか——（神尾真知子）

韓国における年金制度と女性——後発国の文脈から
——（金成垣）

<「諸外国の就学前教育・保育サービス——子ども
の『育ち』を保障する社会のしくみ——」に関す
る投稿論文>

アメリカにおける保育の質と児童の利益——行政規
制をめぐる判例を手がかりとして——（常森裕
介）

<動向>

日本とフランスにおける若年就業問題（酒井正）

<書評>

金成垣編著『現代の比較福祉国家論——東アジア発の新しい理論構築に向けて』（田中拓道）

小林昌之編『アジア諸国の障害者法——法的権利の確立と課題——』（漆原克文）

第176号（Autumn 2011）

<特集：若年就業と諸外国の社会保障政策——労働市場政策を中心として——>

趣旨（太田聰一）

若年者雇用政策の現状と課題（神林龍、アン・ソネ）
オランダにおける若年就業と労働市場政策（久保隆光）

フランスにおける若年就業と労働市場政策（藤本玲）

英国の若年就業政策と社会保障改革——1980-2000年代の展開と構想——（卯月由佳）

韓国の青年雇用ミスマッチへの2つの対応戦略——技術教育改革と社会貢献・起業支援——（金早雪）

<研究ノート>

知的障害者の自立を支えるインディヴィジュアル・ファンドの取り組みについて——カナダ・ Manitoba州の取り組みから——（木口恵美子）

<書評>

林春植、宣賢奎、住居広士編著『韓国介護保険制度の創設と展開——介護保険の国際的視点——』（金貞任）

百瀬優著『障害年金の制度設計』（山本麻由美）

第177号（Winter 2011）

<特集：貧困への視座と対策のフロンティア>

趣旨（阿部彩）

アメリカにおける貧困への視座と対策（野田博也）
イギリスにおける貧困への視座と対策——労働党政権時代の貧困・地域再生政策の検証——（山本隆）

ドイツにおける貧困の現状と対策の課題（嵯峨嘉子）

イタリアにおける貧困への視座と対策——地域間格差の再生産の背景にあるもの——（田中夏子）

階層的不平等研究の最近の動向と課題（盛山和夫）

<論文>

医療保障制度と医療情報ネットワーク化状況の国際比較（岸田伸幸）

中国における所得格差の要因分解と累進所得税・再分配政策の効果（雍煌）

<書評>

武田友加著『現代ロシアの貧困研究』（駿河輝和）

Johannes Lindvall 著『Mass Unemployment and the State』（稗田健志）

第178号（Spring 2012）

<特集：スウェーデンの社会保障——グローバル化経済の中での苦悩と挑戦——>

趣旨（岡澤憲美）

普遍主義的医療制度における公私混合供給の展開——スウェーデンにおける患者選択制の検討——（松田亮三）

老齢年金——1998年改革の意義と課題——（中野妙子）

2000年以降のスウェーデンにおける高齢者福祉——「選択の自由」拡大とそれに伴う諸対応の展開——（吉岡洋子）

スウェーデンの社会扶助の30年（宮寺由佳）

1990年代以降の労働市場政策の変化と現在の課題（佐藤吉宗）

<論文>

フランスにおける保健医療計画の導入と展開——医療への平等なアクセスの実現を目指して——（松本由美）

<動向>

社会保障費の国際比較——SOCX2010ed.にみる諸外国の動向——（国立社会保障・人口問題研究所企画部）

<書評>

Richard B.Freeman, Birgitta Swedenborg, Robert H.Topel編著『Reforming the welfare state: recovery and beyond in Sweden』（酒井正）

Francis G. Castles, Stephan Leibfried, Jane Lewis Herbert Obinger, Christopher Pierson編『The Oxford Handbook of THE WELFARE STATE』（西村周三）

第179号 (Summer 2012)

〈特集：社会保障における財源論——税と社会保険料の役割分担——〉

趣旨 (江口隆裕)

ドイツにおける社会保障財源の見直し (松本勝明)
フランス社会保障財源の「租税化」(fiscalisation)
——議論・帰結・展開—— (柴田洋二郎)

イギリスにおける社会保障給付と財源の統合化
(平部康子)

分権国家スウェーデンにおける社会保障の財源確保
(木下淑恵)

アメリカの医療保障における財源確保——メディケ
ア、メディケイドの展開—— (石田道彦)

〈論文〉

オーストラリア・ビクトリア州における生殖補助医
療の法制度化による子の出自を知る権利の保障
(南貴子)

中国における農民工の社会保障問題に関する一考察
——就労・生活実態の分析を通して—— (巖春
鶴)

〈動向〉

経済不況下における欧州諸国のフレキシキュリティ
政策の現状 (岩田克彦)

〈書評〉

森壯也編『途上国障害者の貧困削減——かれらはど
う生計を営んでいるのか』(鈴木勉)

堀橋孝文『福祉政策の国際動向と日本の選択：ポ
スト「三つの世界」論』(坪洋一)

第180号 (Autumn 2012)

〈特集：海外の社会保障制度における国と地方の関
係〉

趣旨 (佐藤主光)

イギリス社会福祉における国と地方の関係——
ニューレイバー政権期における諸改革と政策展開
を中心に—— (平岡公一)

フランスの社会保障制度における国と地方の関係
(伊奈川秀和)

ドイツ社会保障制度における政府間関係 (武田公
子)

カナダの連邦制度と社会保障 (池上岳彦)

スウェーデンの社会保障制度における国と地方の関
係——介護サービスにおける「サービス選択自由
化法」の影響を中心に—— (斉藤弥生)

〈書評〉

李蓮花著『東アジアにおける後発近代化と社会政策
——韓国と台湾の医療保険政策——』 (岩淵豊)
有森美木著、江口隆裕編『世界の年金改革』(山本克
也)

第181号 (Winter 2012)

〈特集：公的年金の支給開始年齢の引き上げと高齢
者の所得保障〉

趣旨 (駒村康平)

支給開始年齢からみたアメリカの年金制度 (山本克
也)

イギリスにおける年金支給開始年齢の引き上げと
「定年制」の廃止 (丸谷浩介)

ドイツの年金改革の動向～支給開始年齢の引き上げ
(藤本健太郎)

フランスにおける年金改革と高齢者所得保障——年
金支給年齢の引上げを中心に—— (岡伸一)

オーストラリアの年金改革と支給開始年齢の引上げ
(西村淳)

〈書評〉

伊奈川秀和著『フランス社会保障法の権利構造』(京
極高宣)

新川敏光編著『福祉レジームの収斂と分岐：脱商品
化と脱家族化の多様性』(堀江孝司)

第182号 (Spring 2013)

〈特集：精神障害者地域生活支援の国際比較〉

趣旨 (勝又幸子)

日本における精神障害者の地域生活支援——千葉
県市川市の取り組み—— (下平美智代、山口創生、
伊藤順一郎)

精神障害者地域生活支援の国際比較——イタリア
—— (坂本沙織)

スウェーデンにおける精神障害者支援から考える日
本の精神障害者地域生活支援の在り方 (石田晋
司)

精神障害者地域生活支援の国際比較——アメリカ合
衆国—— (福井貞亮)

〈投稿論文〉

容貌の損傷と合理的配慮——ADAの障害学的検討——
——(川島聡、西倉実季)

〈動向〉

OECD基準による我が国の社会支出——社会保障費用統計2010年度報告——(国立社会保障・人口問題研究所 社会保障費用統計プロジェクト)

〈書評〉

イアン・ファーガスン著、石倉康次・市井吉興監訳『ソーシャルワークの復権：新自由主義への挑戦と社会正義の確立』(山森亮)

埋橋孝文、于洋、徐編著『中国の弱者層と社会保障——「改革開放」の光と影』(西山裕)

第183号 (Summer 2013)

〈特集：グローバル景気後退と各国の失業者支援政策〉

趣旨 (小原美紀)

イギリスの失業者支援政策 (樋口英夫)

ドイツにおける失業者支援制度 (中内哲)

スウェーデンにおける失業保険の役割 (山本麻由美)

韓国における雇用保険制度と失業者支援政策の現状 (金明中)

〈投稿 (論文) 〉

デンマークにおける犯罪者の社会復帰の取り組みの動向——我が国への示唆として—— (岡部眞貴子)

〈投稿 (動向) 〉

メキシコにおける認知症高齢者とその介護者に対する社会的支援～家族介護者に対する姿勢のわが国との比較を中心に～ (松岡広子、山口英彦)

〈書評〉

Sri Wening Handayani and Babken Babajanian編Social Protection for Older Persons : Social Pensions in Asia (梶原弘和)

水島治郎著『反転する福祉国家——オランダモデルの光と影』(大森正博)

第184号 (Autumn 2013)

〈特集：介護者支援の国際比較：要介護者と家族を支える取り組みの多様性〉

趣旨 (田宮菜奈子)

スウェーデンの介護者支援 (藤岡純一)

ドイツの介護者支援 (齋藤香里)

アメリカの介護者支援——PACEによる地域包括ケア拡大の可能性—— (新井光吉)

韓国の高齢者の介護の社会化と家族介護支援の現状 (金貞任)

オーストラリアのケアラー (介護者) 支援 (木下康仁)

〈書評〉

高田実、中野智世編著『近代ヨーロッパの探求15福祉』(近藤正基)

Joan Costa-Font編Reforming Long-term Care in Europe (河野真)

第185号 (Winter 2013)

〈特集：貧困・格差を総合的、継続的に把握する指標の開発と活用——数値目標化とモニタリングのしくみ——〉

趣旨 (阿部彩)

欧州連合における貧困・社会的排除指標の数値目標化とモニタリング (高橋義明)

フランスにおける貧困・社会的排除指標作成と政策形成 (西村周三)

ニュージーランドにおける公的貧困指標の開発 (阿部彩)

子どもウェルビーイング指標に関する国際的動向 (竹沢純子)

〈書評〉

Laurent J. G. Van Der Maesen and Alan Walker著Social Quality : From Theory to Indicators (西村周三)

所道彦著『福祉国家と家族政策：イギリスの子育て支援策の展開』(法律文化社、2012年) (伊藤善典)

第186号 (Spring 2014)

〈特集：ドイツの社会保障：メルケル政権下の社会保障〉

趣旨 (土田武史)

メルケル政権の福祉政治 (近藤正基)

メルケル政権下の医療制度改革——医療制度における競争—— (松本勝明)

メルケル政権下の介護保険制度改革の動向 (森周)

子)

メルケル政権下の子育て支援政策——パラダイム転換の定着と拡充—— (倉田賀世)

<動向>

OECD基準による我が国の社会支出——社会保障費用統計2011年度報告—— (国立社会保障・人口問題研究所 社会保障費用統計プロジェクト)

<書評>

吉田健三著『アメリカの年金システム』(日本経済評論社、2012年) (今福愛志)

ゲルハルト・A・リッター著、竹中亨監訳『ドイツ社会保障の危機——再統一の代償——』(ミネルヴァ書房、2013年) (川越修)

安周永『日韓企業主義的雇用政策の分岐——権力資源動員論からみた労働組合の戦略』(ミネルヴァ書房、2013年) (朴昌明)

<総目次>

海外社会保障研究 (第183～第186号) 総目次

第187号 (Summer 2014)

<特集：大規模災害と社会保障 I >

趣旨 (山崎栄一)

四川大地震における中国社会の復興対策の特徴と課題 (大谷順子)

台湾の大規模災害——近年の二つの災害とその復興をめぐって (垂水英司)

ニュージーランド・カンタベリー地震 (武田真理子)

イタリアにおける大規模災害と公共政策——2009年アブルッツォ州震災の事例を中心に—— (小谷眞男)

<投稿 (論文) >

カイザー・パーマネンテの新しいマネジドケア——民間医療システムとしての「KP HealthConnect」の意義 (安部雅仁)

<書評>

笹谷春美著『フィンランドの高齢者ケア——介護者支援・人材養成の理念とスキル』(明石書店、2013年) (高橋絵里香)

笠木映里著『社会保障と私保険 フランスの補足的医療保険』(有斐閣、2012年) (松本由美)

第188号 (Autumn 2014)

<特集：大規模災害と社会保障 II >

趣旨 (勝又幸子)

災害発生時における危機対応システム——米国の事例に学ぶ—— (牧紀男)

タイ大洪水と社会保障 (河森正人)

チェルノブイリ原子力発電所の事故後の、被災者の生活・就労、健康被害に対する支援策 (サンドロ ヴィッチ・ティムール)

災害カタストロフィにおける個人の「福祉」と「公共性」——アメリカ合衆国の連邦災害政策を素材として—— (後藤玲子)

<書評>

レグランド塚口淑子編著『「スウェーデン・モデル」は有効か 持続可能な社会へむけて』(ノルディック出版、海象社、2012年) (福島淑彦)

森壮也、山形辰史著『障害と開発の実証分析——社会モデルの観点から——』(勁草書房、2013年) (長江亮)

<ブックレビュー>

ベラルーシ共和国非常事態省チェルノブイリ原発事故被害対策局編、日本ベラルーシ友好協会監訳『チェルノブイリ原発事故 ベラルーシ政府報告書 [最新版]』(産学社、2013年) (西森和寛)

アレクセイ・V・ヤブロコフ、ヴァシリー・B・ネステレンコ、アレクセイ・V・ネステレンコ、ナタリヤ・E・プレオブラジェンスカヤ著、星川淳監訳『調査報告 チェルノブイリ被害の全貌』(岩波書店、2013年) (西森和寛)

第189号 (Winter 2014)

<特集：中国の社会保障>

趣旨 (田多英範)

「適度」と「普惠」の視点からみる中国版皆年金体制のゆくえ (于洋)

中国における「全民低保」の実現 (朱珉)

社会保障と介護福祉 (沈潔)

「市場」から「政府」へ——中国における「全民医療保障」政策の成果と課題—— (李蓮花)

<投稿 (論文) >

非線形回帰分析による世界各国の貧困の決定要因の

解析（田辺和俊、鈴木孝弘）

<動向>

社会保障費用統計の国際比較——OECD SOCX 2014 ed.とILO World Social Security Report——（国立社会保障・人口問題研究所 社会保障費用統計プロジェクト）

<書評>

田多英範編著『世界はなぜ社会保障制度を創ったのか』（ミネルヴァ書房、2014年）（玉井金五）

天野拓著『オバマの医療改革』（勁草書房、2013年）（山岸敬和）

<ブックレビュー>

加藤智章、西田和弘編『世界の医療保障』（法律文化社、2013年）（黒田有志弥）

第190号（Spring 2015）

<特集：認知症対策の国際比較>

趣旨（高橋紘士）

英国の認知症国家戦略（西田淳志）

フランスの認知症国家計画（近藤伸介）

オーストラリアの認知症対策（中西三春、中島民恵子）

デンマークの認知症ケア国家戦略と福祉・介護人材（汲田千賀子）

<書評>

李崙碩著『高齢者雇用政策の日韓比較』（ミネルヴァ書房、2013年）（金子能宏）

久本貴志著『アメリカの就労支援と貧困』（日本経済評論社、2014年）（木下武徳）

<総目次>

海外社会保障研究（第187～第190号）総目次

第191号（Summer 2015）

<特集：ロシアの社会保障>

特集の趣旨（雲和広）

ロシアの社会保障をめぐる社会経済環境の変化（雲和広）

ロシアの保健医療事情と政策・制度の動向（衣川靖子）

ロシアの生活保護政策：貧困の現状と対策（武田友加）

ロシアにおける子育て支援政策の現状と課題（村知

稔三）

<書評>

池本美香編著『親が参画する保育をつくる：国際比較調査をふまえて』（勁草書房、2014年）（相馬直子）

山田篤裕、布川日佐史、『貧困研究』編集委員会（編）『最低生活保障と社会扶助基準——先進8ヶ国における決定方式と参照目標』（明石書店、2014年）（岩永理恵）

第192号（Autumn 2015）

<特集：予防接種の国際比較>

特集の趣旨（加藤智章）

米国の予防接種制度から学ぶこと——日本の予防接種制度の現状と課題（齋藤昭彦）

途上国における予防接種制度の現状と課題（中村安秀）

ドイツにおける予防接種政策（松本勝明）

中国における予防接種の歴史的展開——種痘政策を中心に（福士由紀）

<投稿（動向）>

韓国における認知症対策および家族介護者支援の取り組みの現状と課題（鄭丞媛、井上祐介、趙恩暎、斎藤民）

<書評>

井上恒男著『英国所得保障政策の潮流——就労を軸とした改革の動向——』（ミネルヴァ書房、2014年）（丸谷浩介）

沈潔著『中国の社会福祉改革は何を目指そうとしているのか——社会主義・資本主義の調和——』（ミネルヴァ書房、2014年）（澤田ゆかり）

第193号（Winter 2016）

<特集：福祉国家の多様性：比較福祉レジーム論の射程>

特集の趣旨（加藤淳子）

福祉レジーム論からみた東アジア——韓国（金成垣）

比較福祉レジーム論からみた中東欧：ハンガリー（柳原剛司）

メキシコの福祉制度—新たな社会扶助政策と社会権の確立——（畑恵子）

東南アジアの福祉と国家についての一考察——タイ
の事例をつうじて——（河森正人）

〈投稿（論文）〉

イギリスの高齢者介護費用負担制度の改革——責任
と公平を巡る17年間の議論——（伊藤善典）

〈投稿（研究ノート）〉

韓国の教育現場における「正当な便宜」の運用実態
の考察——「合理的配慮」との違いに着目して
——（金仙玉）

〈動向〉

社会保障費用の国際比較——OECD 基準社会支出の
国際比較とOECD 基準「保健」の作成方法——
（国立社会保障・人口問題研究所 社会保障費用
統計プロジェクト）

〈総索引〉

『海外社会保障研究』総索引（国立社会保障・人口問
題研究所）

〈資料〉

『海外社会保障研究』資料（国立社会保障・人口問題
研究所）

2. 国別総索引

凡 例

- (1) 各国別に、「論文・海外の動き・解説等」及び「海外文献紹介・書評」をそれぞれの国について分けて掲載した。
- (2) 「海外社会保障関係文献目録」も除外している。
- (3) 各項目は、題名/執筆者/掲載号数/掲載月年の順に記載されている。
- (4) 国名は50音順に並んでいる。

アメリカ

【論文・海外の動き・解説等】

長期ケアにおける質の評価——アメリカにおける評価制度の現状とその問題点——（池上直己/第101号/Winter 1992）

医療の優先順位決定と医療システムの効率化——オレゴンの医療改革——（久繁哲徳/第101号/Winter 1992）

アメリカにおけるホームレスと児童——その現状と対策——（松原康雄/第102号/Spring 1993）

アメリカのホームレスと住宅政策（岡本祥浩/第102号/Spring 1993）

ポスト・インダストリアル・シティとアメリカの都市労働者の生活（坂野達郎/第102号/Spring 1993）

エイズ患者の医療費負担問題（マーサ・N・オザワ、ウェンディ・F・アウスランダー、ベレド・スロニム＝ネボ、小島晴洋訳/第102号/Spring 1993）

アメリカにおける高齢者とコミュニティサービス——アメリカ高齢者法を中心に——（野村知子/第103号/Summer 1993）

アメリカの障害者差別禁止法——ADAにおける雇用の規定について——（辻阪高子/第103号/Summer 1993）

アメリカから見た日本の年金制度の諸問題（ロバート・J・マイヤーズ、村上清・勝又幸子通訳/第103号/Summer 1993）

アメリカにおける保育サービスの現状と保育政策の課題（下夷美幸/第104号/Autumn 1993）

HMO産業の構造的変化——80年代における米国の医療費抑制政策——（知野哲朗/第104号/Autumn

1993)

マーティン・フェルドシュタイン（Martin Feldstein, 1939～）——年金の経済分析——（田近栄治、第105号/Winter 1993）

アメリカにおける老人ケアと日本の課題——在宅ケアと施設ケアの質の向上について——（高木安雄/第106号/Spring 1994）

アメリカ社会学会第87回年次大会に参加して（小田輝哉/第106号/Spring 1994）

ウィスコンシン大学マディソン校 貧困問題研究所（カレン・C・ホールデン、エリザベス・エヴァンソン、野呂芳明訳/第106号/Spring 1994）

アメリカにおける外国人に対する社会保障制度の適用（堀勝洋/第107号/Summer 1994）

老人医療の評価と質の向上のための対策 入所者アセスメントとケースミックス支払方式によるナーシングホームの質の向上——アメリカにおける老人医療の政策課題——（ブランド・E・フリース、小林しのぶ通訳/第107号/Summer 1994）

保障の拡大・コストの削減：米国の医療制度改革（西村由美子/第108号/Autumn 1994）

米国の医療供給システム——病院経営の変遷を切り口に公正と効率を考える——（田中滋/第108号/Autumn 1994）

クリントン改革とマネジド・コンペティションについて（矢野聡/第108号/Autumn 1994）

医療改革をめぐる米国議会の動き（平岩勝/第108号/Autumn 1994）

アメリカの医療政策と医学研究振興政策——日本は何を学ぶのか——（広井良典/第108号/Autumn 1994）

メディケアにおける診療報酬制度の改正（川渕孝一

- /第108号/Autumn 1994)
- アメリカの医療改革と公的保険の役割 (マリアンヌ・C・ファーズ、小林しのぶ通訳/第110号/Spring 1995)
- アメリカの社会保障研究の今日——医療——医療の質と効率性に関する研究を中心に (池田俊也、池上直己/第111号/Summer 1995)
- アメリカの年金制度 (村上清/第111号/Summer 1995)
- アメリカの社会保障研究の今日——社会福祉 (松原康雄/第111号/Summer 1995)
- V. R. フュックスのWho Shall Live?に学ぶ (江見康一/第111号/Summer 1995)
- 日米医療費をめぐる真剣な討議 (武藤博道/第111号/Summer 1995)
- アメリカにおける職場暴力と使用者責任 (林弘子/第112号/Autumn 1995)
- アメリカにおける老人医療・介護の課題 (高木安雄/第113号/Winter 1995)
- ニューヨーク市立大学マウントサイナイ医学校医療経済研究部 (福田敬/第113号/Winter 1995)
- アメリカ合衆国における準低所得世帯に対する健康保険適用 (マーサN・オザワ、ヨンT. ウァン、丹司紅・長屋祥子訳/第115号/Summer 1996)
- アメリカにおけるソーシャルワークとケースマネージメントの動向 (伊藤淑子/第118号/Spring 1997)
- アメリカにおける「患者の死ぬ権利」の現状——Advance Directiveに焦点を当てて (益田雄一郎、井口昭久/第118号/Spring 1997)
- RANDコーポレーション (アメリカ) (尾藤誠司/第118号/Spring 1997)
- アメリカ所得移転システムの特徴 (埋橋孝文/第119号/Summer 1997)
- アメリカにおける医療費適正化政策：効果と限界 (小林均/第120号/Autumn 1997)
- 米国の住宅政策：福祉の視点から (古瀬敏/第122号/Spring 1998)
- 米国の拠出建て年金 (粥川正敏/第122号/Spring 1998)
- ハイブリッド型企業年金制度に関する調査研究——キャッシュバランスプランを中心に—— (新開保彦/第123号/Summer 1998)
- 高齢者終末医療——欧米と日本の場合 (松下哲/第124号/Autumn 1998)
- Spending and Sources of Finance in the American Welfare States: Options for Reform (I) (Gary Burtless/第124号/Autumn 1998)
- 米国の多数事業主制度 (上) (粥川正敏/第124号/Autumn 1998)
- Spending and Sources of Finance in the American Welfare State: Options for Reform (II) (Gary Burtless/第125号/Winter 1998)
- 米国の多数事業主制度 (下) (粥川正敏/第125号/Winter 1998)
- 医療の質の評価とアメリカの医療システム (石田道彦/第129号/Winter 1999)
- マネジドケアと医療の質——法的側面からの検討—— (菊池馨実/第129号/Winter 1999)
- 社会保障費からみたアメリカ社会保障の特徴と社会保障国際比較研究の意義と課題 (大西秀典/第130号/Spring 2000)
- 米国マネジメントの発展とERISA専占条項 (藤川恵子/第130号/Spring 2000)
- 公的年金制度における情報公開のあり方について——アメリカ社会保障庁の方法に学ぶ—— (山本克也、増淵勝彦/第133号/Winter 2000)
- 退職給付政策における掛金建て制度の役割 (小野正昭/第133号/Winter 2000)
- オンロック/PACEモデル (米国高齢者医療介護プログラム) の概要と課題——わが国介護保険への示唆—— (河口洋行/第135号/Summer 2001)
- 米国マネジドケアの試みから医療保険における保険者機能を考える (西田在賢/第136号/Autumn 2001)
- 米国メディケアにおける保険者機能 (住吉英樹、清野仁子/第136号/Autumn 2001)
- アメリカにおける1996年福祉改革法とチャリタブル・チョイス——宗教団体への福祉サービスの民間委託—— (木下武徳/第141号/Winter 2002)
- 貯蓄支援税制としてのアメリカ401 (k) に関する考察 (吉田健三/第142号/Spring 2003)
- 日米の働く母親と子育て支援——福祉国家と家族の関係を探る—— (白波瀬佐和子/第143号/Summer 2004)
- アメリカの福祉改革の効果と批判 (阿部彩/第147号/Summer 2004)
- アメリカ企業年金の最新動向——最低積立基準の抜け道—— (三石博之/第151号/Summer 2005)
- 高齢者の居住水準：日米比較と経済学的背景 (中川雅之/第152号/Autumn 2005)

- アメリカにおける住環境の保障と住宅政策（岡田徹太郎/第152号/Autumn 2005）
- アメリカの長期ケア（Long Term Care）における障害者支援と高齢者支援（北野誠一/第154号/Spring 2006）
- アメリカの所得格差と国民意識（阿部彩/第159号/Summer 2007）
- アメリカの子育て支援——高い出生率と限定的な家族政策——（白波瀬佐和子/第160号/Autumn 2007）
- アメリカの補足的保障所得（SSI）の展開——就労自活が困難な人々に対する扶助の在り方をめぐって——（野田博也/第160号/Autumn 2007）
- アメリカの高齢者住宅とケアの実情（クルーム洋子/第164号/Autumn 2008）
- アメリカにおける公的扶助支出の推移——連邦議会調査局報告書の支出データを用いて——（野田博也/第167号/Summer 2009）
- 政府機関が公的扶助の捕捉率を把握・公表する際の論点——アメリカの政府説明責任局（GAO）による見解に着目して——（野田博也/第169号/Winter 2009）
- アメリカの社会保障：趣旨（藤田伍一/第171号/Summer 2010）
- 21世紀のアメリカ社会保障（渋谷博史、中浜隆、櫻井潤/第171号/Summer 2010）
- アメリカの医療保障システム——雇用主提供医療保険の空洞化とオバマ医療保険改革——（長谷川千春/第171号/Summer 2010）
- アメリカの年金システム（吉田健三/第171号/Summer 2010）
- 試練の中のアメリカ低所得者支援——労働市場との関係を巡る近年の定量的研究結果を踏まえて——（酒井正/第171号/Summer 2010）
- アメリカの障害者雇用政策——障害者差別禁止法（ADA）の成果と課題——（所浩代/第171号/Summer 2010）
- アメリカの病院における医療専門職種の役割分担に関する組織的要因——医師・看護師・Non-Physician Clinicianを中心に——（早川佐知子/第174号/Spring 2011）
- アメリカにおける高齢女性と所得保障——年金を中心として——（杉本貴代栄/第175号/Summer 2011）
- アメリカにおける保育の質と児童の利益——行政規制をめぐる判例を手がかりとして——（常森裕介/第175号/Summer 2011）
- アメリカにおける貧困への視座と対策（野田博也/第177号/Winter 2011）
- アメリカの医療保障における財源確保——メディケア、メディケイドの展開——（石田道彦/第179号/Summer 2012）
- 支給開始年齢からみたアメリカの年金制度（山本克也/第181号/Winter 2012）
- 精神障害者地域生活支援の国際比較——アメリカ合衆国——（福井貞亮/第182号/Spring 2013）
- 容貌の損傷と合理的配慮——ADAの障害学的検討——（川島聡、西倉実季/第182号/Spring 2013）
- アメリカの介護者支援——PACEによる地域包括ケア拡大の可能性——（新井光吉/第184号/Autumn 2013）
- カイザー・パーマネンテの新しいマネジドケア——民間医療システムとしての「KP HealthConnect」の意義（安部雅仁/第187号/Summer 2014）
- 災害発生時における危機対応システム——米国の事例に学ぶ——（牧紀男/第188号/Autumn 2014）
- 災害カタストロフィにおける個人の「福祉」と「公共性」——アメリカ合衆国の連邦災害政策を素材として——（後藤玲子/第188号/Autumn 2014）
- 米国の予防接種制度から学ぶこと——日本の予防接種制度の現状と課題（齋藤昭彦/第192号/Autumn 2015）

【海外文献紹介・書評】

- Steven Rathgeb Smith and Michael Lipsky, “Nonprofits for Hire: The Welfare State in the Age of Contracting”, (Harvard University Press, 1993)（武智秀之/第107号/Summer 1994）
- 杉本貴代栄著『社会福祉とフェミニズム』（勁草書房、1993年）（渋谷敦司/第109号/Winter 1994）
- 野口悠紀雄、デービッド・ワイズ編『高齢化の日米比較』（日本経済新聞社、1995年）（吉田浩/第118号/Spring 1997）
- 西村由美子編著『アメリカ医療の悩み：どこに問題があるか』（川渕孝一/第120号/Autumn 1997）
- 菊池馨実著『年金保険の基本構造——アメリカ社会保障制度の展開と自由の理念』（藤田伍一/第125号/Winter 1998）
- G・ティモシー・ハイト、ステファン・モレル著『アメリカの年金・資産運用』（渡辺幹文/第125号

/Winter 1998)

- 中田照子、杉本清代栄、森田明美共著『日米のシン
グルマザーたち』(木村清美/第126号/Spring 1999)
- Gary Bryner, *Politics and Public Morality: The Great
American Welfare Reform Debate* (後藤玲子/第127
号/Summer 1999)
- 藤田伍一、塩野谷祐一編『先進諸国の社会保障7 ア
メリカ』(菊池馨実/第133号/Winter 2000)
- 渋谷博史、内山昭、立岩寿一編『福祉国家システム
の構造変化——日米における再編と国際的枠組み
——』(斎藤忠雄/第143号/Summer 2003)
- 渋谷博史、渡瀬義男、樋口均編『アメリカの福祉国
家システム』(加藤久和/第149号/Winter 2004)
- 渋谷博史著『20世紀アメリカ財政史I・II・III』(石
光真/第157号/Winter 2006)
- 小池隆生著『現代アメリカにおけるホームレス対
策の成立と展開』(稲田七海/第159号/Summer
2007)
- 長谷川千春著『アメリカの医療保障：グローバル化
と企業保障のゆくえ』(天野拓/第174号/Spring
2011)
- 吉田健三著『アメリカの年金システム』(日本経済評
論社、2012年)(今福愛志/第186号/Spring 2014)
- 天野拓著『オバマの医療改革』(勁草書房、2013年)
(山岸敬和/第189号/Winter 2014)
- 久本貴志著『アメリカの就労支援と貧困』(日本経済
評論社、2014年)(木下武徳/第190号/Spring 2015)

イギリス

【論文・海外の動き・解説等】

- 英国の老人介護におけるコミュニティケアの経済分
析(鴫田忠彦/第103号/Summer 1993)
- イギリスの医療と福祉の再編(郡司篤晃/第104号
/Autumn 1993)
- 英国国民保健サービス改革とその内部市場メカニ
ズムについて(中泉真樹/第104号/Autumn 1993)
- トーマス・マーシャル(Tomas Humphrey Marshall,
1893~1981)——市民権の理論とハイフン連結社
会論——(伊藤周平/第105号/Winter 1993)
- ブライアン・エイベルスミス(Brian Abel-Smith,
1926~)(前田信雄/第105号/Winter 1993)
- ピーター・タウンゼンド(Peter Brereton Townsend,
1928~)——人類学と福祉学——(杉野昭博/第

105号/Winter 1993)

- アンソニー・アトキンソン(Antony Barnes Atkinson,
1944~)——理性的急進主義者の社会保障論——
(地主重美/第105号/Winter 1993)
- イギリスの社会保障研究の今日——医療(一圓光彌
/第111号/Summer 1995)
- イギリスの社会保障研究の今日——年金(樫原朗/
第111号/Summer 1995)
- イギリスの社会保障研究の今日——社会福祉(平岡
公一/第111号/Summer 1995)
- イギリス留学と社会保障研究(堀勝洋/第111号
/Summer 1995)
- 新救貧法について——この一冊(伊部英男/第111号
/Summer 1995)
- ベヴァリジ報告の衝撃(地主重美/第111号/Summer
1995)
- 影響を受けたこの一冊(都村敦子/第111号/Summer
1995)
- 『ベヴァリジ・レポート』と私(平田富太郎/第111号
/Summer 1995)
- キャサリン・ジョーンズ先生(古瀬徹/第111号
/Summer 1995)
- ドニソン教授との交流(星野信也/第111号/Summer
1995)
- 英国における社会サービスへの市場メカニズム導入
政策の研究体系——Quasi - Markets研究の紹介
——(駒村康平/第112号/Autumn 1995)
- イギリスのコミュニティ・ケア——オックスフォ
ードを中心にして——(真屋尚生/第113号/Winter
1995)
- イギリスにおける在宅介護者——介護技術の担い手
の把握のために——(三富道子/第115号/Summer
1996)
- 英国の精神保健の動向——コミュニティ・ケア政策
の問題点——(尾島万里/第115号/Summer 1996)
- 英国パースナル・ソーシャルサービス研究所
(PSSRU)(田端光美/第117号/Winter 1996)
- イギリスにおける貧困問題の動向——「貧困概念の
拡大」と貧困の「基準」をめぐって——(柴田謙
治/第118号/Spring 1997)
- イギリス年金制度の歴史的展開と近年の改革の流れ
(齊藤美彦/第119号/Summer 1997)
- イギリスにおけるNHS改革の意識と成果(一圓光彌
/第120号/Autumn 1997)

- イギリスにおけるコミュニティケアに関する研究の
動向（平岡公一/第121号/Winter 1997）
- 英国労働党政権と高齢者福祉政策（北村彰/第122号
/Spring 1998）
- 最近のイギリス年金基金の動向（代田純/第124号
/Autumn 1998）
- イギリスにおける就労促進政策と社会保障（樫原朗
/第125号/Winter 1998）
- The Reform of Pensions in the UK（A. Walker/第126号
/Spring 1999）
- 英国労働党政権の福祉政策について（北村彰/第126
号/Spring 1999）
- The Welfare State in the UK: Evolution, Funding and
Reform（John Hills/第128号/Autumn 1999）
- イギリスにおける医療情報とサービスの質——患
者憲章の実行——（西田和弘/第129号/Winter
1999）
- イギリス社会保障の公民パートナーシップ（中井英
雄/第130号/Spring 2000）
- Primary Health Care in the UK: Policy, Practice and
Performance（Ray Robinson/第131号/Summer 2000）
- 社会保障（特に医療）にかかわる個人情報保護・
開示・活用——英国1998年データ保護法を参考に
——（西田和弘/第133号/Winter 2000）
- イギリスの医療制度から学ぶ保険者機能（府川哲
夫、泉田信行/第136号/Autumn 2001）
- イギリスにおける障害者に対する所得保障体系とそ
の特徴（一圓光彌/第140号/Autumn 2002）
- イギリス「社会的排除」対策と社会政策（市民主義
化）の現地点（小笠原浩一/第141号/Winter 2002）
- 英国社会政策と「社会的排除」——近年のホームレ
ス政策の混乱をめぐって——（岩田正美/第141号
/Winter 2002）
- 貧困から社会的排除へ：指標の開発と現状（阿部彩
/第141号/Winter 2002）
- イギリスの職域年金制度（小野正昭/第151号
/Summer 2005）
- W. H. ベヴァリッジ『失業論』の思想的背景と失
業調査（永島信二郎/第151号/Summer 2005）
- イギリス住宅政策の変容と社会的排除（小玉徹/第
152号/Autumn 2005）
- イギリスの介護施策と障害者施策（植村英晴、柳田
正明/第154号/Spring 2006）
- イギリスの若者の教育と職業への非参加に対する貧
困の効果——貧困政策と実証分析の課題——（卯
月由佳/第154号/Spring 2006）
- イギリスにおける医療と介護の機能分担と連携（郡
司篤晃/第156号/Autumn 2006）
- イギリスにおける市民年金構想（藤森克彦/第157号
/Winter 2006）
- ブレア政権の子育て支援策の展開と到達点（所道彦
/第160号/Autumn 2007）
- イギリスにおける地域包括ケア体制の地平（多田羅
浩三/第162号/Spring 2008）
- イギリスのコミュニティケア政策と高齢者住宅（所
道彦/第164号/Autumn 2008）
- イギリスにおける終末期ケアの歴史と現状——日本
への教訓——（加藤恒夫/第168号/Autumn 2009）
- イギリスの社会保障——ニューレイバーの10年：趣
旨（武川正吾/第169号/Winter 2009）
- ニューレイバーの社会保障の10年（所道彦/第169号
/Winter 2009）
- イギリスの公的・私的年金制度改革（丸谷浩介/第
169号/Winter 2009）
- イギリスにおける低所得者対策——所得保障と就労
支援——（菊地英明/第169号/Winter 2009）
- ブレア政権下のNHS改革——構造と規制の変化——
（松田亮三/第169号/Winter 2009）
- ブレア労働党政権以降のコミュニティケア改革——
高齢者ケアに係わる連携・協働と疑似市場におけ
る消費者選択——（長澤紀美子/第169号/Winter
2009）
- ニューレイバーの児童（・家族）施策——平等なラ
イフチャンス保障実験——（津崎哲雄/第169号
/Winter 2009）
- 障害者福祉——ダイレクト・ペイメントの行方——
（小川喜道/第169号/Winter 2009）
- イギリスにおける医師・看護師の養成と役割分担
（白瀬由美香/第174号/Spring 2011）
- イギリスにおける高齢女性の所得保障——年金にお
ける「女性の貧困リスク」への対応——（平部康
子/第175号/Summer 2011）
- 英国の若年就業政策と社会保障改革——1980-2000
年代の展開と構想——（卯月由佳/第176号
/Autumn 2011）
- イギリスにおける貧困への視座と対策——労働党政
権時代の貧困・地域再生政策の検証——（山本隆
/第177号/Winter 2011）

イギリスにおける社会保障給付と財源の統合化
(平部康子/第179号/Summer 2012)

イギリス社会福祉における国と地方の関係——
ニューレイバー政権期における諸改革と政策展開
を中心に——(平岡公一/第180号/Autumn 2012)

イギリスにおける年金支給開始年齢の引き上げと
「定年制」の廃止(丸谷浩介/第181号/Winter 2012)
イギリスの失業者支援政策(樋口英夫/第183号
/Summer 2013)

英国の認知症国家戦略(西田淳志/第190号/Spring
2015)

イギリスの高齢者介護費用負担制度の改革——責任
と公平を巡る17年間の議論——(伊藤善典/第193
号/Winter 2015)

【海外文献紹介・書評】

ノーマン・ジョンソン著『福祉国家のゆくえ』(法律
文化社、1993年)(木戸利秋/第110号/Spring 1995)

ジョーン・クラーク、デイビッド・ボスウェル編、大
山博・武川正吾・平岡公一他訳『イギリス社会政
策論の新潮流——福祉国家の危機を超えて』(法
律分化社、1995年4月)(埋橋孝文/第115号/Summer
1996)

白沢久一著『公的扶助の諸(基本)問題——英国貧
民救済の公共性から社会扶助へ——』(梓出版社、
1996年)(美馬孝/第119号/Summer 1997)

武川正吾、塩野谷祐一編『先進諸国の社会保障1 イ
ギリス』(齊藤慎/第128号/Autumn 1999)

舟場正富、齋藤香里著『介護財政の国際的展開 イ
ギリス・ドイツ・日本の現状と課題』(松田亮三/
第145号/Winter 2003)

Izuhara, Misa (ed.) ,Comparing Social Policies:
Exploring New Perspectives in Britain and Japan (阿
部彩/第146号/Spring 2004)

平岡公一著『イギリスの社会福祉と政策研究——イ
ギリスモデルの持続と変化』(木下康仁/第147号
/Summer 2004)

所道彦著『福祉国家と家族政策：イギリスの子育て
支援策の展開』(法律文化社、2012年)(伊藤善典
/第185号/Winter 2013)

井上恒男著『英国所得保障政策の潮流——就労を軸
とした改革の動向——』(ミネルヴァ書房、2014
年)(丸谷浩介/第192号/Autumn 2015)

イタリア

【論文・海外の動き・解説等】

イタリアの年金と高齢者の生活(小島晴洋/第106号
/Spring 1994)

イタリアの医療保障制度——1992年からの医療改革
を中心に——(小島晴洋/第109号/Winter 1994)

イタリアの高齢者福祉(小島晴洋/第114号/Spring
1996)

イタリアの新たな年金改革(小島晴洋/第117号
/Winter 1996)

イタリアの高齢者介護の動向——介護手当の現状と
問題点(宮崎理枝/第140号/Autumn 2002)

イタリアの『福祉白書2003年』(宮崎理枝/第146号
/Spring 2004)

イタリアにおける貧困への視座と対策——地域間格
差の再生産の背景にあるもの——(田中夏子/第
177号/Winter 2011)

精神障害者地域生活支援の国際比較——イタリア
——(坂本沙織/第182号/Spring 2013)

イタリアにおける大規模災害と公共政策——2009年
アブルッツォ州震災の事例を中心に——(小谷眞
男/第187号/Summer 2014)

【海外文献紹介・書評】

小島晴洋、小谷眞男、鈴木桂樹、田中夏子、中益陽
子、宮崎理枝著『現代イタリアの社会保障——ユ
ニバーサリズムを越えて』(工藤裕子/第171号
/Summer 2010)

オーストラリア

【論文・海外の動き・解説等】

社会政策研究センター The Social Policy Research
Center (SPRC)(勝又幸子/第112号/Autumn 1995)

オーストラリアの年金改革(下野恵子/第126号
/Spring 1999)

繁栄の時代におけるオーストラリア平等主義の変容
(ピーター・サンダース/第159号/Summer 2007)

高齢ケア評価チームを中心としたオーストラリアの
高齢者ケアの概観と医療との連携の現状(瀬間あ
ずさ/第162号/Spring 2008)

オーストラリアの高齢者緩和ケアの現状と課題(福

田裕子/第168号/Autumn 2009)
 オーストラリア・ビクトリア州における生殖補助医療の法制度化による子の出自を知る権利の保障 (南貴子/第179号/Summer 2012)
 オーストラリアの年金改革と支給開始年齢の引上げ (西村淳/第181号/Winter 2012)
 オーストラリアのケアラー (介護者) 支援 (木下康仁/第184号/Autumn 2013)
 オーストラリアの認知症対策 (中西三春、中島民恵子/第190号/Spring 2015)

【海外文献紹介・書評】

フランシス・G・キャッスルズ著、埋橋孝文他訳『オーストラリア・ニュージーランド福祉国家論』(啓文社、1991年)(藤井浩司/第103号/Summer 1993)
 小松隆二、塩野谷祐一編『先進諸国の社会保障2 ニュージーランド・オーストラリア』(藤井浩司/第129号/Winter 1999)
 高木邦明著『オーストラリアの障害者福祉』(相川書房、2005年)(本田達郎/第154号/Spring 2006)

オランダ

【論文・海外の動き・解説等】

「移民」の定住化と社会保障政策——オランダにおける最近の動向——(廣瀬真理子/第106号/Spring 1994)
 オランダの社会保障制度と制度改革の考え方 (大森正博/第117号/Winter 1996)
 オランダの高齢者福祉サービスにおける「民間」の役割 (廣瀬真理子/第122号/Spring 1998)
 オランダの医療・介護制度改革 (大森正博/第124号/Autumn 1998)
 オランダにおけるパートタイム労働の動向と家庭生活の変化 (前田信彦/第124号/Autumn 1998)
 オランダにおける就労インセンティブ政策と社会保障 (小越洋之助/第125号/Winter 1998)
 オランダの長期医療・介護保障制度 (廣瀬真理子/第131号/Summer 2000)
 Dilemmas in Health Care An Overview of the Health Care System in the Netherlands (Hettie A. Pott-Buter/第131号/Summer 2000)
 オランダの医療制度改革と「保険者機能」(大森正博

/第136号/Autumn 2001)
 オランダにおけるワークフェア改革——「給付所得より就労を」——(水島治郎/第144号/Autumn 2003)
 オランダの医療・介護保険制度改革 (大森正博/第145号/Winter 2003)
 オランダにおける高齢者および障害者に対するケアに関する施策について (井原辰雄/第154号/Spring 2006)
 オランダにおける医療と介護の機能分担と連携 (大森正博/第156号/Autumn 2006)
 オランダにおける最近の地域福祉改革の動向と課題 (廣瀬真理子/第162号/Spring 2008)
 オランダにおける終末期ケアの現状と課題 (廣瀬真理子/第168号/Autumn 2009)
 オランダにおける若年就業と労働市場政策 (久保隆光/第176号/Autumn 2011)

【海外文献紹介・書評】

水島治郎著『反転する福祉国家——オランダモデルの光と影』(大森正博/第183号/Summer 2013)

カナダ

【論文・海外の動き・解説等】

ケベック州の住民主体のホームケアサービス (高橋流里子/第113号/Winter 1995)
 カナダのロングタームケア政策 (高橋淑郎/第120号/Autumn 1997)
 カナダにおける公的年金制度改革の動向 (丸山桂/第120号/Autumn 1997)
 カナダにおける医療サービスの質の確保をめぐる諸問題——改善ネットワークを中心として——(高橋淑郎、ロス・ベーカー/第129号/Winter 1999)
 日本とカナダの社会保障——加日社会保障政策研究円卓会議の成果：特集の趣旨 (バーナデット・サンジャン、高橋和久、金子能宏/第139号/Summer 2002)
 カナダと日本の社会・政治構造と社会保障制度の特徴 (イト・ペング、バーナデット・サンジャン/第139号/Summer 2002)
 日本とカナダの医療保険制度改革：共通の課題と多様性 (尾形裕也/第139号/Summer 2002)
 カナダの保健医療：組織・財源・アクセス (ロバー

ト・エバンス、モーリス・バーラー、谷合由理子・泉田信行訳/第139号/Summer 2002)

カナダの年金制度(高山憲之/第139号/Summer 2002)
子育て支援策の日加比較(永瀬伸子/第139号/Summer 2002)

カナダにおける仕事と生活の両立支援:変化に対応した取組み(リンダ・デュックスベリー、クリス・ビキンス、小林信彦・金子能宏訳/第139号/Summer 2002)

地域格差と所得格差を考慮した社会保障研究の展開——日本とカナダの比較——(金子能宏、小島克久/第139号/Summer 2002)

カナダの社会政策と高齢化(ニーナ・チャペル、山田聖子訳/第139号/Summer 2002)

カナダの国民医療制度の改革——連邦財政主義のもとでの皆保険の課題と展望——(金子能宏/第145号/Winter 2003)

カナダにおける医療と介護の機能分担と連携(新川敏光/第156号/Autumn 2006)

カナダ東部の地域包括ケアシステムの現状と課題(和田耕治、鹿熊律子、川越雅弘/第162号/Spring 2008)

相反する立場としてのカナダ:多文化主義と認識と再分配(キース・G・バンティング/第163号/Summer 2008)

カナダにおける保健医療の財政基盤:その歴史と課題(ジェームス・H・ティエッセン/第163号/Summer 2008)

カナダ・日本・韓国の高齢化等の状況と医療政策の在り方(小島克久、尾形裕也/第163号/Summer 2008)

カナダにおける人口動態・家族・労働の変化に関する行動力としての知識の形成について(スーザン・A・マックダニエル/第163号/Summer 2008)

カナダの連邦児童給付制度の展開と日本への示唆(尾澤恵/第163号/Summer 2008)

カナダの現状:看護師の教育・登録・業務範囲を中心に(泉田信行/第174号/Spring 2011)

知的障害者の自立を支えるインディヴィジュアル・ファンドの取組みについて——カナダ・マニトバ州の取組みから——(木口恵美子/第176号/Autumn 2011)

カナダの連邦制度と社会保障(池上岳彦/第180号/Autumn 2012)

【海外文献紹介・書評】

城戸喜子、塩野谷祐一編『先進諸国の社会保障3 カナダ』(村上雅子/第130号/Spring 2000)

ス イ ス

【論文・海外の動き・解説等】

スイスにおける雇用保障と就労インセンティブ(中野育男/第125号/Winter 1998)

スイスの年金制度——第10次改正を中心に——(田口晃/第126号/Spring 1999)

スウェーデン

【論文・海外の動き・解説等】

スウェーデン、保健医療・社会省の1992/93年度予算案について(小野寺百合子/第101号/Winter 1992)

岐路に立つ福祉国家スウェーデン(飯野靖四/第104号/Autumn 1993)

「スウェーデンモデルの終焉」をめぐる——労使関係の変容と福祉国家——(宮本太郎/第107号/Summer 1994)

スウェーデン社会福祉の変遷——私の経験から——(小野寺百合子/第107号/Summer 1994)

スウェーデンの福祉状況(友子 ハンソン/第107号/Summer 1994)

スウェーデンにおける高齢者ケアの現状(伊藤周平/第108号/Autumn 1994)

スウェーデンにおける過疎地域の動向(高野和良/第109号/Winter 1994)

最近のスウェーデンの医療保障とその研究(丸尾直美、益村真知子/第111号/Summer 1995)

スウェーデンの新しい年金改革案(飯野靖四/第111号/Summer 1995)

スウェーデンの社会福祉研究の今日(三上美美子/第111号/Summer 1995)

スウェーデンの老人福祉と私(小野寺百合子/第111号/Summer 1995)

スウェーデンの介護保障(古橋エツ子/第113号/Winter 1995)

スウェーデン、デンマークにおける高齢者居住環境の変遷・実態——我が国は何が欠けているか、何を学び取れるか——(林玉子/第114号/Spring

- 1996)
スウェーデンの住宅政策 (外山義/第116号/Autumn 1996)
スウェーデンの年金改革 (飯野靖四/第119号/Summer 1997)
スウェーデンの高齢者ケアに変化 (イエット・スンドストレム、大島高男 (要約)/第121号/Winter 1997)
スウェーデンにおける就労促進政策と社会保障 (伍賀一道、横山寿一/第125号/Winter 1998)
スウェーデン社会保障給付費の分析 (岡光昇/第130号/Spring 2000)
スウェーデンにおける障害年金改革 (木村陽子/第140号/Autumn 2002)
スウェーデンにおける障害者政策の動向——高齢者ケア政策との異同を中心に—— (奥村芳孝、伊澤知法/第154号/Spring 2006)
スウェーデンにおける医療と介護の機能分担と連携——エーデル改革による変遷と現在—— (伊澤知法/第156号/Autumn 2006)
修正された「ベーシック・インカム」? ——スウェーデンにおける「フリーイヤー」の試み—— (両角道代/第157号/Winter 2006)
スウェーデンの社会保障と所得再分配 (飯野靖四/第159号/Summer 2007)
スウェーデンの子育て支援——ワークライフ・バランスと子どもの権利の実現—— (高橋美恵子/第160号/Autumn 2007)
スウェーデンの高齢者住宅とケア政策 (奥村芳孝/第164号/Autumn 2008)
スウェーデンの児童ケアサービス拡充期における財源調達に関する一考察——1975年政府案の背景と思想—— (秋朝礼恵/第173号/Winter 2010)
スウェーデンの“EDUCARE”モデルの形成過程と政策視座 (訓覇法子/第173号/Winter 2010)
スウェーデンにおける女性高齢者の所得保障：年金を中心に (齊藤弥生/第175号/Summer 2011)
スウェーデンの社会保障——グローバル化経済の中での苦悩と挑戦——：趣旨 (岡澤憲美/第178号/Spring 2012)
普遍主義的医療制度における公私混合供給の展開——スウェーデンにおける患者選択制の検討—— (松田亮三/第178号/Spring 2012)
老齢年金——1998年改革の意義と課題—— (中野妙子/第178号/Spring 2012)
2000年以降のスウェーデンにおける高齢者福祉——「選択の自由」拡大とそれに伴う諸対応の展開—— (吉岡洋子/第178号/Spring 2012)
スウェーデンの社会扶助の30年 (宮寺由佳/第178号/Spring 2012)
1990年代以降の労働市場政策の変化と現在の課題 (佐藤吉宗/第178号/Spring 2012)
分権国家スウェーデンにおける社会保障の財源確保 (木下淑恵/第179号/Summer 2012)
スウェーデンの社会保障制度における国と地方の関係——介護サービスにおける「サービス選択自由化法」の影響を中心に—— (齊藤弥生/第180号/Autumn 2012)
スウェーデンにおける精神障害者支援から考える日本の精神障害者地域生活支援の在り方 (石田晋司/第182号/Spring 2013)
スウェーデンにおける失業保険の役割 (山本麻由美/第183号/Summer 2013)
スウェーデンの介護者支援 (藤岡純一/第184号/Autumn 2013)
- 【海外文献紹介・書評】**
岡澤憲美著『スウェーデンを検証する』(早稲田大学出版部、1993年)、山井和則著『スウェーデン発住んでみた高齢社会』(ミネルヴァ書房、1993年)(竹崎孜/第107号/Summer 1994)
ヴィクトール A. ペストフ著、藤田暁男・田中秀樹・的場信樹・松尾匡訳『市場と政治の間で——スウェーデン協同組合論——』(晃洋書房、1996年)(川口清史/第122号/Spring 1998)
丸尾直美、塩野谷祐一編『先進諸国の社会保障5 スウェーデン』(竹崎孜/第131号/Summer 2000)
宮本太郎著『福祉国家という戦略——スウェーデンモデルの政治経済学——』(益村真知子/第134号/Spring 2001)
丸尾直美、レグラント塚口淑子、カール・レグラント著『福祉政策と労働市場——変容する日本モデル・スウェーデンモデル』(山本克也/第171号/Summer 2010)
Richard B.Freeman, Birgitta Swedenborg, Robert H.Topel編著『Reforming the welfare state: recovery and beyond in Sweden』(酒井正/第178号/Spring 2012)

レグランド塚口淑子編著『「スウェーデン・モデル」は有効か 持続可能な社会へむけて』（ノルディック出版、海象社、2012年）（福島淑彦/第188号/Autumn 2014）

ド イ ツ

【論文・海外の動き・解説等】

ドイツにおける1992年公的年金改革の背景（下和田功/第101号/Winter 1992）

マックス・プランク国際社会保障法研究所（本沢巳代子/第101号/Winter 1992）

ドイツの長期ケアと介護保険（土田武史/第104号/Autumn 1993）

ドイツの医療保障制度改革——『構造改革』による21世紀への対応——（高智英太郎/第109号/Winter 1994）

ドイツの社会保障研究の今日——医療（保坂哲哉/第111号/Summer 1995）

ドイツの社会保障研究の今日——年金（下和田功/第111号/Summer 1995）

ドイツの社会保障研究の今日——社会福祉その他（岡田英己子/第111号/Summer 1995）

ドイツにおける男女平等政策の進展（利谷信義/第112号/Autumn 1995）

ドイツ介護保険の現状と課題（栃本一三郎/第114号/Spring 1996）

日独医療費比較（勝又幸子/第114号/Spring 1996）

ドイツにおける世話法の展開（ベルント・シュルテ、上山泰訳/第115号/Summer 1996）

ドイツの住宅政策における高齢者の位置とその生活環境（水原渉/第116号/Autumn 1996）

ドイツ公的介護保険の評価——第2段階実施後の課題——（小塚治宣/第117号/Winter 1996）

ドイツにおけるリスク構造調整の仕組みとその問題点（藪部順一/第120号/Autumn 1997）

ドイツにおける民間介護保険の役割（土田武史/第122号/Spring 1998）

ドイツの雇用促進政策と社会保障（松丸和夫/第125号/Winter 1998）

Public Pension Reforms in Germany——Major Post-War Reforms and Recent Decisions——（W. Schmahl/第126号/Spring 1999）

ドイツにおける医療・福祉労働としてのサービス給

付と質確保（上田真理/第129号/Winter 1999）

ドイツ社会保障給付の概観と構造分析（小林甲一/第130号/Spring 2000）

地方自治と介護保険——ドイツの事例を中心に（坪郷實/第131号/Summer 2000）

ドイツにおける介護保険と介護扶助（木下秀雄/第131号/Summer 2000）

介護手当（金銭給付）の意義、実施状況およびその評価（田中耕太郎/第131号/Summer 2000）

介護サービスの質の確保——ドイツ介護保険法（松本勝明/第131号/Summer 2000）

ドイツ介護保険財政の分析（藤本健太郎/第133号/Winter 2000）

ドイツ医療保険の保険者機能（船橋光俊/第136号/Autumn 2001）

ドイツにおける障害年金給付と社会保障の課題（小林甲一/第140号/Autumn 2002）

ドイツにおける社会的排除への対策（庄谷怜子、布川日佐史/第141号/Winter 2002）

家族、社会保障および社会保険——ケーススタディとしてのドイツにおける概評と現在の論議——（ヴィンフリート・シュメール/第143号/Summer 2003）

ドイツの医療保険制度改革（田中耕太郎/第145号/Winter 2003）

ドイツにおけるワークフェアの展開——稼働能力活用要件の検討を中心に——（布川日佐史/第147号/Summer 2004）

近年のドイツにおける企業年金制度の展開（ハラルト・コンラット、宮崎理枝訳/第151号/Summer 2005）

ドイツにおける社会住宅制度と家賃規制——アフオーダブル住宅の行方——（大場茂明/第152号/Autumn 2005）

ドイツにおける介護給付と社会参加給付との関係（松本勝明/第154号/Spring 2006）

ドイツ社会保障の進路——政権交代は何をもたらすか——：趣旨（松本勝明/第155号/Summer 2006）

シュレーダー政権下での医療保険改革の評価と今後の展望（松本勝明/第155号/Summer 2006）

ドイツの新連立政権の年金政策——少子高齢化をいかに乗り切るか——（藤本健太郎/第155号/Summer 2006）

介護保険の展開と新政権の課題（土田武史/第155号

- /Summer 2006)
 ドイツの家族政策の動向——第二次シュレーダー政権と大連立政権の家族政策—— (須田俊孝/第155号/Summer 2006)
 ドイツ「大連立政権」の成立と雇用政策のゆくえ (井口泰/第155号/Summer 2006)
 ドイツにおける分配問題 (丸谷冷史、永合位行/第159号/Summer 2007)
 ドイツの新しい家族政策 (魚住明代/第160号/Autumn 2007)
 ドイツにおける2007年医療制度改革——競争強化の視点から—— (松本勝明/第165号/Winter 2008)
 ドイツにおける障害者福祉の現状と課題——介護給付と社会参加給付を中心に—— (森周子/第166号/Spring 2009)
 ドイツにおける終末期ケア——ネットワークによる在宅高齢者のサポート—— (藤本健太郎/第168号/Autumn 2009)
 ドイツ連邦共和国・デンマーク王国における介護職員養成 (筒井澄栄、石川彪/第172号/Autumn 2010)
 ドイツにおける高齢女性の所得保障：年金を中心に (森周子/第175号/Summer 2011)
 ドイツにおける貧困の現状と対策の課題 (嵯峨嘉子/第177号/Winter 2011)
 ドイツにおける社会保障財源の見直し (松本勝明/第179号/Summer 2012)
 ドイツ社会保障制度における政府間関係 (武田公子/第180号/Autumn 2012)
 ドイツの年金改革の動向～支給開始年齢の引き上げ (藤本健太郎/第181号/Winter 2012)
 ドイツにおける失業者支援制度 (中内哲/第183号/Summer 2013)
 ドイツの介護者支援 (齋藤香里/第184号/Autumn 2013)
 ドイツの社会保障：メルケル政権下の社会保障：趣旨 (土田武史/第186号/Spring 2014)
 メルケル政権の福祉政治 (近藤正基/第186号/Spring 2014)
 メルケル政権下の医療制度改革——医療制度における競争—— (松本勝明/第186号/Spring 2014)
 メルケル政権下の介護保険制度改革の動向 (森周子/第186号/Spring 2014)
 メルケル政権下の子育て支援政策——パラダイム転換の定着と拡充—— (倉田賀世/第186号/Spring 2014)
- 2014)
 ドイツにおける予防接種政策 (松本勝明/第192号/Autumn 2015)
- 【海外文献紹介・書評】**
 エリーザベト・ベック＝ゲルンスハイム著、香川檀訳『出生率はなぜ下がったか ドイツの場合』(勁草書房、1992年) (大石亜希子/第102号/Spring 1993)
 ドイツ連邦労働社会省編『ドイツ社会保障総覧』(翻訳：ドイツ研究会) (ぎょうせい、1993年) (藤田伍一/第106号/Spring 1994)
 下和田功著『ドイツ年金保険論』(千倉書房、1995年3月) (大谷津晴夫/第117号/Winter 1996)
 足立正樹著『現代ドイツの社会保障』(法律文化社、1995年) (小柳治宣/第119号/Summer 1997)
 土田武史著『ドイツ医療保険制度の成立』(高智英太郎/第124号/Autumn 1998)
 松本勝明著『社会保障構造改革——ドイツにおける取組みと政策の方向——』(小柳治宣/第127号/Summer 1999)
 古瀬徹、塩野谷祐一編『先進諸国の社会保障4 ドイツ』(小柳治宣/第130号/Spring 2000)
 布川日佐史編著『雇用政策と公的扶助の交錯』日独比較：公的扶助における稼働能力の活用を中心に (田中耕太郎/第141号/Winter 2002)
 舟場正富、齋藤香里著『介護財政の国際的展開 イギリス・ドイツ・日本の現状と課題』(松田亮三/第145号/Winter 2003)
 小林甲一著『ドイツ社会政策の構造転換労働生活とその人間化をめぐる』(森周子/第172号/Autumn 2010)
 ゲルハルト・A・リッター著、竹中亭監訳『ドイツ社会保障の危機——再統一の代償——』(ミネルヴァ書房、2013年) (川越修/第186号/Spring 2014)
- ニュージーランド
- 【論文・海外の動き・解説等】**
 ニュージーランドにおける福祉国家の形成——1938年社会保障法の基本構造と意義について—— (佐々木弘/第101号/Winter 1992)
 ニュージーランド研究に導いてくれた古典——生江孝之著『新しい国 新西蘭と濠洲』—— (小松隆

二/第111号/Summer 1995)
ニュージーランドにおける保健医療改革と競争原理の導入について——市場および政府の失敗に対するQuasi-Marketsの形成——(西村万里子/第112号/Autumn 1995)
ニュージーランドにおける年金改革と国民投票——老齢年金法100周年・社会保障法60周年を迎えて——(小松隆二/第124号/Autumn 1998)
ニュージーランドの年金改革と高齢者生活(武田真理子/第126号/Spring 1999)
日本およびニュージーランドにおけるプレイセンターのソーシャルキャピタル効果に関する事例研究——参加する親たちの精神性や行動特性を手がかりにして——(佐藤純子/第173号/Winter 2010)
ニュージーランドにおける公的貧困指標の開発(阿部彩/第185号/Winter 2013)
ニュージーランド・カンタベリー地震(武田真理子/第187号/Summer 2014)

【海外文献紹介・書評】

小松隆二、塩野谷祐一編『先進諸国の社会保障2 ニュージーランド・オーストラリア』(藤井浩司/第129号/Winter 1999)

フランス

【論文・海外の動き・解説等】

フランスにおける単親家族と社会保障(神尾真知子/第104号/Autumn 1993)
フランスの高齢者介護制度と改正論議(藤森宮子/第104号/Autumn 1993)
フランシス・ネットル(Francis Netter, 1907~1986)(藤井良治/第105号/Winter 1993)
フランス社会保障制度における一般化社会拠出金の導入(加藤智章/第109号/Winter 1994)
フランスの社会保障研究の今日——医療(藤井良治/第111号/Summer 1995)
フランスにおける年金研究の今日(岡伸一/第111号/Summer 1995)
フランスの社会保障研究の今日——社会福祉その他(岩村正彦/第111号/Summer 1995)
ピエール・ラロック——その文献「フランスの社会保障計画」をめぐって——(上村政彦/第111号/Summer 1995)

私のフランス社会保障研究——この一冊(久塚純一/第111号/Summer 1995)
社会保障研究の広い視野——Sullerot氏との出会いの中で得たこと——(松村祥子/第111号/Summer 1995)
フランスにおける高齢者介護の取り組み——1960年代から今日までの歩み——(原田康美/第113号/Winter 1995)
フランスにおける参入最低所得(revenu minimum d'insertion)制度(川口美貴/第119号/Summer 1997)
フランスにおける医療費適正化政策(藤井良治/第120号/Autumn 1997)
フランスの福祉サービスの現状と課題(松村祥子/第122号/Spring 1998)
フランスにおける就労インセンティブと社会保障——早期引退制度をめぐって——(三谷直紀/第125号/Winter 1998)
フランスにおける医療情報共有化の動向(加藤智章/第129号/Winter 1999)
フランス社会保障制度における財源と給付の構造(加藤智章/第130号/Spring 2000)
1945年以降のフランス社会保障改革(ブリュノ・パリエ、伊奈川秀和訳/第134号/Spring 2001)
フランスの高齢者介護給付制度——PSDの実施と改革の動き——(原田康美/第135号/Summer 2001)
フランスにおける保険者機能の動向—薬剤費抑制策を中心に—(奥田七峰子、池田俊也/第136号/Autumn 2001)
フランスの「排除Exclusion」概念——わが国の社会問題に使用することは可能か——(都留民子/第141号/Winter 2002)
フランスの医療保険制度改革(稲森公嘉/第145号/Winter 2003)
フランスにおける住宅政策と社会保障(都留民子/第152号/Autumn 2005)
フランスにおける医療と介護の機能分担と連携(松田晋哉/第156号/Autumn 2006)
フランスにおける医療保険制度の動向——近年の改革による一般化の実現——(柴田洋二郎/第157号/Winter 2006)
フランスの所得格差とRMI(出雲祐二/第159号/Summer 2007)
フランスの子育て支援——家族政策と選択の自由——(神尾真知子/第160号/Autumn 2007)

- フランス社会保障制度の現状と課題：趣旨（江口隆裕/第161号/Winter 2007）
- フランス社会保障制度を考える視点（加藤智章/第161号/Winter 2007）
- 医療制度——近年の動向・現状・課題——（笠木映里/第161号/Winter 2007）
- フランスの高齢者介護制度の展開と課題（原田啓一郎/第161号/Winter 2007）
- フランス年金制度の現状と展望（嵩さやか/第161号/Winter 2007）
- フランスにおける家族政策（清水泰幸/第161号/Winter 2007）
- フランスの失業保険と雇用政策（松村文人/第161号/Winter 2007）
- フランスにおける医療・介護ケアシステムの動向——在宅入院制度による集中的ケアマネジメントを中心に——（篠田道子/第162号/Spring 2008）
- フランスの高齢者をめぐる住宅環境とケア政策（奥田七峰子/第164号/Autumn 2008）
- フランスにおける終末期ケアの現状と課題（松田晋哉/第168号/Autumn 2009）
- フランスにおける医師と看護師の役割分担——看護師の「固有の役割」を中心に——（篠田道子/第174号/Spring 2011）
- フランスの高齢女性と年金——なぜフランスの高齢女性は貧困なのか——（神尾真知子/第175号/Summer 2011）
- 日本とフランスにおける若年就業問題（酒井正/第175号/Summer 2011）
- フランスにおける若年就業と労働市場政策（藤本玲/第176号/Autumn 2011）
- フランスにおける保健医療計画の導入と展開——医療への平等なアクセスの実現を目指して——（松本由美/第178号/Spring 2012）
- フランス社会保障財源の「租税化」（fiscalisation）——議論・帰結・展開——（柴田洋二郎/第179号/Summer 2012）
- フランスの社会保障制度における国と地方の関係（伊奈川秀和/第180号/Autumn 2012）
- フランスにおける年金改革と高齢者所得保障——年金支給年齢の引上げを中心に——（岡伸一/第181号/Winter 2012）
- フランスにおける貧困・社会的排除指標作成と政策形成（西村周三/第185号/Winter 2013）
- フランスの認知症国家計画（近藤伸介/第190号/Spring 2015）
- 【海外文献紹介・書評】**
- 久塚純一著『フランス社会保障医療形成史』（九州大学出版社、1991年）（平川亮一/第101号/Winter 1992）
- Conseil Economique et Social, “La politique familiale française (Seances de 24 et 25 septembre 1991)” (Paris, Direction des Journaux officiels, 1992)、Michel Messu, “Les politiques familiales: du natalisme à la solidarité” (Paris, Ouvrieres, 1992)、Jacqies Bichot, “La politique familiale: jeunesse, investissement et avenir”, (Paris, Cujas, 1992)（小島宏/第106号/Spring 1994）
- 加藤智章著『医療保険と年金保険——フランス社会保障制度における自律と平等』（北海道大学図書刊行会、1995年）（大曾根寛/第117号/Winter 1996）
- 藤井良治著『現代フランスの社会保障』（白波瀬佐和子/第124号/Autumn 1998）
- 藤井良治、塩野谷祐一編『先進諸国の社会保障6 フランス』（小川有美/第131号/Summer 2000）
- Jeanne Fagnani, Un travail et des enfants. Petits arbitrages et grands dilemmes（小島宏/第135号/Summer 2001）
- 伊奈川秀和著『フランスに学ぶ社会保障改革』（久塚純一/第135号/Summer 2001）
- 都留民子著『フランスの貧困と社会保護』（岡伸一/第136号/Autumn 2001）
- ジャン=クロード・バルピエ、ブルーノ・テレ著、中原隆幸・宇仁宏幸・神田修悦・須田文明訳『フランスの社会保障システム』（米山正敏/第161号/Winter 2007）
- 伊奈川秀和著『フランス社会保障法の権利構造』（京極高宣/第181号/Winter 2012）
- 笠木映里著『社会保障と私保険 フランスの補足的医療保険』（有斐閣、2012年）（松本由美/第187号/Summer 2014）

北 欧（スウェーデンを除く）

【論文・海外の動き・解説等】

- N. E. バンク - ミッケルセン (N. E. Bank-Mikkelsen, 1919~1991, デンマーク) —— その思想 ——（中園康夫/第105号/Winter 1993）

フィンランドの高齢者福祉(山田真知子・アルホ/第106号/Spring 1994)

デンマークの高齢者保健福祉政策に学ぶもの(関龍太郎/第108号/Autumn 1994)

北欧の赤いバラ:福祉国家建設と社民党リーダーたち(岡沢憲美/第111号/Summer 1995)

スウェーデン、デンマークにおける高齢者居住環境の変遷・実態——我が国は何が欠けているか、何を学び取れるか——(林玉子/第114号/Spring 1996)

デンマークのコ・ハウジングの評価(上野勝代/第116号/Autumn 1996)

フィンランド民間非営利部門の高齢者福祉分野における活動と制度(新名正弥/第125号/Winter 1998)

高福祉の国のジレンマ——フィンランドの社会保障の現状と課題——(牧田満知子/第126号/Spring 1999)

フィンランドにおける公的扶助——生計援助の原理と制度——(遠藤美奈/第137号/Winter 2001)

デンマークにおける障害者・高齢者福祉と地方自治体の行政改革(下垣光/第154号/Spring 2006)

デンマークの高齢者福祉政策をささえるもの(関龍太郎/第162号/Spring 2008)

フィンランドにおける高齢者ケア政策と高齢者住宅(石井敏/第164号/Autumn 2008)

デンマークの高齢者住宅とケア政策(松岡洋子/第164号/Autumn 2008)

デンマークにおける障害者の「自立」の考え方——政治と倫理(片岡豊/第166号/Spring 2009)

デンマーク電子政府の試み——社会保障制度における財源徴収と情報管理——(安岡美佳、鈴木優美/第172号/Autumn 2010)

ドイツ連邦共和国・デンマーク王国における介護職員養成(筒井澄栄、石川彪/第172号/Autumn 2010)

デンマークにおける医師と看護師の役割分担(山田ゆかり/第174号/Spring 2011)

デンマークにおける犯罪者の社会復帰の取り組みの動向——我が国への示唆として——(岡部真貴子/第183号/Summer 2013)

デンマークの認知症ケア国家戦略と福祉・介護人材(汲田千賀子/第190号/Spring 2015)

【海外文献紹介・書評】

笹谷春美著『フィンランドの高齢者ケア——介護者

支援・人材養成の理念とスキル』(明石書店、2013年)(高橋絵里香/第187号/Summer 2014)

その他の国々

【論文・海外の動き・解説等】

タンザニアの社会保障制度——国際交流研究会より——(F. S. ツンガラザ、勝又幸子訳/第101号/Winter 1992)

ペーター・フローラ(Peter Flora, 1944～、オーストリア)——その福祉国家論——(毛利健三/第105号/Winter 1993)

ハンガリーの社会福祉制度(深谷ベルタ/第112号/Autumn 1995)

チリの年金改革と移行財源問題(北野浩一/第126号/Spring 1999)

西欧諸国における家族政策と低出生率(ゲルダ・ネイヤー/第143号/Summer 2003)

ハンガリーの社会動向と福祉レジーム(堀林巧/第144号/Autumn 2003)

ポーランドの社会保障——大量失業時代における社会保障システムの再構築——(小森田秋夫/第144号/Autumn 2003)

チェコの老齢年金制度(池本修一/第144号/Autumn 2003)

ロシアにおける社会保障(篠田優/第144号/Autumn 2003)

メキシコにおける分断された保健医療システム(山口英彦、松岡広子/第148号/Autumn 2004)

転換期にあるアルゼンチンの社会保障制度(宇佐見耕一/第153号/Winter 2005)

ブラジル連邦共和国憲法および普通立法における社会保障制度の変遷(二宮正人/第153号/Winter 2005)

コスタリカの社会保障改革——医療と年金の課題、市場主義、労働運動——(丸岡泰/第153号/Winter 2005)

メキシコの社会保障制度——その特徴と90年代の改革——(畑恵子/第153号/Winter 2005)

ニカラグアの社会保障——最貧困国のゆらぐ政治と社会保障改革——(高木史江、小松隆一/第153号/Winter 2005)

転機むかえるペルーの社会保障制度——多層・分断型からユニバーサル化への要請——(遅野井茂雄

/第153号/Winter 2005)
 メキシコにおける高齢者政策の限界と可能性 (山口英彦、松岡広子/第155号/Summer 2006)
 南アフリカにおけるベーシック・インカム論 (牧野久美子/第157号/Winter 2006)
 メキシコにおける高齢者金銭給付プログラムの展開 (山口英彦、松岡広子/第163号/Summer 2008)
 ハンガリーのEU加盟と年金制度改革 (R. I. ガール、佐藤嘉寿子/第165号/Winter 2008)
 チェコの老齢年金制度の予備的考察 (池本修一/第165号/Winter 2008)
 メキシコにおける認知症高齢者とその介護者に対する社会的支援～家族介護者に対する姿勢のわが国との比較を中心に～ (松岡広子、山口英彦/第183号/Summer 2013)
 チェルノブイリ原子力発電所の事故後の、被災者の生活・就労、健康被害に対する支援策 (サンドロヴィッチ・ティムール/第188号/Autumn 2014)
 ロシアの社会保障：特集の趣旨 (雲和広/第191号/Summer 2015)
 ロシアの社会保障をめぐる社会経済環境の変化 (雲和広/第191号/Summer 2015)
 ロシアの保健医療事情と政策・制度の動向 (衣川靖子/第191号/Summer 2015)
 ロシアの生活保護政策：貧困の現状と対策 (武田友加/第191号/Summer 2015)
 ロシアにおける子育て支援政策の現状と課題 (村知稔三/第191号/Summer 2015)
 比較福祉レジーム論からみた東欧：ハンガリー (柳原剛司/第193号/Winter 2015)
 比較福祉レジーム論からみた中南米：メキシコ (畑恵子/第193号/Winter 2015)

【海外文献紹介・書評】

武田友加著『現代ロシアの貧困研究』(駿河輝和/第177号/Winter 2011)
 ベラルーシ共和国非常事態省チェルノブイリ原発事故被害対策局編、日本ベラルーシ友好協会監訳『チェルノブイリ原発事故 ベラルーシ政府報告書〔最新版〕』(産学社、2013年)(西森和寛/第188号/Autumn 2014)
 アレクセイ・V・ヤブロコフ、ヴァシリー・B・ネステレンコ、アレクセイ・V・ネステレンコ、ナタリヤ・E・プレオブラジェンスカヤ著、星川淳監訳

『調査報告 チェルノブイリ被害の全貌』(岩波書店、2013年)(西森和寛/第188号/Autumn 2014)

ECおよび欧州全般

【論文・海外の動き・解説等】

欧州社会保障研究所 (岡伸一/第102号/Spring 1993)
 EC社会保障収斂化説——欧州最低所得保障制度の提案—— (H・デレーク、岡伸一訳/第103号/Summer 1993)
 ECにおける社会保障制度間調整 (岩淵豊/第106号/Spring 1994)
 EC社会保障法における年金 (山田晋/第109号/Winter 1994)
 社会保障の発展における国際機関の役割——新時代の社会保障を目指して—— (J・V・ランゲンドク、岡伸一訳/第112号/Autumn 1995)
 欧州連合の社会保障政策——ドロール体制下での取り組み—— (岩淵豊/第112号/Autumn 1995)
 アイルランドにおける女性労働と家族の在り方をめぐる法政策の展開 (増田幸弘/第117号/Winter 1996)
 EU諸国の社会保障改革の動向——老齢年金 (山田晋/第121号/Winter 1997)
 ルクセンブルグ所得研究 (LIS) 夏季ワークショップ参加報告 (山田篤裕/第125号/Winter 1998)
 欧州社会保障修士コースの設立 (岡伸一/第126号/Spring 1999)
 EUの社会保障政策の展開：特集の趣旨 (岡伸一/第128号/Autumn 1999)
 社会保障と欧州統合 (ジェフ・ヴァンランゲンドク、岡伸一訳/第128号/Autumn 1999)
 EU社会保障法における男女平等判例の展開——79/7理事会指令の実効性とその構造的限界性—— (竹中康之/第128号/Autumn 1999)
 ヨーロッパ連合における母性保護と保育政策 (山田晋/第128号/Autumn 1999)
 EUにおけるパブリック・ヘルス政策の展開 (川又竹男/第128号/Autumn 1999)
 EUの医療保障政策 (岡伸一/第128号/Autumn 1999)
 EUにおける雇用政策と社会保障 (濱口桂一郎/第128号/Autumn 1999)
 『海外社会保障情報』および『海外社会保障研究』に掲載されたEU (EC) の社会保障についての論文

一覧 (第128号/Autumn 1999)

ヨーロッパにおける強制企業年金の動き (マーティン・ライン、ジョン・ターナー、上枝朱美・阿部彩訳/第135号/Summer 2001)

EUにおける「社会的排除」への取り組み (中村健吾/第141号/Winter 2002)

欧州の一部の先進国における少子化とその対策 (アントニオ・ゴリーニ/第143号/Summer 2003)

EUにおける企業年金の新たな展開——2003年企業年金「指令」を中心に—— (岡伸一/第151号/Summer 2005)

ヨーロッパにおけるベーシック・インカム構想の展開 (菊地英明/第157号/Winter 2006)

拡大EUの社会保障政策と各国への影響:趣旨 (岡伸一/第165号/Winter 2008)

EU拡大下のEU社会政策の意義と課題 (佐藤進/第165号/Winter 2008)

EU雇用戦略と社会保障—公開調整手法による政策協調 (濱口桂一郎/第165号/Winter 2008)

拡大EUの社会保障支出の将来推計——EUにおける高齢化の社会保障支出に及ぼす影響に関する研究の展開—— (金子能宏/第165号/Winter 2008)

経済不況下における欧州諸国のフレキシキュリティ政策の現状 (岩田克彦/第179号/Summer 2012)

欧州連合における貧困・社会的排除指標の数値目標化とモニタリング (高橋義明/第185号/Winter 2013)

【海外文献紹介・書評】

社会保険福祉協会編『ヨーロッパの高齢者住宅——イギリス・ドイツ・スウェーデン・ベルギー』(財団法人社会保険福祉協会、1995年)(園田真理子/第116号/Autumn 1996)

アラン・ウォーカー著、渡辺雅男・渡辺景子訳『ヨーロッパの高齢化と福祉改革』(河野真/第126号/Spring 1999)

濱口桂一郎著『EU労働法の形成——欧州社会モデルに未来はあるか?——』(小宮文人/第128号/Autumn 1999)

岡伸一著『欧州統合と社会保障——労働者の国際移動と社会保障の調整——』(白波瀬佐和子/第129号/Winter 1999)

高田実、中野智世編著『近代ヨーロッパの探求15福祉』(近藤正基/第184号/Autumn 2013)

Joan Costa-Font編Reforming Long-term Care in Europe (河野真/第184号/Autumn 2013)

アジア諸国

【論文・海外の動き・解説等】

アジア途上国の児童福祉——フィリピンの児童福祉を例として—— (田上喜美/第102号/Spring 1993)

インドネシアの地域福祉活動——ソーシャル・ワーカーの制度と活動を中心に—— (川元岩夫/第102号/Spring 1993)

アマルティアセン (Amartya Kumar Sen, 1933~) (鈴木興太郎/第105号/Winter 1993)

アジア諸国の社会保障制度 (平石長久/第110号/Spring 1995)

タイの所得保障・医療保障 (久保清/第110号/Spring 1995)

フィリピンの社会保障制度 (福島康志/第110号/Spring 1995)

シンガポールの社会保障制度 (海外社会保障情報編集幹事/第110号/Spring 1995)

国際社会保障協会 (ISSA) 第10回アジア環太平洋地域会議に参加して (勝又幸子/第110号/Spring 1995)

台湾の高齢化とコミュニティ・ケア (金子勇/第114号/Spring 1996)

台湾における高齢者福祉政策の発展と課題 (荘秀美/第115号/Summer 1996)

シンガポールの高齢化と住宅政策 (桂良太郎/第116号/Autumn 1996)

アジア社会福祉学会の発足について (萩原康生/第119号/Summer 1997)

タイにおける障害者保健福祉システム及び今後の課題 (安梅勅江/第121号/Winter 1997)

アジアの社会保障・社会福祉は充実したのか?——アジア社会保障・社会福祉比較研究小論 (萩原康生/第123号/Summer 1998)

シンガポールにおける社会保障の現状と課題 (赤塚俊治/第123号/Summer 1998)

フィリピンの社会保障制度の現状と課題 (原島博/第123号/Summer 1998)

台湾「全民健康保険」の制度紹介 (高橋隆/第125号/Winter 1998)

シンガポールの年金改革の動向——少子・高齢化の

- 進展におけるCPF政策——(阿部裕二/第126号/Spring 1999)
- Review of the Laws and Regulations regarding the Employees' Social Security in Indonesia (Hironobu Sugaya/第130号/Spring 2000)
- アジア諸国における年金制度改革の動向(高山憲之/第135号/Summer 2001)
- 台湾の社会保障制度——民主化と福祉の発展を巡る政治力学——(イト・ペング/第135号/Summer 2001)
- タイの社会保障(ウティサン・タンチャイ/第135号/Summer 2001)
- 「アジアと社会保障」ディスカッション(編集:金子能宏/第135号/Summer 2001)
- アジアの社会保障研究(沙銀華/第148号/Autumn 2004)
- シンガポールの少子高齢化対策とCPF改革(駒村康平/第150号/Spring 2005)
- マレーシアの所得保障と医療保障(菅谷広宣/第150号/Spring 2005)
- 発展途上国における国民会医療保障制度の構築——タイ国のケース——(川口典男/第150号/Spring 2005)
- モンゴルの市場経済への移行と社会保障(駿河輝和/第150号/Spring 2005)
- ベトナムの社会保障(和泉徹彦/第150号/Spring 2005)
- ラオス、カンボジアの社会保障制度(漆原克文/第150号/Spring 2005)
- アジアから見た日本の社会保障制度——アジア諸国社会保険行政官研修アンケート——(漆原克文、山本克也/第150号/Spring 2005)
- 人口と家族変容から見えてくる台湾の高齢者問題(金戸幸子/第157号/Winter 2006)
- 台湾における高齢者福祉の民営化の実態と課題——企業の参入をめぐる——(莊秀美/第157号/Winter 2006)
- カンボジアにおける障害者福祉の新たな展開について(漆原克文/第166号/Spring 2009)
- インドネシアにおける医療保障制度とその課題(福岡藤乃/第170号/Spring 2010)
- 台湾の大規模災害——近年の二つの災害とその復興をめぐる——(垂水英司/第187号/Summer 2014)
- タイ大洪水と社会保障(河森正人/第188号/Autumn 2014)
- 比較福祉レジーム論からみた東南アジア:タイ(河森正人/第193号/Winter 2015)
- 【海外文献紹介・書評】**
- 萩原康生編『アジアの社会福祉』(中央法規出版、1995年3月)(谷勝英/第118号/Spring 1997)
- 大沢真理編著『アジア諸国の福祉戦略』(講座・福祉国家のゆくえ 4)(ミネルヴァ書房、2004年)(河野真/第151号/Summer 2005)
- イアン・ホリディ、ポール・ワイルディング編、埋橋孝文・小田川華子・木村清美・三宅洋一・矢野裕俊・鷺巣典代訳『東アジアの福祉資本主義——教育、保健医療、住宅、社会保障の動き——』(竹沢純子/第164号/Autumn 2008)
- 篠塚英子、永瀬伸子編著『少子化とエコノミー——パネル調査で描く東アジア』(太田清/第167号/Summer 2009)
- 井伊雅子編『アジアの医療保障制度』(米山正敏/第172号/Autumn 2010)
- 金成垣編著『現代の比較福祉国家論——東アジア発の新しい理論構築に向けて』(田中拓道/第175号/Summer 2011)
- 小林昌之編『アジア諸国の障害者法——法的権利の確立と課題——』(漆原克文/第175号/Summer 2011)
- 李蓮花著『東アジアにおける後発近代化と社会政策——韓国と台湾の医療保険政策——』(岩淵豊/第180号/Autumn 2012)
- 韓 国**
- 【論文・海外の動き・解説等】**
- 韓国の社会保障(金早雪/第110号/Spring 1995)
- 韓国の医療保険における財政調整の分析と評価(趙源卓/第115号/Summer 1996)
- 韓国における生産的福祉と積極的福祉(下在寛/第135号/Summer 2001)
- 社会保障・社会福祉における日韓比較——高齢化社会初期段階の諸状況と政策動向を中心に——(張炳元/第135号/Summer 2001)
- 韓国における公的年金制度の動向(金領佑/第137号/Winter 2001)
- IMF体制後の韓国社会政策:特集の趣旨(金早雪/第

146号/Spring 2004)
 IMF体制以降の韓国の社会経済の変化と公的・私的
 社会支出の動向 (金明中/第146号/Spring 2004)
 IMF経済危機と韓国の女性労働 (明泰淑/第146号
 /Spring 2004)
 IMF体制と韓国の社会政策 (郭洋春/第146号/Spring
 2004)
 IMF体制と「韓国型福祉国家」(金早雪/第146号
 /Spring 2004)
 韓国のSocial Enterprise——ワークフェアの観点から
 —— (尹文九/第147号/Summer 2004)
 介護保険制度としての韓国の老人スバル保険制度の
 内容と構造に関する一考察 (鄭戴旭、白澤政和/第
 158号/Spring 2007)
 韓国における高齢者向け地域福祉施策——「敬老
 堂」からの示唆—— (斎藤嘉孝、近藤克則、平井
 寛、市田行信/第159号/Summer 2007)
 韓国における少子化の現状とその対策 (金明中、張
 芝延/第160号/Autumn 2007)
 韓国における高齢者の保健医療と所得に関する諸問
 題 (スンマン・クォン/第163号/Summer 2008)
 韓国の新たな社会的リスク：仕事と家庭の両立、所
 得格差 (ウンヨン・チョイ/第163号/Summer 2008)
 韓国における女性の所得保障をめぐる研究動向と今
 後の課題—— 学術論文誌と政府シンクタンク報
 告書を中心に —— (金鎮/第165号/Winter 2008)
 韓国の社会保障——日韓比較の視点から——：趣旨
 (李惠晃/第167号/Summer 2009)
 韓国の社会と社会保障制度 (金成垣、山本克也/第
 167号/Summer 2009)
 金大中・盧武鉉政権の社会保障政策 (株本千鶴/第
 167号/Summer 2009)
 変容する韓国のワークフェア政策 (鄭在哲/第167号
 /Summer 2009)
 韓国年金制度の動向——2007年改革の政治過程とそ
 の意味—— (朴正培/第167号/Summer 2009)
 保健医療政策——過去は乗り越えられたのか? ——
 (李蓮花/第167号/Summer 2009)
 韓国の介護保険制度 (金貞任/第167号/Summer 2009)
 韓国における少子化対策 (松江暁子/第167号
 /Summer 2009)
 資料 本特集の補足と若干のデータ (金成垣、山本克
 也/第167号/Summer 2009)
 韓国における保育費用と母親の就業 (曹成虎/第173

号/Winter 2010)
 韓国における年金制度と女性——後発国の文脈から
 —— (金成垣/第175号/Summer 2011)
 韓国の青年雇用ミスマッチへの2つの対応戦略——
 技術教育改革と社会貢献・起業支援—— (金早雪
 /第176号/Autumn 2011)
 韓国における雇用保険制度と失業者支援政策の現状
 (金明中/第183号/Summer 2013)
 韓国の高齢者の介護の社会化と家族介護支援の現状
 (金貞任/第184号/Autumn 2013)
 韓国における認知症対策および家族介護者支援の取
 り組みの現状と課題 (鄭丞媛、井上祐介、趙恩喙、
 斎藤民/第192号/Autumn 2015)
 比較福祉レジーム論からみた東アジア：韓国 (金成
 垣/第193号/Winter 2015)

【海外文献紹介・書評】

韓国社会科学研究所社会福祉研究室著『韓国の社会
 福祉』(上村泰裕/第141号/Winter 2002)
 金淵明編、韓国社会保障研究会訳『韓国福祉国家性
 格論争』(流通経済大学出版社、2006年)(相馬直
 子/第156号/Autumn 2006)
 武川正吾、イ・ヘギョン編『福祉レジーム日韓比較
 ——社会保障・ジェンダー・労働市場——』(尹文
 九/第159号/Summer 2007)
 林春植、宣賢奎、住居広士編著『韓国介護保険制度
 の創設と展開——介護保険の国際的視点——』
 (金貞任/第176号/Autumn 2011)
 安周永『日韓企業主義的雇用政策の分岐——権力資
 源動員論からみた労働組合の戦略』(ミネルヴァ
 書房、2013年)(朴昌明/第186号/Spring 2014)
 李崙碩著『高齢者雇用政策の日韓比較』(ミネルヴァ
 書房、2013年)(金子能宏/第190号/Spring 2015)

中 国

【論文・海外の動き・解説等】

中国の老親扶養 (湯沢雍彦/第109号/Winter 1994)
 中国の所得保障と医療保障——二元的制度と改革
 —— (松戸庸子/第110号/Spring 1995)
 中国における高齢者に対する社会保障制度の改革と
 発展について (林義/第110号/Spring 1995)
 中国における高齢者福祉と居住問題 (佐々井司/第
 116号/Autumn 1996)

- 中国社会保障体制の現状・問題点及び改革モデルについての考え（単天倫、張英莉訳/第117号/Winter 1996）
- 中国国有企業の社会保険制度改革について：養老保険、医療保険、失業保険改革を中心に（許海珠/第120号/Autumn 1997）
- 中国の年金保険事業計画の研究（候文若、栗林寛幸訳/第122号/Spring 1998）
- 中国における社会保障システムと社会保険制度の大改革——養老保険、失業保険制度の改革を中心に——（張紀潯/第123号/Summer 1998）
- 中国の高齢者就業状況の調査と分析——国際比較の視角——（馮援/第123号/Summer 1998）
- 中国の失業問題とその展望——都市部貧困層の拡大と高失業率の長期化——（沙銀華/第126号/Spring 1999）
- 中国農村の社会老齡年金保険制度の導入（鍾仁耀/第128号/Autumn 1999）
- 中国における医療保障制度の改革（劉曉梅/第130号/Spring 2000）
- 中国社会保障制度研究の課題と焦点（中兼和津次/第132号/Autumn 2000）
- 中国社会保障制度の現状と問題（沙銀華/第132号/Autumn 2000）
- 中国の社会保障制度と企業負担の変化（朱炎/第132号/Autumn 2000）
- 中国の社会保険導入の企業経営への影響（木崎翠/第132号/Autumn 2000）
- 中国の企業における雇用と分配——改革の効果（丸川知雄/第132号/Autumn 2000）
- 中国国有企業における退職行動と年金制度改革（金子能宏、何立新/第132号/Autumn 2000）
- 中国住宅制度改革の現状と課題（今井健一/第132号/Autumn 2000）
- 中国社会保障体系の確立と国有企業の改革（王紅領/第132号/Autumn 2000）
- 厚生科学研究費補助金研究事業（中兼班）報告書の概要（増淵勝彦/第132号/Autumn 2000）
- 五保制度——中国農村における公的扶助制度——（松久保博章/第134号/Spring 2001）
- 「中国の社会保険制度」の内容（沙銀華/第135号/Summer 2001）
- 中国の公的年金保険制度の財政方式に対する検証——都市部の賦課方式から部分的積立方式への移行を中心に（鍾仁耀/第138号/Spring 2002）
- 医療保険の未加入者と家計の医療支出——中国広東省の家計データを用いて——（周燕飛/第143号/Summer 2003）
- 中国のWTO加盟と雇用構造の変化および雇用創出の対策（紀韶/第145号/Winter 2003）
- 年金改革前の中国都市部における公的年金制度の適用対象と給付水準——1995年都市部家計調査データに基づく考察——（何立新/第146号/Spring 2004）
- 中国農民社会保障の現状と課題（沙銀華/第150号/Spring 2005）
- 中国都市部における最低生活保障制度の現状および問題点（鍾仁耀/第150号/Spring 2005）
- 糖尿病入院治療を指標とする中国医療保険制度改革の医療費抑制効果に関する基礎的研究——遼寧省の3級総合病院における一考察——（孟開/第156号/Autumn 2006）
- 公的年金制度は家計貯蓄を阻害するか——中国の省別パネルデータによる分析——（王梅欣/第158号/Spring 2007）
- 帰国華僑の社会保障に関する一考察——中国広東省台山海宴華僑農場における人類学的調査を通して——（奈倉京子/第163号/Summer 2008）
- 中国上海市と北京市におけるホームヘルプサービスの現状（鄭小華、黒田研二、関川芳孝/第174号/Spring 2011）
- 中国における所得格差の要因分解と累進所得税・再分配政策の効果（雍煒/第177号/Winter 2011）
- 中国における農民工の社会保障問題に関する一考察——就労・生活実態の分析を通して——（嚴春鶴/第179号/Summer 2012）
- 四川大地震における中国社会の復興対策の特徴と課題（大谷順子/第187号/Summer 2014）
- 中国の社会保障：趣旨（田多英範/第189号/Winter 2014）
- 「適度」と「普惠」の視点からみる中国版皆年金体制のゆくえ（于洋/第189号/Winter 2014）
- 中国における「全民低保」の実現（朱珉/第189号/Winter 2014）
- 社会保障と介護福祉（沈潔/第189号/Winter 2014）
- 「市場」から「政府」へ——中国における「全民医療保障」政策の成果と課題——（李蓮花/第189号/Winter 2014）

中国における予防接種の歴史的展開——種痘政策を中心に (福士由紀/第192号/Autumn 2015)

【海外文献紹介・書評】

若林敬子編、杉山太郎監訳『ドキュメント中国の人口管理』(亜紀書房、1992年)(松戸庸子/第102号/Spring 1993)

張紀濤著『現代中国社会保障論』(中村良二/第147号/Summer 2004)

何立新著『中国の公的年金制度改革——体制移行期の制度的・実証的分析』(沙銀華/第170号/Spring 2010)

埋橋孝文、于洋、徐編著『中国の弱者層と社会保障——「改革開放」の光と影』(西山裕/第182号/Spring 2013)

沈潔著『中国の社会福祉改革は何を目指そうとしているのか——社会主義・資本主義の調和——』(ミネルヴァ書房、2014年)(澤田ゆかり/第192号/Autumn 2015)

国際機関

【論文・海外の動き・解説等】

国際社会保障協会 (ISSA) の概要と活動 (松田将/第109号/Winter 1994)

海外社会保障研究と私——樋口富男兄とILO “APPROACHES TO SOCIAL SECURITY —— Antenational Survey” (1942) との出会い—— (佐藤進/第111号/Summer 1995)

社会保障との出会い (高橋武/第111号/Summer 1995)

私の国際社会保障 (平石長久/第111号/Summer 1995)

社会保障費 国際比較基礎データ (社会保障研究所/第117号/Winter 1996)

世界銀行の年金改革案とその影響 (村上清/第119号/Summer 1997)

ペンション・ガバナンス論 (序説) (渡部記安/第121号/Winter 1997)

社会保障費 国際比較基礎データ (勝又幸子、山田篤裕/第123号/Summer 1998)

OECD諸国における年金改革の動向 (阿萬哲也/第126号/Spring 1999)

EUにおける保育・家族政策と男性の保育参加 (木下比呂美/第126号/Spring 1999)

EUにおける社会保障政策の人口動向の背景 (J.ブ

ラッドショー、宮下裕一・埋橋孝訳/第127号/Summer 1999)

OECD社会保障大臣会議の概要 (藤原 禎一、小野太一/第127号/Summer 1999)

OECD加盟各国の社会保障政策の動向 (尾形裕也/第127号/Summer 1999)

OECD加盟各国の社会保障政策の分析 (増淵勝彦/第127号/Summer 1999)

公的扶助制度の国際比較——OECD 24カ国のなかの日本の位置 —— (埋橋孝文/第127号/Summer 1999)

社会保障費 国際比較基礎データ—— 財源の国際比較分析と解説 —— (勝又幸子、森田陽子/第128号/Autumn 1999)

社会保障・労働市場・労使関係分野における改革を国際的にモニタリングするためのネットワーク構築について—— ベルテルスマン財団による試みの紹介 —— (阿部彩/第128号/Autumn 1999)

社会保障セミナー「先進諸国の年金改革」(大石亜希子/第129号/Winter 1999)

ベルテルスマン財団「国際リフォーム・モニター：社会政策・労働市場・労使関係分野」プロジェクト進捗報告 (阿部彩/第129号/Winter 1999)

特集の目的と位置づけ——平成10年度プロジェクト報告「社会保障給付費の国際比較分析」(勝又幸子/第130号/Spring 2000)

社会保障給付費の国際比較データの見方と分析 (勝又幸子/第130号/Spring 2000)

OECD諸国における高齢者介護 (府川哲夫/第131号/Summer 2000)

社会保障費の国際比較——基礎統計の解説と分析 —— (浅野仁子/第134号/Spring 2001)

国際機関における年金政策論：特集の趣旨 (山本克也、山田篤裕/第137号/Winter 2001)

The Changing Parameters of The International Pension Debate (Dalmer D. Hoskins/第137号/Winter 2001)

ILO (国際労働機関) の年金政策 (山端浩/第137号/Winter 2001)

世界銀行の年金政策——超グローバルズムへの課題 —— (山本克也/第137号/Winter 2001)

経済協力開発機構 (OECD) における年金改革論 (山田篤裕/第137号/Winter 2001)

WHOによる保健システムの目的と機能、評価の枠組み設定について——2000年版世界保健報告「保

- 健システムの機能向上に向けて」——(千村浩/第137号/Winter 2001)
- 所得保障・医療保障・労働政策関連の国際機関(山本克也/第137号/Winter 2001)
- 社会保障費用の国際比較——Outline of International Data on Cost of Social Security by ILO——(勝又幸子/第138号/Spring 2002)
- OECD19カ国における社会保障財源の国際比較(武川正吾/第142号/Spring 2003)
- 国際機関における社会保障費用の国際統計整備の現状——ILO, OECD, EUROSTATの動向から——(勝又幸子/第142号/Spring 2003)
- 社会保障費用の国際統計の動向——ILO, OECD, EUROSTATを中心として——(国立社会保障・人口問題研究所/第146号/Spring 2004)
- ケアの質向上への取り組みとその課題(郡司篤晃/第149号/Winter 2004)
- 医療サービスへの公平なアクセス——OECD加盟国間の国際比較と残された分析課題——(山田篤裕/第149号/Winter 2004)
- 患者ニーズへの対応に向けた取り組み——OECD諸国の現状とわが国の可能性——(鈴木玲子/第149号/Winter 2004)
- 医療の費用抑制と効率性の向上——OECD諸国による取り組みとその課題——(小塩隆士/第149号/Winter 2004)
- 経済協力開発機構(OECD)における医療(介護)政策分析:これまでの成果と展望(阿萬哲也/第149号/Winter 2004)
- OECD社会支出データベース2004年版(国立社会保障・人口問題研究所/第149号/Winter 2004)
- 企業年金をめぐる国際的潮流と企業年金の役割・課題(島崎謙治、宮里尚三/第151号/Summer 2005)
- 日本のOECD基準による社会支出2002(平成14)年度更新について——平成15年度社会保障給付費公表、独自推計の背景と方法——(国立社会保障・人口問題研究所企画部/第153号/Winter 2005)
- 国際比較からみた日本の社会支出——OECD SOCX 2006 Editionの更新——(国立社会保障・人口問題研究所企画部/第157号/Winter 2006)
- 年金の空洞化問題とその対策——ILO, ISSAの議論から——(清水時彦/第158号/Spring 2007)
- OECD SOCXの更新について——SOCX2007editionのデータについて——(国立社会保障・人口問題研究所企画部/第161号/Winter 2007)
- 社会保障費の国際比較統計——SOCX2008ed.の解説と国際基準の動向——(国立社会保障・人口問題研究所企画部/第165号/Winter 2008)
- 社会保障費用の国際比較統計——各国際機関における整備の状況——(国立社会保障・人口問題研究所企画部/第169号/Winter 2009)
- 社会保障費の国際比較統計——SOCX2010ed.の解説と国際基準動向——(国立社会保障・人口問題研究所企画部/第173号/Winter 2010)
- 若年者雇用政策の現状と課題(神林龍、アン・ソネ/第176号/Autumn 2011)
- 社会保障費の国際比較——SOCX2010ed.にみる諸外国の動向——(国立社会保障・人口問題研究所企画部/第178号/Spring 2012)
- OECD基準による我が国の社会支出——社会保障費用統計2010年度報告——(国立社会保障・人口問題研究所 社会保障費用統計プロジェクト/第182号/Spring 2013)
- 子どもウェルビーイング指標に関する国際的動向(竹沢純子/第185号/Winter 2013)
- OECD基準による我が国の社会支出——社会保障費用統計2011年度報告——(国立社会保障・人口問題研究所 社会保障費用統計プロジェクト/第186号/Spring 2014)
- 社会保障費用統計の国際比較——OECD SOCX 24 ed.とILO World Social Security Report——(国立社会保障・人口問題研究所 社会保障費用統計プロジェクト/第189号/Winter 2014)
- 社会保障費用の国際比較——OECD基準社会支出の国際比較とOECD基準「保健」の作成方法——(国立社会保障・人口問題研究所 社会保障費用統計プロジェクト/第193号/Winter 2015)
- 【海外文献紹介・書評】**
- OECD, Taxation and Household Saving (油井雄二/第121号/Winter 1997)
- 海外一般 (日本を含む)**
- 【論文・海外の動き・解説等】**
- 医療保障システムの三本柱:時代の眼(地主重美/第101号/Winter 1992)
- 留学生たちの社会保障研究:時代の眼(副田義也/第

- 102号/Spring 1993)
社会福祉と国際化：時代の眼 (仲村優一/第103号/Summer 1993)
第48回IIPF (国際財政学会) に参加して：国際学会トピックス (勝又幸子/第103号/Summer 1993)
高齢社会への対応：時代の眼 (小山路男/第105号/Winter 1993)
社会保障理論とその周辺——海外の研究者たち：特集の趣旨とその目的 (高木安雄/第105号/Winter 1993)
日本経済の転機：時代の眼 (貝塚啓明/第106号/Spring 1994)
社会サービスとしてのケア・システム：時代の眼 (三浦文夫/第107号/Summer 1994)
高齢社会の住宅政策——国際比較と展望——「国際住宅学会」から——：国際学会トピックス (早川和男/第107号/Summer 1994)
戦争と保障と：時代の眼 (庭田範秋/第108号/Autumn 1994)
家族政策の基本原則 (上) (小島宏/第109号/Winter 1994)
医療制度改革とパターナリズム (福田敬/第109号/Winter 1994)
晩婚化・非婚化を考える：時代の眼 (河野稠果/第110号/Spring 1995)
家族政策の基本原則 (下) (小島宏/第110号/Spring 1995)
経済の此岸と彼岸：時代の眼 (塩野谷裕一/第111号/Summer 1995)
世界展望の中の社会保障 (宮澤健一/第111号/Summer 1995)
健保連と海外社会保障研究 (石本忠義/第111号/Summer 1995)
年金相談を考える：時代の眼 (島田とみ子/第113号/Winter 1995)
出生力回復の構図：時代の眼 (安川正彬/第114号/Spring 1996)
今後の社会保障の費用負担のあり方——社会保障費と公共事業費についての国際比較—— (磯部文雄/第114号/Spring 1996)
CBRの概要とアジアでの実践 (中西由起子/第114号/Spring 1996)
第5回アフィア国際会議：国際学会トピックス (鶴直行/第114号/Spring 1996)
先進諸国の社会保障と経済成長：時代の眼 (市川洋/第115号/Summer 1996)
信 (信頼) なくば立たず：時代の眼 (青井和夫/第116号/Autumn 1996)
社会保障の抱える三重苦：時代の眼 (三浦文夫/第117号/Winter 1996)
社会保障の論理と倫理：時代の眼 (宮澤健一/第118号/Spring 1997)
エイベルスミス教授を偲んで (一圓光彌/第118号/Spring 1997)
福祉と社会連帯感：時代の眼 (石弘光/第119号/Summer 1997)
日本型ソーシャル・ポリシーを求めて：時代の眼 (藤田伍一/第120号/Autumn 1997)
介護保険への疑問：時代の眼 (暉峻淑子/第121号/Winter 1997)
医療資源問題における生産力格差及び地域間の不均衡分布と医療費支出との関係 (鮮于恵、郡司篤晃/第121号/Winter 1997)
世界における介護制度の現状 (佐藤進/第121号/Winter 1997)
比較社会保障・社会福祉の方法について：時代の眼 (一番ヶ瀬康子/第122号/Spring 1998)
第53回国際財政学会世界大会 (柴田弘文/第122号/Spring 1998)
「社会保障」・・・障害者からみると (成瀬正次/第122号/Spring 1998)
少子・高齢社会と社会保障：時代の眼 (岡崎陽一/第123号/Summer 1998)
規制と自由化をめぐる政策動向をみて：時代の眼 (佐藤進/第124号/Autumn 1998)
第4回社会選択・厚生学会世界大会 (西條辰義/第124号/Autumn 1998)
福祉施策の国際比較：特集の趣旨 (埋橋孝文/第127号/Summer 1999)
日本型福祉国家におけるキャッシュとケアと女性の市民権——家族政策のジェンダー議論を手がかりに—— (イト・ペング/第127号/Summer 1999)
児童手当の国際比較 (大塩まゆみ/第127号/Summer 1999)
家族政策の国際比較——現状・課題・方法に関する一考察—— (所道彦/第127号/Summer 1999)
公的年金制度における普遍性と最低保障の規定要因 (鎮目真人/第127号/Summer 1999)

- 医療サービスの質の確保をめぐる諸問題：特集の趣旨（菊池馨実/第129号/Winter 1999）
- 日本における医療サービスの質——広告規制の議論を中心に——（新田秀樹/第129号/Winter 1999）
- 医療サービスの「質」確保と「健康権」議論の展開——医療における権利指向の意義——（国京則幸/第129号/Winter 1999）
- 社会保障における国際比較研究の意義と課題（足立正樹/第130号/Spring 2000）
- 介護保険の国際的動向：特集の趣旨（土田武史/第131号/Summer 2000）
- 社会保障と情報化：特集の趣旨（山本克也/第133号/Winter 2000）
- 情報福祉政策の課題——情報バリアフリー政策を中心に（高橋紘士/第133号/Winter 2000）
- 健康関連データベースの構造化と結合：戦略的な医療保健福祉システム構築へ向けて（今中雄一/第133号/Winter 2000）
- 欧米におけるEBMの展開（池田俊也/第133号/Winter 2000）
- バリアフリーデザインから生活デザインへの流れ（狩野徹/第133号/Winter 2000）
- グローバル化と社会保障：特集の趣旨（白波瀬佐和子/第134号/Spring 2001）
- グローバリゼーションと国家福祉の変貌（萩原康生/第134号/Spring 2001）
- 医療におけるグローバル化とその課題（濃沼信夫/第134号/Spring 2001）
- グローバル化と年金制度（小塩隆士/第134号/Spring 2001）
- グローバル化に伴う社会保障問題とWTO（浦田秀次郎/第134号/Spring 2001）
- 国際的な人の移動の動向と展望——地域統合、少子・高齢化と日本の選択——（井口泰/第134号/Spring 2001）
- グローバル化と地方分権化（神野直彦/第134号/Spring 2001）
- 日本の社会保障（広井良典/第135号/Summer 2001）
- 保険者から見た欧米諸国の医療制度改革と国際比較：特集の趣旨（山崎泰彦/第136号/Autumn 2001）
- 「保険者機能」論の位置付け：わが国の医療制度改革に対する示唆（尾形裕也/第136号/Autumn 2001）
- 現代の規範理論と社会保障：特集の趣旨（後藤玲子/第138号/Spring 2002）
- 社会保障への公共哲学的アプローチ——その歴史的・現代的サーヴェイ——（山脇直司/第138号/Spring 2002）
- ジョン・ロールズ——正義の理論（塩野谷祐一/第138号/Spring 2002）
- センの潜在能力理論と社会保障（鈴木興太郎/第138号/Spring 2002）
- ロナルド・ドゥオーキンの倫理的責任論（長谷川晃/第138号/Spring 2002）
- ジョン・ローマー：機会の平等アプローチと社会保障（後藤玲子/第138号/Spring 2002）
- ロバート・グッディン——功利主義的社会設計（長谷部恭男/第138号/Spring 2002）
- リスク社会と再帰的近代——ウルリッヒ・ベックの問題提起——（今田高俊/第138号/Spring 2002）
- 総論：先進諸国における所得保障制度の変化とその意味——障害をめぐる改革から——（勝又幸子/第140号/Autumn 2002）
- 費用国際比較からみた「障害」給付の現状（勝又幸子/第140号/Autumn 2002）
- わが国における障害者の所得保障制度の現状と課題——障害基礎年金制度の抜本的改革＝社会扶助化の徹底の必要性——（森隆男/第140号/Autumn 2002）
- EITC（Earned Income Tax Credit）の就労と貧困削減に対する効果：文献サーベイから（阿部彩/第140号/Autumn 2002）
- 趣旨：社会保障の新たな視点：「社会的排除」と「社会的統合」（岡伸一/第141号/Winter 2002）
- 転換期における福祉国家の国際比較研究：特集の趣旨（富永健一/第142号/Spring 2003）
- 福祉国家の分解と日本の国際的位置（富永健一/第142号/Spring 2003）
- 社会保障給付費の趨勢分析（平岡公一/第142号/Spring 2003）
- 社会保障給付費の構成に関する時系列的分析——先進諸国のクラスター化の試み——（三重野卓/第142号/Spring 2003）
- 福祉国家発展の時系列データ分析——pooled time-series dataの利用——（織田輝哉/第142号/Spring 2003）
- 福祉国家レジームと世帯内性別役割分業：ジェンダーからみた比較福祉国家試論（白波瀬佐和子/第142号/Spring 2003）

- 第7回厚生政策セミナー「こども、家族、社会——少
子社会の政策選択——」趣旨：少子化と家族政策
——「少子化対策」をめぐる10の設問——（阿藤
誠/第143号/Summer 2003）
- 第7回厚生政策セミナー「こども、家族、社会——少
子社会の政策選択——」〈パネルディスカッショ
ン〉（編集：勝又幸子/第143号/Summer 2003）
- ロシア・東欧における社会保障の動向：特集の趣旨
（小森田秋夫/第144号/Autumn 2003）
- 社会保険医療制度の国際比較：日、独、仏、蘭、加
5カ国の医療保険制度改革の動向：特集の趣旨（尾
形裕也/第145号/Winter 2003）
- 社会保険医療制度の国際比較（収斂と発散）：ISSA
Initiativeにおける研究動向を踏まえて（尾形裕也/
第145号/Winter 2003）
- 日本の医療保険制度改革——国民改革の重要性——
（泉田信行/第145号/Winter 2003）
- 自殺の社会経済的要因と自殺予防対策の国際比較
（山下志穂、金子能宏、反町吉秀/第145号/Winter
2003）
- 趣旨：ワークフェアの射程と限界（武川正吾/第147
号/Summer 2004）
- 座談会：ワークフェアとベーシック・インカム：福
祉国家における新しい対立軸（武川正吾、宮本太
郎、小沢修司/第147号/Summer 2004）
- 対談：所得保障と就労支援：日本におけるワーク
フェアのあり方（岩田正美、八田達夫、後藤玲子
/第147号/Summer 2004）
- ワークフェア改革とその対案 新しい連携へ？（宮
本太郎/第147号/Summer 2004）
- 海外社会保障研究の展望：特集の趣旨（島崎謙治/第
148号/Autumn 2004）
- 海外社会保障研究の展望 第1部座談会（武川正吾、
岡伸一、埋橋孝文、尾形裕也、沙銀華、島崎謙治
/第148号/Autumn 2004）
- 福祉国家論の展開（武川正吾/第148号/Autumn 2004）
- 所得保障における国際比較研究（岡伸一/第148号
/Autumn 2004）
- 海外における「福祉」の動向と国際比較（埋橋孝文
/第148号/Autumn 2004）
- 医療保障における国際比較研究（尾形裕也/第148号
/Autumn 2004）
- 海外社会保障研究の展望 資料『海外社会保障研
究』国別総索引（論文・動向・研究ノート）（菊地
英明/第148号/Autumn 2004）
- OECD諸国における医療改革の流れと今後の方向
性：特集の趣旨（郡司篤晃/第149号/Winter 2004）
- 成長するアジアの社会保障：趣旨（漆原克文/第150
号/Spring 2005）
- 趣旨：企業年金の新時代（岡伸一、島崎謙治/第151
号/Summer 2005）
- （補論）「税による補助額」の粗い試算と前提条件
（島崎謙治、佐藤格/第151号/Summer 2005）
- 国際会計基準と企業年金（今福愛志/第151号
/Summer 2005）
- 年金試算運用における最近の動向（浅岡泰史/第151
号/Summer 2005）
- 日本の企業年金の現状と未来（久保知行/第151号
/Summer 2005）
- 各国の企業年金制度の動向（宮里尚三訳/第151号
/Summer 2005）
- 社会保障と住宅（武川正吾/第152号/Autumn 2005）
- 社会保障における住宅政策の位置づけ——福祉国家
論からのアプローチ——（菊地英明、金子能宏/第
152号/Autumn 2005）
- 中南米の社会保障：趣旨（本田達郎/第153号/Winter
2005）
- 介護と障害者施設の関係をめぐる国際的動向：趣旨
（京極高宣/第154号/Spring 2006）
- 高齢者介護と障害者福祉の関心に関する視点（峯村
芳樹/第154号/Spring 2006）
- 諸外国における医療と介護の機能分担と連携：趣旨
（島崎謙治/第156号/Autumn 2006）
- 我が国における医療と介護の機能分担と連携（川越
雅弘/第156号/Autumn 2006）
- ベーシック・インカム構想の展開と可能性：趣旨
（小沢修司/第157号/Winter 2006）
- 「所得再分配調査」を用いたBasic Incomeの検討（山
本克也/第157号/Winter 2006）
- 先進各国の年金改革の視点：趣旨（山本克也/第158
号/Spring 2007）
- 賦課方式による公的年金制度の運営における積立金
水準のあり方（小野正昭/第158号/Spring 2007）
- 女性と年金に関する国際比較（丸山 桂/第158号
/Spring 2007）
- 非正規雇用労働者の年金加入をめぐる問題——国際
比較の視点から——（西村淳/第158号/Spring
2007）

- 先進各国の公的年金制度と高齢低所得者対策（有森美木/第158号/Spring 2007）
- 所得格差と社会保障：趣旨（府川哲夫/第159号/Summer 2007）
- 子育て支援策をめぐる諸外国の現状：趣旨（阿藤誠/第160号/Autumn 2007）
- 先進諸国の出生率をめぐる国際的動向（守泉理恵/第160号/Autumn 2007）
- 地域包括ケアシステムをめぐる国際的動向：趣旨（高橋紘士/第162号/Spring 2008）
- 我が国における地域包括ケアシステムの現状と課題（川越雅弘/第162号/Spring 2008）
- カナダ・韓国・日本3カ国社会保障比較研究：趣旨（新川敏光、イト・ペング、スンマン・クォン/第163号/Summer 2008）
- カナダ・日本・韓国の高齢化等の状況と医療政策の在り方（小島克久、尾形裕也/第163号/Summer 2008）
- 世界の高齢者住宅とケア政策：趣旨（川越雅弘/第164号/Autumn 2008）
- 我が国の高齢者住宅とケア政策（川越雅弘、三浦研/第164号/Autumn 2008）
- 障害者福祉の国際的展開：趣旨（勝又幸子/第166号/Spring 2009）
- 2008年ADA改正法の意義と日本への示唆——障害の社会モデルを手がかりに——（川島聡/第166号/Spring 2009）
- 諸外国における高齢者への終末期ケアの現状と課題：趣旨（池上直己/第168号/Autumn 2009）
- ケア労働の国際比較——新しい福祉国家論からのアプローチ——：趣旨（落合恵美子/第170号/Spring 2010）
- 日本におけるケア・ダイヤモンドの再編成：介護保険は「家族主義」を変えたか（落合恵美子、阿部彩、埋橋孝文、田宮遊子、四方理人/第170号/Spring 2010）
- 発展途上国におけるケア・ダイヤモンド——UNRISDの6カ国調査から——（齋藤暁子/第170号/Spring 2010）
- 政治、社会、経済からみたケアの国際比較——開発の視点から——（シャーラ・ラザビ/第170号/Spring 2010）
- 日本における介護ケアワーク——特徴と問題点——（埋橋孝文/第170号/Spring 2010）
- 時間調査を用いたケアの国際比較——UNRISDの報告書から——（阿部彩/第170号/Spring 2010）
- 社会保障制度における財源徴収と情報管理の国際比較：趣旨（駒村康平/第172号/Autumn 2010）
- 諸外国における社会保障番号制度と税・社会保険料の徴収管理（高山憲之/第172号/Autumn 2010）
- EHRが変える保健医療——諸外国の取り組みと我が国への示唆——（山本隆一/第172号/Autumn 2010）
- 我が国におけるEHRに向けた一考察——社会保障カード構想を通じて——（中安一幸/第172号/Autumn 2010）
- 諸外国の就学前教育・保育サービス——子どもの「育ち」を保障する社会のしくみ——：趣旨（高橋重郷/第173号/Winter 2010）
- 日本の就学前教育・保育の状況と政策の方向——諸外国と比較しつつ日本の今後を考える——（小宮山潔子/第173号/Winter 2010）
- 日本およびニュージーランドにおけるプレイセクターのソーシャルキャピタル効果に関する事例研究——参加する親たちの精神性や行動特性を手がかりにして——（佐藤純子/第173号/Winter 2010）
- 就学前児童の健康状態が教育に与える影響について——諸外国のデータを用いた実証研究のサーベイ——（中室牧子、星野絵里/第173号/Winter 2010）
- 医師・看護師の養成と役割分担に関する国際比較：趣旨（尾形裕也/第174号/Spring 2011）
- 高齢女性の所得保障：年金を中心に：趣旨（落合恵美子/第175号/Summer 2011）
- 日本とフランスにおける若年就業問題（酒井正/第175号/Summer 2011）
- 若年就業と諸外国の社会保障政策——労働市場政策を中心として——：趣旨（太田聡一/第176号/Autumn 2011）
- 貧困への視座と対策のフロンティア：趣旨（阿部彩/第177号/Winter 2011）
- 階層的不平等研究の最近の動向と課題（盛山和夫/第177号/Winter 2011）
- 医療保障制度と医療情報ネットワーク化状況の国際比較（岸田伸幸/第177号/Winter 2011）
- 社会保障における財源論——税と社会保険料の役割分担——：趣旨（江口隆裕/第179号/Summer 2012）
- 海外の社会保障制度における国と地方の関係：趣旨（佐藤主光/第180号/Autumn 2012）
- 公的年金の支給開始年齢の引き上げと高齢者の所得

- 保障：趣旨 (駒村康平/第181号/Winter 2012)
- 精神障害者地域生活支援の国際比較：趣旨 (勝又幸子/第182号/Spring 2013)
- 日本における精神障害者の地域生活支援——千葉県市川市の取り組み—— (下平美智代、山口創生、伊藤順一郎/第182号/Spring 2013)
- グローバル景気後退と各国の失業者支援政策：趣旨 (小原美紀/第183号/Summer 2013)
- 介護者支援の国際比較：要介護者と家族を支える取り組みの多様性：趣旨 (田宮菜奈子/第184号/Autumn 2013)
- 貧困・格差を総合的、継続的に把握する指標の開発と活用——数値目標化とモニタリングのしくみ——：趣旨 (阿部彩/第185号/Winter 2013)
- 大規模災害と社会保障Ⅰ：趣旨 (山崎栄一/第187号/Summer 2014)
- 大規模災害と社会保障Ⅱ：趣旨 (勝又幸子/第188号/Autumn 2014)
- 非線形回帰分析による世界各国の貧困の決定要因の解析 (田辺和俊、鈴木孝弘/第189号/Winter 2014)
- 認知症対策の国際比較：趣旨 (高橋紘士/第190号/Spring 2015)
- 予防接種の国際比較：特集の趣旨 (加藤智章/第192号/Autumn 2015)
- 途上国における予防接種制度の現状と課題 (中村安秀/第192号/Autumn 2015)
- 福祉国家の多様性：比較福祉レジーム論の射程：特集の趣旨 (加藤淳子/第193号/Winter 2015)
- 【海外文献紹介・書評】**
- 姉崎正平・池上直己編著『世界の医療改革——政権交代は医療を変えるか』(勁草書房、1991年)(漆博雄/第101号/Winter 1992)
- Richard B. Saltman and Castern von Otter, Planned Markets and Public Competition, Appleby J. Financing Health Care in the 1990s (山田武, 第104号/Autumn 1993)
- 伊部英男、早川和男編著『世界の社会政策』(ミネルヴァ書房、1992年)(城戸喜子/第108号/Autumn 1994)
- Pravatization in Four European Countries; Comparative Studies in Government- ThirdSector Relationships (武智秀之/第112号/ Autumn 1995)
- 稲上穀、H. ウィッタカー、逢見直人、篠田徹、下平好博、辻中豊著『ネオ・コーポラティズムの国際比較——新しい政治経済モデルの探求』(日本労働研究機構、1994年)(久米郁男/第113号/Winter 1995)
- デボラ・ミッチェル著、埋橋孝文・三宅洋一・伊藤忠通・北明美・伊田広行訳『福祉国家の国際比較研究：LIS10カ国の社会保障移転システム』(大森正博/第114号/Spring 1996)
- Nicholas Barr, The Economics of the Welfare State (駒村康平/第120号/Autumn 1997)
- 柴田嘉彦著『世界の社会保障』(新日本出版社、1996年4月)(栗沢尚志/第121号/Winter 1997)
- John Roemer, Theories of Distributive Justice (後藤玲子/第122号/Spring 1998)
- 福祉国家の新たな地平——埋橋孝文著『現代福祉国家の国際比較』(日本評論社、1997年)(新川敏光/第123号/Summer 1998)
- 岡沢憲美、宮本太郎編『比較福祉国家論——揺らぎとオルタナティブ——』(埋橋孝文/第123号/Summer 1998)
- 足立正樹編著『各国の介護保障』(増田雅暢/第126号/Spring 1999)
- John E. Roemer, Equality of Opportunity (栗林寛幸/第131号/Summer 2000)
- Gosta Esping-Andersen, Social Foundation of Postindustrial Economies (三重野卓/第132号/Autumn 2000)
- Amartya Sen, Reason before Identity: The Romans Lecture for 1998 (後藤玲子/第132号/Autumn 2000)
- 藤村正之著『福祉国家の再編成』(高野和良/第134号/Spring 2001)
- 武川正吾、佐藤博樹編『企業保障と社会保障』(白波瀬佐和子/第134号/Spring 2001)
- Colin Gillion, John Turner, Clive Bailey, Denis Latulippe (eds.) Social Security Pensions: Development and Reform (清水英彦/第137号/Winter 2001)
- J. ミッジリイ著、京極高宣・萩原康生監訳『国際社会福祉論』(藤村正之/第137号/Winter 2001)
- A. B. Atkinson, The Economic Consequences of Rolling Back the Welfare State (上枝朱美/第139号/Summer 2002)
- David M. Blau, The Child Care Problem: An Economic Analysis (周燕飛/第140号/Autumn 2002)
- Braithwaite, J., Grootaert, C. and B. Milanovic, Poverty

- and Social Assistance in Transition Countries (埋橋孝文/第144号/Autumn 2003)
- 舟場正富、齋藤香典著『介護財政の国際的展開 イギリス・ドイツ・日本の現状と課題』(松田亮三/第145号/Winter 2003)
- 埋橋孝文編著『比較のなかの福祉国家』(上村泰裕/第148号/Autumn 2004)
- 新川敏光、ジュリアーノ・ボノーリ編著『年金改革の比較政治学：経路依存性と避難回避』(ミネルヴァ書房、京都、2004年)(加藤淳子/第152号/Autumn 2005)
- 小玉徹、中村健吾、都留民子、平川茂編著『欧米のホームレス問題(上)：実態と政策』、中村健吾、中山徹、岡本祥浩、都留民子、平川茂編著『欧米のホームレス問題(下)：支援の実例』(法律文化社、2003年(上)、2004年(下))(阿部彩/第153号/Winter 2005)
- Stephen P. Heyneman (ed.) "Islam and Social Policy" (小島宏/第155号/Summer 2006)
- アジット・S・バラ、フレデリック・ラペール著、福原宏幸・中村健吾監訳『グローバル化と社会的排除——貧困と社会問題への新しいアプローチ』(昭和堂、2005年)(菊地英明/第155号/Summer 2006)
- 西村可明編著『移行経済国の年金改革』(小森田秋夫/第160号/Autumn 2007)
- 田中拓道著『貧困と共和国 社会的連帯の誕生』(廣澤孝之/第166号/Spring 2009)
- 倉田賀世著『子育て支援の理念と方法』(高島淳子/第168号/Autumn 2009)
- 笠木映里著『公的医療保険の給付範囲——比較法を手がかりとした基礎的考察』(柴田洋二郎/第168号/Autumn 2009)
- 長瀬修、東俊裕、川島聡著『障害者の権利条約と日本——概要と展望』(星加良司/第169号/Winter 2009)
- Stephen P. Jenkins and John Micklewright ed. Inequality and Poverty Re-examined (浦川邦夫/第170号/Spring 2010)
- 丸尾直美、レグランド塚口淑子、カール・レグランド著『福祉政策と労働市場——変容する日本モデル・スウェーデンモデル』(山本克也/第171号/Summer 2010)
- 新川敏光、篠田徹編著『労働と福祉国家の可能性——労働運動再生の国際比較——』(後藤玲子/第173号/Winter 2010)
- メリー・デイリー、キャサリン・レイク著、杉本貴代栄監訳『ジェンダーと福祉国家——欧米におけるケア・労働・福祉』(滋野由紀子/第173号/Winter 2010)
- 池本美香編著『子どもの放課後を考える 諸外国との比較でみる学童保育問題』(西村智/第174号/Spring 2011)
- 百瀬優著『障害年金の制度設計』(山本麻由美/第176号/Autumn 2011)
- Johannes Lindvall 著『Mass Unemployment and the State』(稗田健志/第177号/Winter 2011)
- Francis G. Castles, Stephan Leibfried, Jane Lewis Herbert Obinger, Christopher Pierson編『The Oxford Handbook of THE WELFARE STATE』(西村周三/第178号/Spring 2012)
- 森壮也編『途上国障害者の貧困削減——かれらはどう生計を営んでいるのか』(鈴木勉/第179号/Summer 2012)
- 埋橋孝文『福祉政策の国際動向と日本の選択：ポスト「三つの世界」論』(坏洋一/第179号/Summer 2012)
- 有森美木著、江口隆裕編『世界の年金改革』(山本克也/第180号/Autumn 2012)
- 新川敏光編著『福祉レジームの収斂と分岐：脱商品化と脱家族化の多様性』(堀江孝司/第181号/Winter 2012)
- イアン・ファーガスン著、石倉康次・市井吉典監訳『ソーシャルワークの復権：新自由主義への挑戦と社会正義の確立』(山森亮/第182号/Spring 2013)
- Sri Wening Handayani and Babken Babajanian編 Social Protection for Older Persons : Social Pensions in Asia (梶原弘和/第183号/Summer 2013)
- Laurent J. G. Van Der Maesen and Alan Walker著 Social Quality : From Theory to Indicators (西村周三/第185号/Winter 2013)
- 森壮也、山形辰史著『障害と開発の実証分析——社会モデルの観点から——』(勁草書房、2013年)(長江亮/第188号/Autumn 2014)
- 田多英範編著『世界はなぜ社会保障制度を創ったのか』(ミネルヴァ書房、2014年)(玉井金五/第189号/Winter 2014)
- 加藤智章、西田和弘編『世界の医療保障』(法律文化

社、2013年) (黒田有志弥/第189号/Winter 2014)
池本美香編著『親が参画する保育をつくる：国際比較調査をふまえて』(勁草書房、2014年) (相馬直子/第191号/Summer 2015)

山田篤裕、布川日佐史、『貧困研究』編集委員会(編)
『最低生活保障と社会扶助基準——先進8ヶ国における決定方式と参照目標』(明石書店、2014年)
(岩永理恵/第191号/Summer 2015)